

ハ然ラス自己ヲ保險ニ付スルハ隨意ナルモ他人ヲ付スルニハ限定セラル以下  
專ラ他人保險ヲ論スヘシ

他人保險ハ有效ナルヤ人ハ他人ノ生命ヲ保險ニ付シ得ルカ否カハ曾テ問題タ  
リキ自己ノ生命ヲ保險ニ付スルコトスラ人格ヲ損ストシテ嫌惡シタル時代ニ  
ハ他人ノ生命ヲ付スルコトノ不可ナルコト明ラカナリキ然レトモ現代ニハ何  
國ニモ之ヲ許シ唯之カ爲メニ弊害ノ生スルヲ豫防スルノミ其豫防方法トシテ  
種々ノ主義ヲ生ヌ例ハ親族主義同意主義ノ如シ舊規定ハ親族主義ヲ採リ他人  
ヲ被保險者トスルコトヲ得ルモ其場合ニハ保險金受取人ハ被保險者其相續人  
又ハ親族ナルヲ要ス保險契約ニ因リテ生シタル權利ハ被保險者ノ親族ニ限リ  
之ヲ讓受タルコトヲ得トシタリ之ニ依リテ他人保險ノ濫用ヲ防キタルナリ保  
險金受取人ヲ親族ニ限ラサルトキハ無縁ノ者受取人ト爲リ成ヘク速カニ保險  
金ヲ得ントシテ被保險者ニ危害ヲ加フル虞アルヲ以テナリ然レトモ此主義ハ  
他國ニ殆ト存セス而シテ法律ノ豫想スル如キ利益ヲ生セス却テ有用ナル他人  
保險ヲ阻害ス例ハ債權者カ債務者ノ生命ヲ保險ニ付シ又工場主カ職工ノ生命

ヲ保險ニ付セントスルモ能ハサルカ如シ故ニ實業家ハ之ヲ改メンコトヲ望ミ  
改正規定ハ其希望ニ從ヒ改メテ同意主義トシタリ

同意主義トハ何人ナリトモ被保險者ノ同意アルトキハ彼ノ生命ヲ保險ニ付ス  
ルコトヲ得ルモノナリ單ニ彼ノ同意ヲ以テ足リ保險金受取人ノ何人タルカヲ  
問ハヌ而シテ被保險者カ保險金受取人ナルトキハ此同意ヲモ要セサルモノナ  
リ此主義ハ獨瑞等ノ新保險法ノ認ムル所ニシテ新主義ト云ハルモ餘リニ極端  
ニ馳セ人格ヲ無視シ公益ヲ省ミサル嫌アリ我改正規定モ同意主義ヲ採リ法文  
ニ於テ他人ノ死亡ニ因リテ保險金額ノ支拂ヲ爲スヘキコトヲ定ムル保險契約  
ニハ其者ノ同意アルコトヲ要ス但被保險者カ保險金額ヲ受取ルヘキ者ナルト  
キハ此限ニ在ラストシタリ(四二八)

他人保險ニ於テ保險契約ノ當事者ハ被保險者ト保險契約者ナリ從テ此以外ノ者  
ハ悉ク第三者ナリ其中ニハ被保險者モアルヘク被保險者ニ非サル第三者モア  
ルヘシ而シテ保險金受取人ハ此中ノ何レニテモ可トシ又保險契約者自ラ之ニ  
當ルモ可ナルヲ以テ保險金受取人ニハ三種ノ者アルヘシ保險契約者自ラ保險



金受取人ト爲ルトキハ契約ニ從ヒテ隨意ニ保險金受取人ト爲リ第三者ナルト  
 キハ契約ト共ニ當然保險金受取人ト爲ル當然保險契約ノ利益ヲ享受シ決シテ  
 享受スル意思ヲ表示スルヲ要セス是レ民商法ニ於ケル一般ノ原理ト異ナル所  
 ナルモ他人保險ノ性質上此ノ如クスルヲ可トスルニ由ル但若シ保險契約者ニ  
 シテ保險金受取人ヲ特ニ指定又ハ變更セントスルトキハ其意ニ從フ  
 保險金受取人カ保險契約者ナル場合ニ死亡スルトキハ相續人ハ受取人ト爲リ  
 被保險者ナル場合ニ死亡スルトキハ相續人ハ受取人ト爲リ被保險者ニ非サル第三  
 者ナル場合ニ死亡スルトキハ保險契約者ハ更ニ受取人ヲ指定ス此等ノ指定又  
 ハ變更ヲ爲ヌニハ被保險者ノ同意ヲ得ヘク又保險者ニ之ヲ對抗スルニハ之ヲ  
 通知スルコトヲ要ヌ(四二八ノ二三、四)  
 生命保險ニ在リテモ保險證券ヲ作ルヲ常トス

明治四十四年九月二十一日契約  
 第一六九五三五號

## 尋常終身生命保險證券

一 保險金參百圓也

保險料  
 毎中々年金四圓拾四錢九厘

保險料納込期日  
 九月二十一日

三重縣北牟婁郡引本町

保險契約人 中村善藏  
 被保險人 中村善藏  
 保險金受取人 中村善藏  
 家督相續人

右保險契約人ハ此證券ニ記載シタル約款ニ依リ右被  
 保險人ノ尋常終身生命保險ヲ當會社ニ申込ミ當會社  
 ハ之ヲ承諾シテ明治四十四年九月二十一日ヨリ明治  
 四十五年三月二十一日マテ半々年分保險料金四圓拾  
 四錢九厘ヲ領收セリ依之右保險契約人ハ右被保險人  
 ノ存生中前記ノ通り保險料ヲ當會社ニ支拂ヒ當會社  
 ハ右被保險人死亡シタルトキハ右保險金受取人ハ前  
 記ノ保險金參百圓ヲ支拂フヘキモノ也

明治四十四年十月十二日

東京市麹町區八重洲町一丁目一番地ニ於テ  
 明治生命保險株式會社取締役  
 阿部泰藏

明治四十四年九月二十一日契約  
 第一六九五三五號  
 尋常終身生命保險證券  
 一 保險金參百圓也







- (一) 保險契約ノ種類
  - (二) 被保險者ノ氏名
  - (三) 保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ定メタルトキハ其者ノ氏名
- 損害保險證券ニ記載スヘキモノトシテ茲ニ列擧セル事項中ノ或モノハ或種ノ生命保險ニハ適用ナカラン又保險ノ目的ハ生命保險ニ在リテハ被保險者ノ氏名ト歸一スルコトナキカノ疑アリ

### 生命保險契約ノ效力

生命保險契約ノ效力トシテ保險者及ヒ保險契約者ニ特殊ノ義務ヲ生ス  
保險者ノ義務左ノ如シ

- 一 保險金額支拂ノ義務
- 保險者ハ生死ニ關スル事項ノ生スル場合ニ保險金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ其支拂方法ニ關シテハ特別ノ規定ナキヲ以テ契約ニテ定メタル者ニ契約ニテ定メタル方法ニ從ヒテ支拂ヘハ可ナリ契約ニ何等ノ定モナキトキハ商法商慣習法及ヒ民法ノ原則ニ從ヒテ支拂フヘク商慣習ハ漸々確定セントスル傾

向アリ

- 保險者ハ左ノ場合ニ於テハ例外トシテ保險金額ヲ支拂フ責ニ任セス(四三二)
- (一) 被保險者カ自殺決闘其他ノ犯罪又ハ死刑ノ執行ニ因リテ死亡シタルトキ
  - (二) 保險金額ヲ受取ルヘキ者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ  
但其者カ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ場合ニ於テハ保險者ハ其殘額ヲ支拂フ責ヲ免ルルコトヲ得ス
  - (三) 保險契約者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ
- 此外損害保險ノ準用トシテ被保險者カ變亂ニ因リテ死傷シタルトキ保險者ハ保險金額ヲ支拂フヲ要セス(四三三、三九五)
- 此等ノ例外ノ或モノハ公益上保險金額ヲ支拂ハシメサルヲ可トスルヨリ出テ或モノハ保險者ノ通常豫想セサル事變ナルヨリ出ツ而シテ後者ハ公益ニ關セサルヲ以テ當事者ヲシテ特約ニテ支拂ノ責ニ任ヌルコトヲ得セシム
- 保險金受取人カ故意ニ被保險者ヲ死ニ致シタル場合ニ金額ヲ支拂フヘカラ



ツルハ勿論ナリトシ被保險者カ自殺犯罪又ハ死刑ニ因リテ死亡シタルトキハ保險金受取人ニ之ヲ與フル特約ハ有效ナル乎自殺ニ關シテハ有效トスルニ殆ント一致スルモ犯罪ト死刑トニ關シテハ議論アリ無効ト解スル者ハ商法ニハ變亂ニ因ル死傷ノ場合ニハ特約ニ依ルニ非サレハ保險金額ヲ支拂ハストシナカラ自殺犯罪又ハ死刑ニ因ル死亡ニ關シテハ保險者ハ金額ヲ支拂フ實ニ任セスト云フニ止マルヲ以テ比較解釋上此場合ニハ特約ヲ許サスト云ヒ反對説ハ此場合ニモ特約ヲ許サルハ保險金ノ拂戻ヲ爲サシムル點ヨリシテ明カナリト云ヘリ

二 金額拂戻ノ義務

商法ニハ所々ニ保險者ハ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ拂戻スヨトヲ要ストカ保險契約者ハ保險者ニ對シ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ト云ヒ保險者ハ或積立ヲ爲ヌコトヲ豫想セリ然レトモ商法自ラ保險者ハ如何ナルモノヲ積立ツヘキカヲ規定セサルヲ以テ若シ他ニ積立ヲ強要スル法令ナク而シテ保險者ハ契約ヲ以テモ之ヲ定メサルト

キハ所謂積立金ナルモノヲ生セシテ此等ノ規定ハ空文ト爲ルヘシ幸ニ保險業法ニ之ヲ規定シ又保險會社ノ定款若クハ約款ニ於テ積立金ニ關スル事項ヲ詳細ニ定ムルヲ常トス  
保險者カ積立金ヲ拂戻スヘキ場合左ノ如シ(四三三三二項四三一)終身生命保險ヲ例トシテ説明ス

- (一) 被保險者ノ死亡カ變亂ニ因リテ生シ保險金額ヲ支拂フヲ要セサルトキ
- (二) 保險契約者又ハ被保險者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルカ爲メニ保險者カ契約ヲ解除シタルトキ
- (三) 保險契約者カ保險者ノ責任カ始マル前ニ保險ヲ解除シタルトキ
- (四) 危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタル爲メ契約カ其效力ヲ失ヒタルトキ
- (五) 危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタル爲メ保險者カ契約ヲ解除シタルトキ



(六) 被保険者カ自殺犯罪又ハ死刑ニ因リテ死亡シタル爲メ保險者カ保險金額ヲ支拂フヲ要セザリシトキ

(七) 保險金額ヲ受取ルヘキ者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタル爲メ保險者カ保險金額ヲ支拂フヲ要セザリシトキ

保險者ノ積立金拂戻義務ハ二年ノ時効ニ因リテ消滅ス(四三二ノ二)

保險契約者ノ義務ハ左ノ如シ

一 保險料ノ支拂

保險契約者ノ最大ノ義務ナリ生命保險ニハ契約者ノ多キ割合ニ金額甚タ少ナク又通常ハ定期ニ之ヲ支拂フヲ以テ「ホール」シユルドナルカ「ブリング」シユルドナルカ等ノ論ヲ生スルモ我國ニハ特別ノ規定ヲ設ケサルヲ以テ商法及ヒ民法ノ債務ノ辨濟ニ關スル規定ニ依リテ決スレハ可ナリ契約者ハ常ニ契約ニ定メタル保險料ヲ支拂フヘク當事者カ特別ノ危險ヲ斟酌シテ定メタル場合ニ其危險カ消滅シタルトキハ將來ニ向テ保險料ノ減額ヲ請求シ得ルノニ損害保險ノ規定ノ準用ナリ(四〇〇)

保險料ヲ支拂フ者ハ保險契約者ナルモ保險カ他人ノ爲メニ契約セラレタル場合ニ契約者カ破産スルトキハ保險金受取人ハ自ラ保險料ヲ支拂フニ非サルハ保險債權ヲ維持スルヲ得ヌ亦損害保險ノ規定ノ準用ナリ(四〇六)損害保險ニ在リテハ被保險者カ權利者ナルカ故ニ保險料ヲ支拂フヘキモノトセルヲ生命保險ニテハ權利者ハ保險金受取人ナルヲ以テ準用ニ當リテ少シク變更ス

保險料支拂ノ義務ハ一年ノ時効ニ因リテ消滅ス

二 死亡ノ通知

保險契約者ハ被保險者ノ死亡シタルコトヲ知リタルトキハ遅滞ナク保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス被保險者ニモ亦此義務アリ通知ハ大體ニ於テ損害保險ノ場合ニ同シ(四三二、四一三)

生命保險ノ保險債權ハ讓渡權ナリ保險契約者カ自ラ被保險者ニシテ保險金受取人ナルトキハ隨意ニ何人ニモ保險債權ヲ讓渡スコトヲ得ヘシ損害保險ニ於ケル如ク讓受人ニ被保險利益ノ存在スルコトヲ要セサルヲ以テ讓渡ハ自在ナ



リ然レトモ其讓受人カ更ニ之ヲ讓渡サントスルニハ讓渡人タリシ被保險者ノ同意ヲ要ス讓渡人タルカ故ニ彼ノ同意ヲ要スルニ非ス此際ニハ保險ハ最早他人保險ト爲リ保險ノ主體即チ被保險者ハ保險債權者ニ非サルヲ以テ債權ノ讓渡ニ被保險者ノ同意ヲ要スルナリ同一ノ理ニ由リ保險契約者ト被保險者ト異ナリテ被保險者自ラ保險金受取人ナル場合ニハ隨意ニ保險債權ヲ讓渡スコトヲ得ルモ彼ヨリ讓受ケタル者カ更ニ讓渡サントスルニハ彼ノ同意ヲ要ス而シテ被保險者ト保險金受取人トカ初メヨリ異ナル場合ニ保險金受取人カ保險債權ヲ讓渡スニハ被保險者ノ同意ヲ要スルコト明カナリ(四二八)即チ生命保險ノ債權ヲ讓渡スニハ被保險者ノ同意ト云ヘル條件ヲ充タササルヘカラス

### 生命保險契約ノ消滅

生命保險契約ハ契約一般ノ消滅方法ニ因リテ消滅スル外保險ニ特別ナル解除及ヒ失効ニ因リテ消滅ス悉ク損害保險ノ規定ノ準用ナリ

一 保險契約者ハ保險者ノ責任ノ始マル前ニ契約ヲ解除スルコトヲ得

二 保險契約者ハ保險者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ契約ヲ解除スルコトヲ得

三 保險者ハ保險契約者カ契約ノ當時告知義務ヲ盡ササルトキハ契約ヲ解除スルコトヲ得

四 保險者ハ危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ著ルシク變更又ハ増加シタルトキハ契約ヲ解除スルコトヲ得

五 保險者ハ保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ契約ヲ解除スルコトヲ得

保險契約カ失効ニ因リテ消滅スル場合左ノ如シ

一 危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタルトキ

二 保險契約者又ハ被保險者カ必要ノ通知ヲ怠リタルトキハ保險者ハ保險契約カ其效力ヲ失ヒタルモノト看做スコトヲ得

人ノ身體ハ讓渡シ得サルモノナルヲ以テ損害保險ノ失効原因トシテ「危險ハ被



保險者カ保險ノ目的ヲ讓渡シタルカ爲メニ著シク變更又ハ増加シタルトキト云ヘルモノハ生命保險ニ準用セラレヌ

## 第四編 手形

### 手形ノ沿革

手形ノ正確ナル起源ハ詳カナラス手形ハ既ニ希臘ニ存シテ羅馬ハ之ヲ繼承シタリト云フ者アリ羅馬ノ自署證書ヨリ來リ羅馬ニ創生シタリト云フ者アリ亞細亞ノ歴史ヲ研究シテ亞刺比亞ニ生シタリト云フ者アレハ印度又ハ支那ニ生シタリト云フ者モアルナリ觀察點ヲ變シテ紙幣ト起源ヲ等シウスト云フ者信用證書ヲ起原トスル者預證券ヲ起原トスル者金錢支拂ノ委託書ヲ起原トスル者等千差萬別ナリ然レトモ此ノ如キ古代ノ起原論ハ暫ク措キ現在ニ普及セル手形ノ端緒トシテ多數學者ノ大體ニ一致スル所ハ手形ハ第十二世紀ニ伊太利ニ生シ兩替商ニ依リテ送金ノ具トシテ使用セラレタルニ在リ

遠隔ノ地ニ金錢ヲ送付スルニハ多クノ時間、手數及ヒ費用ヲ要シ金錢ヲ磨滅セシメ且紛失盜失ノ虞アルヲ以テ現金ノ輸送ニ依ラスシテ送金ノ目的ヲ達セントシ兩替商ノ發行スル手形ニ依リテ此目的ヲ達シタルナリ隔地間ノ商業發達



スルニ從ヒ手形ヲ利用スル者ヲ多ク生シ兩替商人以外ノ者モ之ヲ發行シテ流通ノ範圍益擴張シ遂ニハ送金ノ具トスル外ニ信用證券トシテ利用シ今ヤ支拂證券トシテ利用スル手形ヲモ生スルニ至レリ  
手形カ第十二世紀ニ發生シテヨリ今日ニ至ルマテ如何ニ發達シ來リシカヲ説明スルニハ種々ノ方法アリ

一 單純ニ年代ヲ追フモノ

何年何月何日ニ或種類ノ手形ヲ生シ又手形ニ關スル或制度カ制定セラレタリト説ク編年體ノモノナリ學理ノ研究ニハ利益少ナシ之ヲ世紀ニ分チテ更ニ或年代ニ分類スルハ單純ナル年代記ニ優ルモ亦手形法ノ學理ノ研究ニ多大ノ利益ヲ與フルモノニ非ス

二 手形使用者及ヒ手形利用方法ヲ標準トスルモノ

手形ハ初メハ兩替商ニ依リテ發行セラレ次テ兩替商以外ノ商人ニ依リテ發行セラレ又初メハ送金用ニ供シタリシヲ後ニ信用證券トシテ利用シ凡テノ商人ニ利用セラレ遂ニ非商人間ニモ用ユルニ至リシナリ又手形ノ或モノヲ

支拂ノ目的ニ用ユルニ至リテヨリ納稅貯金等ニモ利用シ以テ社會ニ普及シタリト説クナリ

三 手形ノ本質及ヒ形式ヲ標準トスルモノ

手形ハ金錢ノ支拂ノ委託又ハ約束ヲ記載シタルモノナリ初メハ契約ヲ書面ニ示セルモノナリシモ後ニハ契約ノ有無ヲ問ハストシ手形ハ純然タル形式證券ト爲リタリ即チ契約證書時代ヨリ契約兼形式時代ニ進ミ更ニ純然タル形式時代ニ進ミタリト説クナリ少シク觀察ヲ變シ手形ハ當事者ノ内部關係ヲ手形關係トシタリシ時代ヨリ之ヲ省ミサル時代ニ進ムトカ資金關係ヲ手形關係トシタリシ時代ヨリ之ヲ手形關係トセサル時代ニ進ムトカ手形ニハ原因ヲ要シタル時代ヨリ之ヲ要セサル時代ニ進ムト云フモアルナリ  
等シク此分類法ニ屬スルモ稍趣ヲ異ニシ手形ノ讓渡方法ヨリ區別シテ手形ハ指名的ノモノ即チ讓渡ヲ債務者其他ノ第三者ニ對抗スルニハ通知ヲ要スル時代ヨリ指圖的ノモノ即チ裏書讓渡ヲ爲シテ通知ヲ要セサル時代ニ進ミ遂ニハ無記名ノモノヲ認ムル時代ト爲レリト云フモアリ



四 國ニ依リテ分類スルモノ

國別主義ニシテ此主義ヲ探ル者ハ第一ヲ伊太利時代第二ヲ佛蘭西時代第三ヲ獨逸時代トセリ然レトモ其中ニハ英國スカンヂナビヤ等ヲ入レサルヲ以テ歐洲ノ沿革史トシテモ不十分ナリ更ニ世界ノ沿革史トシテハ亞細亞ニ於ケル發達ヲ度外視セル缺點アリ

此外獨逸人ニシテ專ラ獨逸ニ於ケル事實ヲ基礎トシ別ニ一貫ノ標準ヲ設ケヌシテ始期市場時代商人時代及ヒ近世トスル者アルモ市場時代ハ獨逸其他ノ或國ニ於ケル手形ノ沿革ニハ一時期ヲ爲セルモ世界ノ全體ヨリ見ルトキハ然ラス

我國ニ在リテハ手形ハ鎌倉幕府ノ頃青砥藤綱ノ發明スル所ナリト云フ者アルモ偽ニ近シ鎌倉時代ニ存シタルハ事實ナルモ何人ノ發明ナルカヲ知ラス夫レヨリ以前ニ存セリト云フニハ確證ナシ固ヨリ手形ナル文字ハ夙ニ我國ニ用キラレタルモ其文字ハ果シテ吾人ノ研究スル手形ヲ示スモノナルカ否カハ疑ハシ手形ナル文字ハ漢字ノ下手書畫指券等ト等シク證券ノ作成者ヲシテ墨手ヲ

捺シテ印影ヲ附セシメタルモノヲ指稱シ後ニ指頭ヲ以テスルモ尙手形ト稱シ遠ニ或種ノ私署證書ヲ悉ク手形ト稱シタルヲ以テ或時代ニ手形ナル文字存セリトテ必スシモ吾人ノ研究スル手形ナリト速斷スルヲ得ス鎌倉時代ニ生シ室町時代ヲ經徳川時代ニ至リテ大ニ發達シ利用セラレタルナリ其我國ニ於ケル最初ノ成文手形法ヲ明治十五年ノ爲替手形約束手形條例トス

手形ノ經濟的觀察

手形ノ法律の觀察ト其經濟的觀察トヲ明カニ分離スルコト困難ナリ手形ハ經濟上ノ必要ヨリ生シ經濟上ノ現象ニ因リテ發達シタルモノニシテ法規ノ基礎モ亦經濟現象ニ在リト言フモ可ナレハナリ資金關係原因文句等ヲ法文中ヨリ除去シタル手形法ニ於テハ經濟的研究ヲ爲ス要ナキ如ク見ユルモ手形ノ經濟的性質ヲ知ラサルトキハ十分ニ立法ノ理由ヲ了解シ得サルヘシ手形ハ送金ノ具ナリト云フハ手形ノ經濟現象ヲ云フモノナリ手形法ニハ手形ハ送金ノ具ナリト明言セサルナリ手形ハ信用ノ具ナリト云フモ經濟的觀察ナリ手形法ニハ手形ハ信用ノ具ナリト云ハサルナリ然レトモ手形ハ送金ノ用ニ



供セラレ又信用ノ具トシテ使用セラルヲ以テ手形法ハ其事實ヲ基礎トシテ現在ノ規定ヲ爲スナリ小切手ヲ支拂證券ト云フカ如キモ亦小切手ノ經濟的觀察ヲ示スモノナリ

手形ノ經濟的觀察ハ手形法全編ヲ通シテ必要ナリ總則ニ於テ手形ノ所持人ヲシテ時効ニ因リテ消滅シタル債權ニ關シ手形ノ振出人又ハ引受人ニ對シテ利益ノ償還ヲ請求スルコトヲ得セシメ振出ノ節ニ於テ三十圓以上ノ手形ニ限リ無記名式ト爲スコトヲ得セシメ裏書ノ節ニ於テ取立裏書ヲ爲スコトヲ得セシムルカ如キハ必ス經濟的眼光ヲ以テ研究セサルヘカラス  
尙ホ手形ノ割引及ヒ償還方法ヲ例トシテ此點ヲ説明セン

手形ノ割引トハ資力者カ滿期日前ニ手形ヲ有償ニ取得スルコトナリ之ニ依リ相手方ヲシテ滿期日ニ先チテ手形ノ支拂ヲ得タルト同一ノ有様ニアラシメ後ニ至リ取得者ヲシテ取得ノ代價利息及ヒ手数料ニ對スル金額ヲ得セシム資力者ハ手形金額ヨリ利息及ヒ手数料ヲ控除シタル殘額ヲ所持人ニ給付シテ手形ヲ取得スルヲ以テ割引ト稱シ裏書ノ形式ヲ以テ爲スヲ通常トス資力者ノ多ク

ハ銀行ニシテ割引ヲ受タル者ハ銀行及ヒ普通商人ナリ銀行ハ相集マリテ手形ヲ交換スル爲メニ特別ノ機關ヲ設ケ名ケテ手形交換所ト云フ我改正規定ハ小切手ニ關シ商法ノ明文ヲ以テ之ヲ認メタリ

手形ノ償還請求ハ手形ノ所持人ヨリ前者ニ對シテ一定ノ金額ヲ請求スルコトナリ所持人カ支拂地以外ニ住スル前者ニ對シテ償還請求ヲ爲スニ當リ戻手形ヲ發行スルコトヲ得此規定モ亦經濟上ヨリ觀察セサレハ十分ニ了解シ難シ法律ニハ別ニ戻手形ノ名稱ヲ附セス而シテ償還請求ノ目的ヲ以テ振出ス手形ト其目的ヲ有セサル手形トハ其形式同一ナルヲ以テ此區別ハ法規以外ニ存スル理由ニ依リテ説明セサルヘカラス戻手形ノ金額ヲ定ムルニ當リ支拂地ヨリ償還義務者ノ住所地ニ宛テ振出シタル一覽拂手形ノ相場ヲ以テ之ヲ定ムトスルハ明カニ經濟的觀察ヨリ來ルモノナリ或外國法ハ爲替手形ヲ内國手形ト外國手形トニ區別セリ

沿革ニ徴スルモ手形ノ法律的觀察ノ經濟的觀察ト離ルヘカラスハ明カナリ手形ヲ送金ノ具トシ信用證券トスル等ノ概念ノ外ニ手形法ハ其各段ノ進歩ニ



於テ常ニ經濟的情況ニ左右セラル真書ハ普通商人カ兩替商ニ市場ニ於ケル利益ヲ壟斷セラルヲ避クル爲メニ發達シ約束手形ハ金錢貸借ノ盛ナルヨリ起リ自己宛爲替手形ハ約束手形ヲ禁セラレタルヨリ發達シタルナリ後ニ參加引受、參加支拂、保證等ヲ生シ簡易迅速ノ訴訟手續ヲ生シテ益手形ノ經濟的的特徴ヲ發揮シ遂ニ獨人アイネルトヲシテ手形ハ商人間ニ通用スル紙幣ナリト云ハシムルニ至リテ其發達ノ盛ニ達シタルモノトス

### 手形法ノ意義

手形法ニハ種々ノ意義アリ場合ニ依リテ廣義ニ用ユルコトアレハ又狹義ニ用ユルコトアリ

最モ廣キ意義ニ於テハ手形法ハ手形ニ關スル法規ノ總稱ナリ恰モ廣義ニ於ケル商法ハ商ニ關スル法規ノ總稱ナルニ等シ其中ニハ國家カ手形法ナル名稱ヲ附シタルモノ及ヒ國家カ民法、訴訟法等ノ名稱ヲ附シタルモノノ中ニ存スル規定ヲ含ム例ハ民法ニ爲替手形ノ發行ハ更改ト看做スト云ヘルモノ訴訟法中ノ爲替訴訟ニ關スルモノ等ハ悉ク此中ニ入ルナリ又手形ニ特殊ニ非スシテ他ノ

事項ニモ共通ノ規定モ此中ニ入ル例ハ指圖債權及ヒ無記名債權ノ規定、有價證券偽造罪ノ規定ノ如シ尙行政法、國際法等ノ規定ニシテ之ニ入ルモノアルヲ以テ法ヲ公法、私法及ヒ國際法ニ分テ得ルモノトセハ手形法ハ公手形法、私手形法及ヒ國際手形法ニ分ツコトヲ得ルナリ

此ノ如ク廣ク手形法ヲ解スルヲ非トシ更ニ定義シ手形法トハ手形ニ固有ナル法規ノ總稱ナリト云フコトアリ手形ニ固有ナルヲ要スルヲ以テ指圖債權、無記名債權等ニ關スル民法、商法ノ規定及ヒ有價證券偽造罪ニ關スル刑法ノ規定ハ手形法ヨリ除外セラル

尙一層狹クシテ手形法ヨリ公法規定ヲ除去スルコトアリ然ルトキハ手形法ハ手形ニ固有ナル私法規定ノ總稱ト爲リ學者ノ通常手形法トスルモノノ範圍ハ多クハ此ノ如シトス而シテ諸國ノ手形法ト稱スルモノノ範圍ハ最モ之ニ近シ今之ヲ定義ニ示ストキハ左ノ如シ

手形法トハ特ニ手形ニ關スル個人間ノ關係ヲ規定セル法規ノ總稱ナリ

時トシテハ手形法トハ國家カ手形法、手形編又ハ手形條例等ノ名稱ヲ附シテ發



布シタル一括ノ法規ナリト云フ者アリ其中ニハ手形ノ本體法ノミニ限定スル者ト附屬法令ヲモ入ル者トアリ我國法ノ下ニ在リテハ手形法トハ商法第四編ナリト云フ者ト商法第四編商法施行法中ノ手形編ニ關スル規定及ヒ類似ノ附屬法令ヲ合シタルモノナリト云フ者トアルナリ然レトモ此等ノ說ハ何レモ學理上ノ研究ニ多クノ價值ナシ

### 手形法ノ系統

現今世界ニ行ハルル手形法ノ系統ヲ分チテ三トス

#### 一 佛國法系

佛國主義ト稱シ佛國商法ヲ基礎トスルモノナリ佛國ハ那翁ノ編纂セル商法中ニ爲替手形及ヒ約束手形ヲ規定シ後一八六五年ニ特別法タル小切手法ヲ制定シタリ然レトモ小切手ハ特別ノモノトシ手形ト云ヘハ商法ニ規定セル二種ノ證券ヲ指スヲ以テ佛國法系ハ佛國商法ヲ基礎トスルモノト云ヒテ可ナリ

此法系ノ特色ハ(一)資金關係ヲ手形上ノ關係トシ(二)原因文句(三)指圖文句ヲ手

形ノ要件トシ(四)白地裏書ハ委任裏書ノ效力アルモノトシ(五)引受ヲ資金受領ノ證據トスル等ナリ

佛國法系ハ之ヲ特色トスルモ此等ノモノハ現今ノ商業界ニ適セサルヲ以テ佛國ニテモ其改正ヲ唱フル者ヲ生シ此中ノ或部分ハ時々ノ單行法令ニ依リテ既ニ改廢セラレタリ佛國ニ於テモ然リトスレハ他國ニ於テ之ヲ改ムルハ當然ナリ一時ハ歐洲大半ノ諸國ハ佛法ニ模シテ手形法ヲ制定シタルモ今ヤ概ネ之ヲ捨テントスル情況アリ一八八五年ノ西班牙商法一八八三年ノ伊太利商法一八七二年ノ白耳義商法等ハ何レモ既ニ佛國主義ノ大半ヲ捨テタリ和蘭ノ一八三八年ノ現行法ハ佛國主義ナレトモ後ニ生シタル商業證券法案ニハ之ヲ棄テタリ此ノ如ク時代ニ後レタル主義ナルヲ以テ之ヲ舊主義ト云フ

#### 二 獨逸法系

獨逸主義ト稱シ獨逸手形法ヲ基礎トスルモノナリ第十九世紀ノ初メ獨逸ノ諸邦ニ行ハレタル手形法ハ區々ニ涉リテ大不便ヲ感シタルヲ以テ各邦共通



ノ規定タル一八四七年ノ手形法案ヲ作りテ各自ニ之ヲ國法トシ後獨逸帝國  
ヲ建設シタル際其儘ニ之ヲ獨逸帝國ノ手形法トシタリ商法編纂ノ後ニモ單  
行法ノ儘ニ存シ總テ百ヶ條アリ爲替手形及ヒ約束手形ヲ規定スルニ止マリ  
小切手ハ一九〇八年特別法トシテ制定セラレタリ

獨逸法系ノ特色トスル所ハ(一)資金關係ヲ手形上ノ關係トセス(二)原因文句(三)  
指圖文句ヲ手形要件トセス(四)白地裏書ヲ委任裏書ノ效アルモノトセス(五)引  
受ヲ資金受領ノ證據トセサルコト等ニシテ佛國主義ノ正反對ナリ積極的ニ  
此主義ノ特色ヲ示ストキハ(一)手形債權ヲ證券債權トシ(二)手形ヲ當然ノ指圖  
證券トシ(三)白地裏書ヲ純然タル權利移轉ノ方法トシタル等ナリ隨テ資金關  
係原因文句指圖文句等ヲ手形法ヨリ除去シ手形ハ簡明ニシテ正確ナルモノ  
ト爲リタリ

獨逸法系ニ屬スル最モ重ナルモノハ填太利ナリ西伊白等モ之ニ入り其外一  
八八一年ノ瑞西法一八八〇年ノスカンデナビヤ法等モ之ニ屬ス我國ノ手形  
法モ全體ニ於テハ獨逸手形法ヨリ採ル所多キヲ以テ亦獨逸法系ニ入ルト稱

三 英國法系

シテ可ナリ此ノ如ク新時代ノ傾向ニ適スルヲ以テ之ヲ新主義ト云フ

英國主義若クハ英米主義ト稱シ一八八二年ノ英國手形法ヲ基礎トスルモノ  
ナリ英國ニハ成文ノ民法商法ナク手形ニ關シテモ亦慣習ノミナリシヲ慣習  
ノミニテハ正確ナラサル所アルト一定セル慣習ハ文字ニ示スヲ可トスル點  
ヨリ手形法ヲ編纂シタルナリ銀行家先ツ唱ヘテ一般ノ實業家之ニ和シ法律  
家ヲシテ起草セシメタリ初メハ英蘭及ヒ愛蘭ニノミ施行スル意ナリシヲ半  
途ニテ蘇格蘭ニモ施行スルコトトシ遂ニ大英聯合王國ニ共通ノ法ト爲リタ  
リ爲替手形小切手及ヒ約束手形ノ順序ニテ規定シ總テ百ヶ條ヨリ成ル  
英國法系ノ特色ハ(一)實用ヲ先キニシテ理論ヲ後ニシ(二)手形嚴格ヲ云ハスシ  
テ解釋ノ餘地ヲ多ク存シ(三)手形ノ振出裏書等ノ手形行爲ニ關シテハ明白ニ  
交付契約說ヲ採リタル等ニ在リ資金關係原因文句指圖文句裏書引受等ニ關  
スル規定ノ或モノハ佛國ニ近ク或モノハ獨逸ニ近キモ大體ニ云フトキハ獨  
逸ニ近シ故ニ或學者ハ之ヲ獨逸法系ノ一派トセリ然レトモ英國手形法ハ悉



ク英國固有ノ慣習ヲ基礎トシテ作リシモノニシテ毫モ獨逸手形法ノ如何ヲ  
 顧慮セズ從テ故ラ獨逸法ヲ模倣シタルモノトハ趣キヲ異ニス殊ニ英國手形  
 法ノ原則ニハ獨逸法ニ無キ特色多キヲ以テ必ス之ヲ獨立ノ法系ト爲ササル  
 ヘカラス我手形法ニ小切手ヲ編入シテ之ヲ手形トシタルハ英國法ヲ採用シ  
 タルモノナリ英國法ハ其編纂ノ日ハ新タニシテ多數ノ新事實ニ適合スルヲ  
 以テ新主義ト稱スルモ可ナラン然レトモ學者ノ新主義ト稱スルモノハ專ラ  
 獨逸主義ヲ指スヲ以テ混同ヲ避クル爲メ特ニ英國主義ノ名ヲ存スヘシ  
 英國法系ニ屬スル重ナルモノハ英領地及ヒ北米合衆國ナリ英領地ノ中ニハ  
 英國手形法ヲ其儘ニ行フモノアレハ加奈陀ノ如ク多少ノ變更ヲ加ヘテ行フ  
 モノアリ合衆國ニハ合衆國ノ手形法ナク各州ノ隨意ニ立法セルモノ及ヒ慣  
 習法アルノミ成文法中有名ナルモノハ一八九七年ノ紐育法ナリ流通證券法  
 ト稱スルモ大ニ英國手形法ニ等シキ所アリ

現今世界ノ手形法ハ以上ノ三大系ニ分カルルモ漸々統一スル傾向アリテ大原  
 則ノ統一ハ近キ將來ニ期シ得ルニ至レリ三大系ト云フモ佛國法系ハ將ニ亡ヒ

テ獨逸法系ニ合セントシ殘ル所ハ獨逸法系及ヒ英國法系ナルニ此兩法系ノ内  
 容ノ相類スルハ兩國學者ノ認ムル所ナルヲ以テ重ナル原則ヲ統一スルヲ決シ  
 テ不能ニ非ス又兩法編纂ノ沿革ヲ見ルニ何レモ地方ヨリ進ンテ全國的ノ法律  
 ト爲リタルモノナリ獨逸手形法ハ獨逸ノ數十州ニ散在セル五十六個ノ手形法  
 ヲ統一シタルモノナリ英國手形法ハ英蘭愛蘭及ヒ蘇格蘭ノ法ヲ統一シタルモ  
 ノナリ英獨兩法トモニ統一的ノモノトスレハ二者ヲ合シテ更ニ畫一ノモノト  
 爲スハ決シテ不能ニ非ス少ナクトモ或原則ニ關シテハ然リトス  
 國際貿易ノ益發達シテ手形流通ノ愈萬國的下爲ルニ從ヒ手形法規ヲ統一スル  
 必要ノ度ヲ増シ國際法學會ハ之カ爲メニ屢會議ヲ開キ一八七八年ニフランク  
 フォルトアマメインニ開キタル會議ニ於テ遂ニ一案ヲ作り名ケテ「ブレイメン」  
 規則ト云ヘリ之ヲ作ル爲メニ始メテ會議ヲ開キタルブレイメン市ノ名ヨリ由  
 來ス大體ニ於テハ獨逸主義ナルモ遡及權ニ關シテハ英國ノ一權主義ヲ採用セ  
 リ又國際法協會ハ一八八八年ブラツセルニ於テ手形法案ヲ作り自ラ稱シテ模  
 範法ト云ヘリ殊ニ注意スヘキハ一九一〇年七月海牙ニ開キシ萬國會議ナリ之



ニ賛列シタル者三十二ヶ國ノ多キニ達シ其結果トシテ手形ニ關スル一個ノ條約案及ヒ一個ノ法案ヲ作りタリ

## 第二章 總則

### 手形ノ意義

手形ハ一定ノ地ニ於テ一定ノ金額ヲ單純ニ支拂フヘキコトヲ記載シ署名者ヲシテ其文言ニ從ヒテ責任ヲ負ハシムル形式證券ナリ

此定義ハ一部ハ形式ヨリ採リ一部ハ實質ヨリ採リタルモノナリ一定ノ地ニ於テ一定ノ金額ヲ單純ニ支拂フヘキコトヲ記載セル證券トハ手形ノ形式ヲ示シ署名者ヲシテ其文言ニ從ヒテ責任ヲ負ハシムトハ手形ノ實質ヲ示スナリ此實質責任ノ内容ハ形式ニ記載シタル事項ニ依リテ定マル

手形ノ振出人カ支拂地ニ於テ第三者ヲシテ一定ノ金額ヲ支拂ハシムル爲メニ支拂ノ委託ヲ記載スルトキハ爲替手形又ハ小切手ト爲リ振出地ニ於テ自ラ一定ノ金額ヲ支拂フコトヲ記載スルトキハ約束手形ト爲ル

▽ 手形ハ形式證券ナリ

形式證券ノ何タルカハ貨物引換證ノ所ニ説明シタリ形式證券ノ形式ニハ寬



嚴ノ差アリ手形ニ在リテハ或事項ヲ記載セサレハ其證券ヲ成立セシメス或  
事項ヲ記載スルモ法令ニ規定スルモノノ外ハ記載ノ效力ヲ有セサルナリ然  
レトモ規定外ノ事項ヲ記載スルモ手形ノ要件ヲ破壞セサル限りハ記載ノ効  
ナキニ止マリテ證券全體ヲ無効トスルコトナシ手形ハ私書ノ形式證券中形  
式ノ最モ嚴ナルモノナリ(四三九)

二 手形ハ設權證券ナリ

手形ノ作成ニ因リ手形債權ヲ成立セシメ署名者ヲシテ所持人ニ對シテ券面  
記載ノ責任ヲ負ハシム或者カ法定ノ事項ヲ記載セル書類ニ署名シテ之ヲ他  
人ニ交付スルトキハ署名者ハ義務ヲ負ヒ交付ヲ受ケタル者ハ權利ヲ得即チ  
手形作成ハ手形上ノ權利ヲ創設スルモノナリ故ニ其證券ヲ設權證券ト云フ  
ナリ既ニ生シタル權利ヲ證明スルニ要スル證據證券ニ非ス又手形ヲ作成ス  
ルハ作成者ノ任意ニシテ何人ノ請求ニモ因ルニ非サルヲ以テ因求證券ニ非  
ス

三 手形ハ不要因證券ナリ

手形ヲ作成スルハ證券ニ署名スルニ在リ署名者ニ責任ヲ負ハシムルカ爲メ  
ニ別ニ何等ノ原因ヲモ要セヌ又原因アリト推定スルニモ非ス唯或者カ證券  
ニ署名シタルヲ以テ足レリトス故ニ手形ハ要因證券ニ非ス即チ換言シテ不  
要因證券ト云フナリ又何等ノ事情アルニ拘ハラヌ署名者ヲシテ絕對ニ責任  
ヲ負ハシムル點ヨリ絕對證券ト云フ

四 手形ハ金銀證券ナリ

證券面ニ一定ノ金額ヲ記載シ債務ノ目的ヲ金銀ニ限ルナリ或國ニ於テハ金  
銀以外ノ物ヲ債務ノ目的トスルコトヲ認メ所謂物品手形ナルモノヲ生スル  
モ多數ノ國ハ之ヲ金銀ニ限リテ手形ヲ金銀證券トス此點ヨリシテ手形ヲ倉  
庫證券船荷證券等ト分ツ

五 手形ハ無條件證券ナリ

手形金額ヲ支拂フハ無條件タルヲ要ス保險證券ノ如ク條件ノ發生ヲ待チテ  
支拂義務ノ實現スルモノニ非ス法律ニ手形ニハ單純ナル支拂ノ委託又ハ約  
束ヲ記載スヘシト云ヘルハ此主意ナリ此點ヨリシテ手形ヲ無條件證券若ク



ハ單純證券ト云フ

六 手形ハ定地拂證券ナリ

手形金額ハ一定ノ記載地ニテ支拂フヘキモノナリ何レノ地ニ於テモ請求シ又ハ何レノ地ニ於テモ支拂ヒ得ルモノニ非ス又記載ナキ地ニテ支拂フヘキモノニ非ス支拂フヘキ地ハ必ス手形ニ記載スヘシ支拂地ト名クルカ振出地ト名クルカ或ハ何等ノ名稱モナクシテ附記スルニ止マルカハ別トシ必ス地ヲ記載スルヲ要ス世人ハ手形ヲ種々ノ方面ヨリ説明スルニ此要素ヲ述ヘサルハ缺點ナリ或學者ハ立法論トシテ手形ノ支拂地ハ一定スルヲ要セス殊ニ小切手ニ在リテハ其支拂地ヲ一定セスニ隨所ニ請求シ得セシムヘシト云フモ非ナリ手形ノ支拂地ハ一定スヘク又必ス記載スヘキモノナリ

七 手形ハ當然ノ指圖證券ナリ

以上ノ六質ハ如何ナル手形ニモ共通ノ要素ニシテ其一ヲ缺クトキハ全然手形ヲ成ササルモノナリ之ニ反シ指圖證券タルコトハ總テニ共通ニ非ス或手形ハ指圖證券ニ非ス然レトモ全體ヲ觀察シテ法律ハ手形ハ元來指圖的タル

ヘキモノトシ當然ノ指圖證券トシタリ

證券ニハ指名的ノモノ、指圖的ノモノ及ヒ無記名ノモノアリ權利者ノ氏名ヲ記載セルモノヲ記名式ト稱シ記名式ナルトキハ其債權ヲ指名債權トスルヲ通常トシ指圖的ト爲スニハ之ニ指圖文句ヲ附記スルヲ要スルモ手形ニハ此文句ヲ不要トシ即チ記名式ノモノト雖モ裏書ヲ以テ讓渡シ得ルコトトシタリ手形ハ當然ノ指圖證券ナリト云フハ此意ナリ誤解シテ總テノ手形ハ必ス指圖證券タルヲ要スト思フヘカラス

手形ハ定日拂證券ナルヲ通常トス手形金額ノ請求ハ手形ニ記載シタル日、其日ヨリ一定ノ期間ヲ經過シタル日又ハ手形ヲ一覽シタル日ヨリ一定ノ期間ヲ經過シタル日ニ於テスヘク隨時ニ請求シ得サルヲ通常トス此點ヨリ云ヘハ手形ハ定日拂ノ證券ナリ然レトモ爲替手形及ヒ約束手形ニモ一覽拂ノモノアリ小切手ハ常ニ一覽拂ナルヲ以テ手形ハ悉ク定日拂ノモノト云フヲ得ス

手形ハ有價證券ナリ就中其重ナルモノトス又商業證券ナリ商法ニハ手形其他ノ商業證券ト云ヒテ手形ノ商業證券タルコトヲ明示セリ(二六三)尙ホ手形ハ債



權證券ナリト云フコトアリ債權證券トハ物權證券ニ對スルモノナリ等シク有價證券タリ商業證券タルモ倉庫證券船荷證券ハ物ヲ處分スルニ用ヒ證券ハ物ヲ代表スルカ如キ觀アルモ手形ハ物又ハ金銀ヲ代表セス手形權利者ハ金銀上ニ物權ヲ有スルニ非スシテ單ニ或者ニ對シテ金銀ノ支拂ヲ請求シ得ルニ止マルヲ以テ債權證券ト云フナリ

手形ヲ流通證券ト云フハ英米ノ學者ノ常ナリ殊ニ米國ノ手形法觀ハ多クハ流通證券法ト名ケテ制定セラルヲ以テ學者ク此ク如ク云フハ當然ナリ而シテ我國ニモ此說明ヲ採用セントスル者アルモ流通證券ノ意義ニ關シテハ英米間ニ異ナル所アリ又英米各自ニ在リテモ學者間ニ意見ク異ナル所アルヲ以テ我ニ採用スルハ不可ナリ

### 手形ノ種類

手形ニハ三種アリ爲替手形約束手形及ヒ小切手ナリ(四三四編逸手形法ハ爲替手形及ヒ約束手形ヲ規定スルニ止マリ小切手法ハ特別法ナリ佛國商法ニモ爲替手形及ヒ約束手形ヲ規定スルニ止マリ小切手法ヲ特別法トシタリ從テ學者

ハ小切手ノ手形ナルカ否々ヲ議論セリ獨リ英國手形法ハ小切手ヲ手形法中ニ規定シ之ヲ手形トスルコト我國ニ等シ然レトモ英法ノ小切手ヲ爲替手形ノ一種トセルニ反シ我國ハ之ヲ獨立ノ手形トシ手形ニ三種アルコトヲ明言シタリ

商法ニハ本法ニ於テ手形トハ爲替手形約束手形及ヒ小切手ヲ謂フトシタルヲ以テ此他ニモ尙手形アル如ク思ハレ又將來商法以外ノ法令ヲ以テ特種ノ手形ヲ制定スルヤモ計ラレサルモ現在ニ在リテハ我國ニハ此三種以外ノ手形ヲ有セズ或者ハ從來我國ニ尙爲替手形ト稱シ來リシモノハ商法以外ニ存スル手形ナリト云ヒシモ誤ナリ我國ニハ此ノ如キ別種獨立ノ手形ナク所謂尙爲替手形ナルモノハ普通ノ爲替手形ニ擔保ノ附著シタルモノナリ尙他ニ送金手形送金小切手預金手形銀票等ノ名稱アルモ何レモ商法ニ規定スル手形ナルカ或ハ全然手形ニ非サルモノナリ

### 手形學說

手形學說ナル語ハ獨逸學者ノ常用スルモノニシテ手形理論又ハ手形主義ト譯スルコトアリ手形ニ關スル根本學理ヲ研究スルモノニシテ殊ニ手形債權ノ性



質成立及ヒ手形自體ヲ研究ス手形法ヲ制定スルニ當リテ有用ナルハ勿論成文法ノ解釋ニモ有用ナリ

手形學說トシテ記念スヘキ三說アリ

アイネルトノ紙幣說 ア氏ハ手形ヲ以テ商人間ニ通用スル紙幣ナリトシ手形ハ商人ノ信用ヲ基礎トシテ發行シ其信用ニ基キテ流通シ又商人ハ手形ヲ受取リタルトキハ金錢ヲ受取リタルト同視スルヲ以テ手形ハ紙幣ニ等シト云ヘリ此說ハ一部ノ慣習ヲ示シ將來ノ希望ヲ述ヘ又比喩的ノモノトシテハ大ニ可ナリ然レトモ正確ニ手形ヲ説明シ得ルモノニ非ス

リーベノ形式行爲說 リ氏ハ手形行爲ハ形式行爲ナリトシ或者カ一定ノ形式ヲ爲ストキハ其意思ノ如何ニ拘ラス手形上ノ義務ヲ負ヒ又形式ヲ爲ササルトキハ如何ナル意思アルモ義務ヲ負ハス而シテ形式ノ中心ハ署名ナリト云ヘリ然レトモ形式ヲ重ニスルニ過キテ意思ヲ重ニスル現今ノ事情ニ適セス。テールノ金額約束說 テ氏ハ手形ハ金錢ヲ支拂フ約束ヲ記載シタルモノトシ振出人ハ手形ノ振出ニ依リテ如何ナル場合ニモ之ヲ支拂フ義務ヲ負ヒ約束

手形ナレハ自ラ支拂フヘク爲替手形ナレハ第三者ヲシテ支拂ハシメ第三者カ支拂ハサルトキハ自ラ償還請求ニ應スヘシ而シテ爲替手形ノ支拂人カ引受ヲ爲ストキハ金錢ヲ支拂フコトヲ約スルモノトシ支拂義務ヲ履行スル爲メ振出人ヨリ手形資金ヲ受取リタルト否トヲ問ハスト云ヘリ  
氏ハ又交付契約說ヲ唱ヘ手形上ノ權義ハ手形ノ交付ニ因リテ成立シ手形ノ交付アルトキハ授受者間ニ契約ヲ成立ス而シテ交付ノ證明ニ關スル爭ヲ豫防スル爲メ或者カ手形ヲ所持スルトキハ適當ノ者ヨリ其手形ノ交付ヲ得タリト推定スト云ヘリ

手形ニ關スル學說多キモ以上ノ三說ハ獨逸ノ手形法書ニ必ス列記スルモノナリ是レ三氏共ニ手形學說ニ於テ一時期ヲ爲シタル大家ニシテ且何レモ或國ノ爲メニ自說ヲ基礎トシテ手形法案ヲ起草シ獨逸手形法編纂ノ前後ニ熱心ニ之ヲ主張シタルハナリ

三氏以後ニモ種々ノ學說ヲ生シタルモ其或モノハ徒ラニ卓拔ヲ競ヒテ奇論ニ陥リ他ノモノハ多クハ右ノ三說ヲ修正補充シタルニ過キサルヲ以テ茲ニ掲載



セ又唯有力ナル左ノ三説ヲ示スニ止ム

一 所有權説 手形ノ權利者トハ手形ノ所有權ヲ有スル者ナリ手形ノ所有權ヲ有スルカ故ニ手形債權ヲ有スルニ至ルナリト云ヒゴールドシュミット氏之ヲ唱道セリ然レトモ手形債權ハ本ナリ手形ナル紙片ハ末ナリ然ルヲ紙片ノ所有權ヲ主トスルハ本末ヲ顛倒セルモノナリ

二 善意占有説 單獨行為論者中極端ナル者ハ手形債權ハ振出人ノ署名ノミニ因リテ成立ストシ債權者ナキニ如何ニシテ手形ハ成立スルカノ間ニ對シテ手形自身ハ債權者ナリト答フ又或者ハ手形ハ署名セラレテ他人ニ占有セラレハ足ルトシ占有者ノ善意惡意ヲ問ハスト云ヘリ最モ温ナル者ハ手形ハ善意ノ占有者ニ歸セサル可カラヌ手形ノ成立スルハ手形カ振出人ニ依リテ署名セラレ債權者ニ依リテ占有セラレタル時ナリ唯債務者トシテ爲スヘキコトハ手形證券ヲ作成スルニ在ルノミト云フナリ此説ト交付契約説トハ相接近ヌ善意ニ手形ヲ占有スル者ハ必ヌ或者ヨリ手形ノ交付ヲ受ケタル者ナレハナリ

三 交付契約説

契約説ハ手形債權ハ振出人カ受取人ト手形上ノ權利義務ヲ生セシムコトヲ約スルニ因リテ成立ストスルモノナリ此説中ニテ成立時期ハ振出人カ受取人ニ通知シタル時トスルモノ、受取人ノ同意ヲ得タル時トスルモノ及ヒ手形ヲ受取人ニ交付シタル時トスルモノアリトモ最後ノ説ヲ可トヌ又普通ノ行為ニハ交付ヲ要スルモ或行為例ハ引受ニ限リテ之ヲ要セストヌルモノト總テノ行為ニ之ヲ要ストスルモノトアリ其法ハ交付契約説ヲ採リテ之ヲ法文ニ示シ獨逸帝國裁判所モ亦一九〇六年ノ今日ニ至ルマテ交付契約説ヲ採レリ

此説ハ振出人ト受取人ノ間ヲ説明スルハ容易ナルモ振出人ト受取人以外ノ所持人ノ間ヲ説明スルハ困難ナリトシテ三説ニ分カル(一)ハ受取人ヨリ手形ヲ讓受クル者ハ受取人ノ手形債權ヲ讓受タト云ヘリ然レトモ讓受タト云フトキハ讓受ニ伴フ方式條件等ヲ履行スヘク效力モ亦之ニ伴ハサルヘカラス(二)ハ振出人ト手形ノ取得者ノ間ニハ直接契約アリ振出人ハ手形ヲ受取人ニ交付スルニ際シ其手形ヲ讓渡ス際ニハ自己ニ代ハリテ讓受人ニ手形契約ノ



申込ヲ爲スコトヲ委託シ受取人ハ之ヲ承諾ス隨テ手形ノ讓受人ハ此申込ヲ承諾シ振出人ニ對シテ直接ノ權利ヲ得ト云ヘリ然レトモ振出人ト受取人ノ間ニ此委託アリト云フハ事實ニ反スル傾アリ(三)余ハ振出人カ手形ヲ振出ス際手形ヲ取得セントスル者ニ直接ニ手形債務ヲ負フコトヲ申込ミタルモノトシ取得者ハ此申込ヲ承諾スト云フナリ即チ申込ハ手形證券中ニ合マレ手形ノ取得ヲ承諾ト見ルナリ

我手形法ハ交付契約說ヲ以テ説明スルヲ可トス手形上ノ權利者義務者ヲ生スルニハ債務者ト爲ルヘキ者カ手形ニ署名スル外ニ債權者ノ存スルヲ要シ債權者タルニハ手形ヲ占有スルヲ要スルハ全編ノ規定ヨリ明カナリ而シテ權利者カ手形ヲ占有スルニハ適法ノ原因ナカルヘカラス而シテ此適法ノ原因ハ交付ヲ受クルヨリ外ナキヲ以テ交付ニ因リテ權利ハ成立シ手形ハ成立スト云フナリ所有權說ハ商法ニ何人ト雖モ惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ手形ヲ取得シタル者ニ對シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス(四四一)トセルヲ援用シテ我商法ハ手形ナル一物アリトシテ其返還不返還ヲ云ヘルモノニシテ即チ所有權

說ヲ採用スルモノナリト云ヒ善意占有說ハ同シク此規定ヲ採用シテ善意ニ占有スレハ權利ヲ得トスルモノニシテ我商法ハ善意占有說ナリト云フモ何レモ十分ノ理由ニ非ス之ニ依リテ吾人ノ交付契約說ヲ破フルコトヲ得ス

### 手形ノ署名

手形債務者トハ手形ニ署名シタル者ナリ手形ニ署名シタル者ハ其手形ノ文言ニ從ヒテ其責任ヲ負フ(四三五)

手形ノ署名ハ他ノ行爲ト等シク代理人ヲ以テ之ヲ爲シ得レトモ代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ記載セスシテ手形ニ署名シタルトキハ本人ハ手形上ノ責任ヲ負フコトナシ(四三六)本人ハ手形面ニ表ハレサレハ代理人ヲシテ之ヲ負ハシムルカ否カハ手形法ニ定マラス多クノ場合ニハ民法ニ代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ示サスシテ爲シタル意思表示ハ自己ノ爲メニ之ヲ爲シタルモノト看做ス(民一〇〇)トセル規定ニ依リテ代理人責ヲ負フコトト爲ラン

手形ニハ偽造又ハ變造ノモノアリ偽造ノ手形ノ尤モ普通ナルモノハ振出人カ他人ノ氏名ヲ記載シテ振出シタル手形ナリ偽署名ノ手形ナリ此外他人カ手形



ヲ爲ス意思ニテ署名シタルニ非サル署名ヲ使用シテ手形ヲ作成スルコトアリ  
 之ヲ署名ノ不正使用ニ因ル偽造ト云フ余ハ偽造手形ヲ之ヨリモ一層廣ク解ス  
 ルモ今ハ暫ラテ通説ヲ示スニ止ム

偽造手形ニ署名シタル者モ手形上ノ責ヲ負フ偽造者ノ氏名ハ手形ニ表示セラ  
 レサルヲ以テ其者ニ手形上ノ責ナク而シテ振出人トシテ氏名ヲ記載セラレタ  
 ル者ハ自ラ何等ノ手書ヲモ爲ササルヲ以テ同シク手形上ノ責ヲ負フコトナシ  
 然レトモ此手形ニ真書引受保證等ノ署名ヲ爲シタル者ヲシテ責ヲ負ハシム手  
 形トシテ有效ニ振出サレサルモノニ署名シタル者ニモ手形上ノ責ヲ負ハシム  
 ルナリ是レ署名者ニ對シテ稍酷ナル所アリ署名者ハ自ラ所持人ニ對シテ責ヲ  
 負ヒナカラ何人ニ對シテモ手形上ノ權利ヲ有セス偽造者ニ對シテ不當利得又  
 ハ不法行爲ノ原則ニ基キテ請求シ得トスルモ實益少ナシ故ニ偽造手形ノ署名  
 者ニ此責ヲ負ハシムルトキハ或ハ之ヲ恐レテ手形ヲ取扱ハサルニ至ランモ左  
 リトテ真正ノ署名アルニ其署名者ニ責任ヲ負ハシメサルトキハ却テ手形ノ信  
 用ヲ失フ虞アルヲ以テ利害得失ヲ查考シテ此ノ如ク規定シタルナリ(四三七)

同一ノ理由ニ由リ變造手形ニ署名シタル者ニハ其變造ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ  
 負ハシム變造トハ狹ク解スルトキハ手形ノ要件ヲ變更シテ手形ヲ改造スルコ  
 トナリ例ハ振出日一日トアルヲ二日ト改メ或ハ金百圓ヲ二百圓ニ改ムル如シ  
 廣ク解スルトキハ要件ノ變更ノ外如何ナル事項ニ變更ヲ加フルコトヲ合ム例  
 ハ支拂場所一番地トアルヲ二番地トスルモ變造ナリ何レニスルモ變造後ニ署  
 名シタル者ヲシテ其變造手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負ハシムルハ同一ナリ今  
 ハ狹義ノモノヲ例トスヘシ

純然タル理論ヨリスルトキハ狹義ノ變造手形ナルモノナシ手形ノ要件ノ變更  
 トハ金額百圓ヲ改メテ二百圓トスルニ在ルモ之ヲ改メントシテ既存ノ要件ヲ  
 消滅セシムルトキハ手形ハ要件ノ欠缺ニ因リテ其瞬間ニ消滅シ消滅後ニ或要  
 件ヲ記載スルモ元ノ手形ヲ蘇生セサレハナリ而シテ手形カ消滅スレハ之ニ署  
 名シタル者ハ手形上ノ責ヲ免カルハ當然ナリ之ヲ純然タル理論トス然レトモ  
 法律ニ手形ノ變造ナルモノヲ認メ變造前ノ署名者ニハ變造前ノ文言ニ從ヒテ  
 責ヲ負ハシム變造後ノ署名者ニハ變造後ノ文言ニ從ヒテ責ヲ負ハシムル主意



ヲ示ス以上ハ此理論ヲ貫カスシテ變造後ニ手形ヲ生存スルハ勿論變更前ノ手形モ維然トシテ存續ストシ一枚ノ手形ニ二種以上ノ手形債權ノ現出スルヲ認ムルモノト解スヘシ

署名ノ前後ニ依リテ署名者ノ責任ヲ異ニストスレハ或者カ何時ニ署名シタルカヲ知ルハ緊要ナリ法律ニハ之ヲ知ル一方法トシテ變造手形ニ署名シタル者ハ變造前ニ署名シタルモノト推定セリ其理由トスル所ハ(一)署名者ハ變造手形ヨリモ變造セサル手形ニ署名スルハ通常ナリ(二)變造ハ通常金額ヲ多クスルカ日附ヲ短縮スル等ニシテ署名者ノ不利益ト爲ルモノナルヲ以テ署名者ヲシテ此不利益ヲ免カレシメントスルニ在リ

偽造又ハ變造ノ手形ニ署名シタル者ニモ其文言ニ從ヒテ責任ヲ負ハシムルモ左ノ例外ヲ認ム

甲 偽造者ニ對シテ責ヲ負ハス 手形ハ如何ニ形式證券ナルモ其偽造者ニ權利ヲ取得セシムルコトナシ偽造者カ權利ヲ有セサル結果署名者ハ偽造者ニ對シテ手形上ノ責ヲ負ハス

乙

變造者ニ對シテ責ヲ負ハス 前ト同一ノ理由ニ依リ變造者ニモ手形上ノ權利ヲ與ヘサルナリ變造ノ中ニハ極メテ小變更アルモ如何ナル變造者ニモ手形上ノ權利ヲ得セシメヌ又變造ニ因リ從前ヨリモ署名者ノ責任ヲ輕減スルモ尙變造者ニ手形上ノ權利ヲ得セシメヌ變造後ノ手形上ノ權利ヲ有セシメサルノミナラス變造前ノ手形上ノ權利ヲモ有セシメヌ隨テ手形ノ變造ハ變造者ニ取リテハ手形上ノ權利ノ喪失ヲ來スモノナリ

丙

惡意又ハ大過失ニ因リ偽造手形又ハ變造手形ヲ取得シタル者ニ對シテ責ヲ負ハス 偽造手形ナルコトヲ知リナカラ取得スル者ヲ保護スルヲ要セス大過失ニ因リテ之ヲ取得シタル者ハ稍恕スヘキ點アルモ種々ノ法令ニ於テ大過失ヲ惡意ト同視スル如ク手形法ニテモ之ヲ同視シタリ變造手形ニ關シテ云フモ亦然リ惡意又ハ大過失ニ因リテ變造手形ヲ取得シタル者ハ取得行爲ノ際ヨリ手形上ノ權利ヲ有セス既ニ有シ居リシ權利ヲ變造ニ因リテ喪失スルトハ稍異ナルモ手形ノ署名者ニ對シテ有スル位地ニ於テハ二者同シ手形ニ署名シタル者ハ其手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フヲ原則トスルモ此原



則ニハ例外アリ機械的ニ自己ノ氏名ヲ手書スル者又ハ署名スル意思アルモ手形ニ署名スル意思ナカリシ者ニ手形上ノ責ヲ負ハシメサルハ當然トシ必スシモ例外ニ非ス彼ハ手形ニ署名セサル者ナレハナリ手形ニ署名シナカラ手形上ノ責ヲ負ハサルハ例外ナリ左ノ如シ

一 無能力 署名者ハ無能力ヲ對抗シテ手形ヨリ生シタル債務ヲ取消スヨリ得無能力者ヲ保護スル爲メノ規定ナリ然レトモ之カ爲メニ他ノ權利義務ニ影響ヲ及ボスヲ欲セストシ無能力者カ手形ヨリ生シタル債務ヲ取消シタルトキト雖モ他ノ手形上ノ權利義務ニ影響ヲ及ボサストセリ(四三八)之ヲ法文ノ主意トス唯其起草方法トシテ無能力者カ手形債務ヲ取消シ得ルコト取消スモ他ノ權利義務ニ影響ヲ及ボササルコトヲ一文ニ書キ流シタルヲ以テ時トシテハ本條ハ取消ノ效果ヲ規定シタルニ止マリ無能力者カ手形債務ヲ取消シ得ルカ否カノ問題ハ民法ニテ定マルトノ解釋ヲ生スルハ遺憾ナリ署名者ハ詐欺強迫ヲ對抗シテ無責任ヲ主張スルコトヲ得ヌ或學者ハ民法ニ詐欺強迫ニ因ル意思表示ハ之ヲ取消ヌコトヲ得トセル規定ヲ手形ニモ適用シ

手形ノ署名者モ詐欺強迫ヲ理由トシテ署名ヲ取消ヌコトヲ得ト云フモ然ラヌ手形法ナル特別法ニハ手形ニ署名シタル者ハ其手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フトノ特別規定ヲ設ケ民法ノ原則如何ニ拘ハラヌ總テノ署名者ニ責任ヲ負ハシメタリ故ニ詐欺強迫ニ因リテ署名シタル者ヲシテモ其實ヲ負ハシメサルヘカラス唯無能力者ニノミハ同シク手形法ナル特別法ニ特別ノ規定ヲ設ケテ債務ノ取消ヲ許シタルナリ

二 手形法ニ規定セル事由 署名者ハ時效裏書禁止又ハ免責ノ記載呈示期間ノ經過等ヲ對抗シテ其實ナキコトヲ主張スルコトヲ得(四四〇)

三 直接抗辯 署名者ハ直接抗辯ヲ對抗スルコトヲ得直接抗辯ハ又對人抗辯若クハ人的抗辯ト稱ス手形ノ性質手形上ノ記載若クハ手形法令ノ規定ヨリ當然生スル抗辯ニ非スシテ請求者被請求者間ノ特別關係ヨリ生スルモノナリ相殺免除等ノ如シ手形ニ種々ノ抗辯ヲ許ササルハ手形ノ取得者ヲシテ安シシテ手形ヲ取得セシムル主意ニシテ必スシモ如何ナル場合ニ於テモ手形債務ヲ其儘ニ履行セシムル主意ニ非ス故ニ手形所持人カ手形ノ署名者ニ對



シテ手形金額ノ辨濟ヲ請求シタル際若シ署名者カ手形所持人ニ對シテ或債權ヲ有スルトキハ彼此相殺シ差額ノミヲ支拂ヘハ可ナリ直接抗辯ノ範圍ハ解釋ニ依リテ擴張シ得ラル餘地アリ

手形署名者ノ責任ノ重キコト儼トシテ夫レ斯ノ如シ故ニ手形嚴格ナル格言ヲ生シ上述ノモノヲ實質嚴格ト云フ署名者ヲシテ一言一句手形ノ文言ニ從ヒ責ヲ負ハシメ殆ント解釋ノ餘地ヲ與ヘサルモノナリ此外形式嚴格ト稱シ手形債權ノ行使ヲ正確簡易ナラシメ又訴訟ニ關シ特別ノ方式手續等ヲ設ク

### 手形場所

手形場所トハ手形ニ關スル行爲ヲ爲スヘキ場所ナリ  
手形ニ關スル行爲トハ手形上ノ權利ノ行使又ハ保全ニ付利害關係人ニ對シテ爲スヘキ行爲ナリ(四四二)手形ノ引受又ハ支拂ヲ求ムル爲メニスル呈示擔保又ハ償還ノ請求拒絕證書ノ作成等ナリ其行爲ノ如何ニ依リ何人ニ對シテ爲スヘキカヲ異ニシ支拂ノ請求ハ支拂人ニ對シテ爲スヘク償還ノ請求ハ前者ニ對シテ爲スヘシ之ヲ爲スヘキ場所ヲ利害關係人ノ營業所トス手形ニ關スル行爲ハ

商行爲ニシテ商行爲ハ商業ノ本據タル營業所ニ於テ爲スヲ至當トスレハナリ然レトモ商人モ特ニ營業所ヲ作ラサルコトアリ非商人ニハ營業所ナキヲ通常トスルヲ以テ其際ニハ住所又ハ居所ニ於テ之ヲ爲サシム  
之ヲ一應ノ規定トスルモ必スシモ手形行爲ノ性質上之ヲ要スルニ非サルヲ以テ其利害關係人ノ承諾アルトキハ他ノ場所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ妨ケス例ハ支拂ノ請求ハ支拂人ノ營業所ニ於テスヘキヲ支拂人ハ居所ニ於テ請求セラレテ支拂フモ可ナルカ如シ

茲ニ問題トスル所ハ支拂人カ其居所ニ於テ支拂ヲ請求セラロトニ同意シ而シテ無資力ナルカ故ニ支拂ハスト云フ場合ニ手形ノ所持人カ前者ニ償還請求ヲ爲スニ際シ適法ノ支拂請求ヲ爲シタリト主張シ得ルヤ否ヤニ在リ商法ニ利害關係人ニ對シテ爲スヘキ行爲ハ其營業所ニ於テスルヲ要ス但シ其者ノ承諾アルトキハ他ノ場所ニ於テ爲スコトヲ妨ケスト云ヘル利害關係人ハ本例ニ於テ支拂人ヲ指スカ又ハ前者ヲ指スカ支拂拒絕ノ結果トシテ償還ノ請求ヲ受クル者ハ前者ナルヲ以テ法定外ノ場所ニ於テ支拂ヲ請求スルニハ其義務者ノ承



諾ヲ要スヘキ理ナレトモ商法ノ解釋トシテハ支拂人ノ承諾ヲ得レハ可ナルナリ此ノ如キ規定ハ不可ナルモ解釋トシテハ已ムヲ得サルヘシ支拂引受償還等ノ請求ニ關シテハ各節ニ規定スル所アルモ請求ノ場所ハ殆ソト總則ノ定ムル所ニ一任シ或場合ニ之カ補則ヲ爲スニ止マル

手形ニ關スル行爲ヲ爲サントスルモ利害關係人ノ營業所住所及ヒ居所カ知レサルトキハ其行爲ヲ實行セシテ可ナリ爲ササルニ非ス能ハサルナリ商法ハ拒絕證書ニ關シテハ此問題ヲ明決シ他ノ行爲ニ關シテ規定スル所ナキモ法人ニ不能ヲ強キストノ格言ニ基ツキ知レサル場合ニハ其行爲ヲ實行セサルモ可ト解ス例ハ支拂人ニ現實ノ支拂請求ヲ爲サスシテ前者ニ償還ヲ請求シ得セシムル如シ而シテ手形權利者カ適當ノ場所ヲ知ラサルヲ眞似シテ手續ヲ省略スル惡弊ナカラシムル爲メ相當ノ盡力ヲ爲スモ之ヲ知リ得サリシコトヲ證明セシム英法ハ之ヲ定メ其規定ノ主意ハ何國ニテモ同一タルヘキナリ

拒絕證書ノ作成ニ關シテハ此點ヲ明カニ規定シ證書ヲ作ルヘキ公證人又ハ執達吏ヲシテ其地ノ官署又ハ公署ニ問合ヲ爲サシメ問合ハスルモ知レサルトキ

ハ其役場又ハ官署若クハ公署ニ於テ之ヲ作ルコトヲ得セシメタリ證書ニ關シテハ此ノ如ク限定セルニ一般ノ行爲ニ關シテハ何等ノ定ヲモ爲ササルヲ以テ場所ノ知レサル場合ニハ當事者カ相當ノ盡力ヲ爲シテ搜索シ而モ索知スルコト能ハサルトキハ相當ノ場所ニ於テ其行爲ヲ爲セハ足ルト解スルナリ

### 手形時効

手形債權ノ時効ハ一般ノ商事債權ノ時効ヨリ短期ナリ是レ手形債務ハ嚴格ナルカ故ニ債務者ヲシテ成ルヘク速カニ之ヲ免カルヲ得セシムル爲メト手形關係ハ成ルヘク速カニ消滅セシムルヲ一般經濟ニ利トスルニ由ル

手形時効ハ分レテ長期ノモノ及ヒ短期ノモノト爲ル小切手ノ前者ニ對スルモノ爲替手形ノ參加引受人ニ對スルモノ等ハ極メテ短期ニシテ其或モノハ時効ト稱シ得サル期間經過ノ消滅方法ナリ

通常ノ時効ハ左ノ如シ(四四三)

#### 一 三年ノ時効

手形ノ主債務者ニ對スル債權ハ三年ノ時効ニ因リテ消滅ス茲ニ手形ノ主債



務者ト稱スルハ爲替手形ノ引受人及ヒ約束手形ノ振出人ナリ此二人ハ手形ノ所持人ニ對シテ無條件ニ手形金額ヲ支拂フヘキ義務ヲ負ヒ決シテ他ノ者カ支拂ハサル場合ニ支拂フニ非ス隨テ其義務ヲ覺悟スル度強キヲ以テ三年ノ時効トシタリ時効ノ起算點ハ滿期日トシ期間ノ計算中斷停止等ハ民法ノ規定ニ依ル

何人ノ有スル債權タリトモ彼等ニ對スルモノハ此時効ノ適用ヲ受クルナリ最後ニ手形ヲ讓受ケテ所持人ト爲レル者ハ最モ明白トシ此所持人ヨリ償還請求ヲ受ケテ償還シ引受人ニ對シテ債權ヲ有スルニ至リシ者モ此適用ヲ受ク(四七〇、四七一、五二九)

二 一年ノ時効

手形ノ償還義務者ニ對スル債權ハ一年ノ時効ニ因リテ消滅ス償還義務者ハ從タル義務者ナリ主債務者カ支拂ハサル場合ニ償還スヘキ者ナルヲ以テ債務ヲ忘ルコトモ早ク又此ノ如キ義務ヲ永ク存在セシムルハ一般經濟ニ害アリト認メテ一年トシタリ

償還義務者ハ手形法ニ所謂前者ニシテ手形ノ振出人及ヒ裏書人ナリ償還請求ヲ二分シテ手形所持人ヨリ前者ニ對スル場合ト裏書人ヨリ自己ノ前者ニ對スル場合トス所持人ハ前者ニ對シテ償還請求ヲ爲スコトヲ得ヘク此請求ニ應シテ償還ヲ爲シタル者ハ更ニ自己ノ前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スヲ以テ此區別ヲ爲スナリ然レトモ幸ニ時効ノ期間ハ二者同一ナルヲ以テ此區別ノ必要ハ其起算點ニ關スルノミト爲レリ

所持人ノ其前者ニ對スル時効ハ支拂拒絕證書作成ノ日ヨリ起算シ裏書人ノ其前者ニ對スル時効ハ自己カ後者ニ償還シタル日ヨリ起算ス支拂拒絕證書ノ作成カ免除セラレタル場合ニハ之ヲ作成スヘカリシ末日ヨリ起算ス法文ノ不備ナルヨリ誤テ拒絕證書ヲ作成セサル場合ニハ償還請求權ハ普通時効ノ適用ヲ受クト解スヘカラス

手形ノ所持人カ支拂拒絕證書作成ノ日ヨリ一年內ニ前者ニ對シ償還請求ヲ爲シテ償還ヲ得其前者カ其日ヨリ一年內ニ更ニ自己ノ前者ニ償還ヲ請求シ此ノ如クシテ數人ヲ經テ或者ハ滿期日ヨリ三年ヲ經タル後ニ償還ヲ請求スルモ前



者ハ之ニ應シテ償還セサルヘカラス而シテ自己ハ最早引受人ニ請求スルヲ得サルナリ或學者ハ此ノ如ク爲ラシムルハ裏書人ニ對シテ酷ナリトシ裏書人ハ三年ニ垂ントスル場合ニ償還請求ヲ受ケタルトキハ其請求ヲ拒ムコトヲ得ト云フモ然ラス法律ニハ裏書人カ後者ニ償還ヲ爲シタルトキハ前者ニ對シテ更ニ償還ヲ請求スルコトヲ得トシ其償還請求權ハ償還日ヨリ一年間存在ストスルヲ以テ其規定ニ從フヘシ論者ハ裏書人カ償還スルモ引受人ニ對シテ請求シ得サルカ故ニ酷ナリト云ヘトモ其理由ニテ其前者ノ義務ヲ消滅セシムルトキハ此對抗ヲ受クル者ニ對シテ酷ナリ何人ニカ酷ナラサルヲ得ストスレハ法文通リニ解スルヲ最モ適當トス此解釋ニ依リテ最後ノ償還義務者ト爲ル者ハ振出人ナリ

約束手形ノ振出人モ最後ノ償還義務者ナリ彼ハ手形法ニ所謂前者ナルカ否カハ議論スヘキモ或場合ニハ振出人ヲ前者ト解スルヲ得ヘク文理解釋トシテモ前者ト解スル餘地アリ(五二七五二八假ニ前者ト解シ得ストスルモ少クトモ振出ニ關シテ爲替手形ノ振出人ト同視スヘキ點アリ又償還請求ニ關シテハ約束

手形ノ振出人ノ責任ヲ爲替手形ノ振出人ノ責任ヨリ輕クスルハ不當ナルヲ以テ時効ノ適用ニ關シテハ彼ヲ最後ノ償還義務者トシ後者ヨリ償還後一年內ニ請求セラルトキハ常ニ償還ヲ爲スヘキ者トスヘシ

利益償還

手形ヨリ生シタル債權カ時効又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタル場合ニハ所持人ハ振出人又ハ引受人ニ對シ其受ケタル利益ノ限度ニ於テ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得(四四四)手形所持人ヲ憫ムヨリ出テタリ根本ノ主意ニ於テ民法ニ不當利得ノ返還ヲ規定シタルト同一ナルモ其適用ノ範圍及ヒ法律上ノ理由ヲ異ニスルヲ以テ手形法ニ特生シタル法理ト見ルヘシ

利益償還請求權ノ權利者ハ手形ノ所持人ニシテ義務者ハ振出人又ハ引受人ナリ手形ノ所持人カ手形金額ノ支拂又ハ償還ヲ請求スル權利ヲ有シタルニ偶ニ手形債權カ時効ニ罹リタルカ爲メニ何モノヲモ請求シ得サルニ至ルトスルハ所持人ニ對シテ酷ナリ而シテ他ノ一方ニ在リテ手形ノ振出人又ハ引受人ヲシテ其手形ニ因リテ利益ヲ得テ其儘ニ之ヲ保有セシムルハ兩者間ニ權衡ヲ得スト



シ振出人ヲシテ其受ケタル利益ヲ所持人ニ償還セシムルナリ  
 償還ヲ請求シ得ル額ハ振出人又ハ引受人ノ受ケタル利益ナリ積極的ニ受ケタ  
 ル利益ニシテ手形債權ノ消滅ニ因リテ請求ヲ免カレタル消極的ノモノヲ指ス  
 ニ非ス故ニ振出人カ千圓ノ手形ヲ振出シタル對價トシテ百圓ヲ得ルトキハ百  
 圓ヲ償還スレハ足ル又若シ爲替資金トシテ此百圓ヲ引受人ニ與ヘタルトキハ  
 最早何モノヲ償還セスシテ可ナリ此際ニハ所持人ハ引受人ニ對シテ請求スヘ  
 キノミ而シテ振出人又ハ引受人ノ何レカ利益ヲ受ケタルカ其額如何等ハ所持  
 人ヨリ證明セサルヘカラス

手形ノ所持人ハ裏書人ニ對シテ利益ノ償還ヲ請求スルコトヲ得ス又遡及償還  
 ヲ爲シタル裏書人ハ振出人又ハ引受人ニ對シテ此利益償還ノ請求權ヲ有セス  
 即チ裏書人ニ關シテハ利益償還ノ規定ノ適用ナキナリ此結論ニハ何人モ異論  
 ナキモ其理由トスル所ニ於テ余ノ說ハ多數學者ト異ナレリ或學者ハ裏書人カ  
 手形ヲ得タルハ對價ヲ出シテ得タルモノナルヲ以テ讓渡ノ際ニ對價ヲ得ルモ  
 決シテ特別ノ利益ヲ得タルニアラス又之ヲ利益トスルモ此利益ハ商人カ商品

ヲ廉價ニ買ヒ高價ニ賣リテ得ル利益ニ等シク決シテ返還スヘキ性質ニ非ス而  
 シテ自己カ所持人ヨリ利益償還ノ請求ヲ受ケサレハ自己モ他ノ者ニ對シテ償  
 還ヲ請求シ得ル理ナシト云ヒ議論ノ根底ヲ裏書人ノ有價取得ニ歸セリ然レト  
 モ裏書人カ手形ヲ取得スルニ對價ヲ出ササルコトアリ之ニ反シテ振出人カ手  
 形ヲ振出スニ當リテ出捐ヲ爲スコトアリ故ニ此點ヲ區別ノ標準ト爲シ難シ又  
 或學者ハ裏書人ノ手形ヲ得ルハ賣買又ハ贈與ナル法律行爲ニ因ルナリ故ニ之  
 ヲリ受クル利益ヲ償還スルヲ要セスト云ヘリ然レトモ法律行爲ニ因リテ利益  
 ヲ得ル點ハ振出人ニ於テモ同一ナリ振出人ハ振出ナル法律行爲ニ因リテ對價  
 ヲ得タルモノナルヲ以テ之ヲモ標準トスヘカラス余ハ寧ロ便宜論ニテ解シ裏  
 書人ニ利益償還ノ規定ヲ適用スルトキハ多クノ煩雜ヲ生スルヲ以テ之ヲ適用  
 セスト云フナリ又裏書人ナル中間者ト振出人引受人又ハ所持人ノ如キ極者ト  
 ノ間ニハ種々ノ點ニ於テ區別スヘキ理由アルヲ以テ此場合ニ區別ヲ爲スモ各  
 ムヘキニ非スト辨ス

振出人ノ償還スヘキ利益ハ振出ナル適法ノ原因ニ因リテ受ケタルモノナリ引



受人ノ償還スヘキ利益ハ引受ナル商行為ノ對價トシテ受ケタルモノナリ何レモ不當ニ利得シタルニ非サルヲ以テ不當ノ利得ノ返還ト稱セスシテ利得返還ト云フヘク又民法ノ不當利得ノ返還トノ別ヲ一層明カニスル爲メ手形法ニ規定セルモノヲ利益償還ト稱スルヲ最モ適當トス

余ハ利益償還制度ノ全廢ヲ希望ス利益償還ノ請求權ハ手形債權カ時効又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタル場合ニ生スルモノナリ即チ所持人カ約束手形ノ振出人又ハ爲替手形ノ引受人ニ對シテ三年間請求セサルカ爲替手形ノ振出人ニ對シテ一年間請求セサル場合ニ生スルナリ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅スト云フハ所持人カ前者ニ對シテ償還請求權ヲ行使セントスル際一定ノ期間ニ拒絕證書ヲ作成セシメサリシカ一覽拂ノ手形ニ在リテ呈示期間内ニ支拂人ニ對シテ手形ヲ呈示セサル場合ニ手形債權ノ消滅スルヲ云フナリ何時ニテモ請求シ得ルニ長期間請求セス又法律ニ手續ヲ爲スヘキコトヲ命セルニ之ヲ爲ササル者ニハ不利益ヲ蒙ラシムルモ差支ナシ稱ニハ憚ムヘキ者アランモ極少數者ノ爲メニ一般ノ規定ヲ設ケテ手形ニ關スル爭ヲ多カラシムルハ不可ナリ故ニ民

法ノ不當利得ノ返還請求ノ規定ニテ満足シ手形法ノ利益償還ノ規定ヲ廢止スヘシ

利益償還請求權ハ手形債權カ時効又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタル場合ニノミ存シ其他ノ事由ニ因リテ消滅シタル場合ニ存セス手形債權カ支拂更改免除等ニ因リテ消滅シタル場合ニ之ヲ生セサルハ當然トシ手形ノ滅失毀損盜失等ニ因リテ消滅シタル場合ニモ生セス唯法文ニハ廣ク債權カ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタル場合ト云ヘルヲ以テ紛失盜失等ノ場合ニ除權判決ノ手續ヲ爲スヘキニ之ヲ爲ササリシニ由リ債權カ消滅シタル場合ハ或ハ解釋ニテ此中ニ入ランカナレトモ其以外ノ場合ハ決シテ之ニ入ルコトナシ  
利益償還請求權ハ民法ノ時効ニ因リテ消滅ス手形法ニ於テ引受人ニ對スル債權ハ三年ノ時効ニ因リテ消滅ストセル引受人ニ對スル債權ヲ廣ク解シ手形上ノ債權タルト否トヲ問ハストスレハ此請求權ノ時効モ三年ト爲ルモ全般ノ規定ヨリシテ三年ノ時効ハ手形債權ニノミ相當スルモノト解ス利益償還請求權ハ手形ヨリ生シタル債權ニ非スシテ手形債權カ消滅シタル後ニ生スルモノナ



第三八號	
印紙 爲替手形	
一金九千八百圓也	
右金額福田文三郎殿又、同人指圖人、 此手形引換ニ御仕拂可被成候也	
支拂地 東京市	
支拂期日 明治四拾四年拾貳月貳拾五日	
大阪市東區淡路町一丁目三番地	
明治四拾四年 拾月貳拾六日 高木貞吉 印	
池上良太郎殿	
受 引	明治四拾四年拾壹月貳日 支拂場所 東京市日本橋區肥前 株式會社第一銀行 東京市日本橋區青物町一番地 池上良太郎 印

第二章 爲替手形

ルヲ以テ手形債權ノ時効ノ規定ヲ此請求權ニ適用スルヲ得ヌ又商法ノ五年ノ時効ハ商行爲ニ因リテ生シタル債權ニノミ適用スルニ此請求權ハ手形債權カ消滅シタル後ニ法律ノ規定ニ因リテ生スルモノナルヲ以テ之ヲ適用スルヲ得ヌ已ムヲ得ヌ一般ノ原則ニ返リテ民法ニ規定スル長期時効ヲ適用スヘキコトト爲ルナリ



<p>表面之金額 正ニ受取候也</p> <p>明治 年 月 日</p>	<p>表面之金額 指圖人ノ御仕拂可被成候也</p> <p>明治 年 月 日</p>	<p>表面之金額 指圖人ノ御仕拂可被成候也</p> <p>明治 年 月 日</p>	<p>表面之金額 指圖人ノ御仕拂可被成候也</p> <p>明治四拾四年拾壹月拾九日</p> <p>井裕 (印)</p> <p>東京市京橋區南竈町一番地</p> <p>山幸太郎 殿又ハ同人</p>	<p>表面之金額 指圖人ノ御仕拂可被成候也</p> <p>明治四拾四年拾壹月七日</p> <p>井裕 (印)</p> <p>東京市日本橋區坂本町十八番地</p> <p>福田文三郎 殿又ハ同人</p>
-------------------------------------	-------------------------------------------	-------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

爲替手形ハ一定ノ地ニ於テ一定ノ金額ヲ單純ニ支拂フコトノ委託ヲ記載シ署名者ヲシテ其文言ニ從ヒテ責任ヲ負ハシムル形式證券ナリ

爲替手形ハ手形ノ標本視セラルルモノニシテ外國ニ於テハ單ニ手形ト云フトキハ爲替手形ヲ指シ約束手形ヲ示スニハ殊更ニ約束手形ト稱スル程ナリ爲替手形ニ在リテハ振出人ハ自己ノ信用ヲ利用シテ他人ニ支拂ヲ委託シ受取人等ハ振出人及ヒ支拂人ノ兩者ヲ信用シテ其手形ヲ流通シ約束手形ニ於ケル如ク振出人ノミヲ信用スルニ非ス故ニ商業ノ發達シタル英米獨佛等ニ盛ニ流通スルモノハ爲替手形ナリ然ルニ不幸ニシテ我國ハ未タ約束手形ノ時代ニ屬シ現今盛ニ流通シ且法律上ノ爭ト爲ルモノハ約束手形ナルヲ以テ或ハ先ツ約束手形ヲ説クヘキカ如キモ我國ハ文明國ト等シク先ツ爲替手形ニ細密ノ規定ヲ設ケ之ヲ約束手形及ヒ小切手ニ準用スルヲ以テ商法ノ説明トシテハ爲替手形ヲ先キニスル必要アリ

### 第一節 振出

第四編 手形 第二章 爲替手形 第一節 振出







### 手形ノ要件

通常手形ノ要件ト稱スルモノハ手形上ノ形式的要件ニシテ手形ヲ作ル爲メ紙面ニ記載スルコトヲ要スル事項ナリ廣意ニ於テハ署名ヲモ其中ニ含ミ而モ署名ハ最重ノモノナルモ之ニハ必ス手書又ハ記名捺印ヲ要シ又他ノ關係ニ於テモ署名ハ特ニ注意スヘキモノトシ之ヲ別ニ置クコト多シ手形ニハ或事項ヲ記載シ振出人之ニ署名スヘシト云フカ如シ

手形ノ要件トシテ商法ニ列舉スルモノ左ノ如シ其中ノ或モノハ或手形ニ必要ナラサルハ自ラ明カナリ(四四五)

#### 一 爲替手形タルコトヲ示スヘキ文字

所謂手形文句Handwritten sentenceニシテ之ニ依リテ其證券ノ手形ナルコトヲ明示ス獨逸ニテハ手形文句トセルヲ我國ニテハ爲替手形文句トシテ一層明確ニシタリ時トシテ手形ノ手形タルコトハ他ノ記載事項ヨリ知り得ルヲ以テ殊更ニ手形文句ヲ入レサルモ可ナリ手形文句ハ手形ニ嚴酷ナル制裁ヲ附シタル時代ノ遺物ニ過キスト稱シテ其削除ヲ主張スル者アリ或國ノ法律ニハ之ヲ要件トセサ

モ明白ヲ得ル爲メ要件トスルヲ可トス

爲替手形タルコトヲ示スヘキ文字ノ中最モ明カナルハ爲替手形ナル文字ナリ其他爲換手形トスルモ又ハ「カハセ」トスルモ可ナリ如何ナル文字ハ之ニ當ルカハ人ニ依リテ認定ヲ異ニス日本字ヲ以テスルヲ通常トスルモ外國字タリトモ可ナリ獨逸ニテハ現行文字ニ限ルトセルモ我國ニハ此ノ如キ制限ヲ附セサルヲ以テ苟クモ手形タルコトヲ示スニ足ルヘキ文字ナレハ古文字ニテモ可ナラン

#### 二 一定ノ金額

手形債權ノ目的ハ金銀ナリ手形ニ記載スヘキモノハ一定ノ金額ナリ一定トハ支拂人ノ給付スヘキ金額ノ不動ヲ意味ス利率ノ定マラサルモノヲ合算シタル額ヲ手形金額トスルトキハ一定ノ手形金額ヲ爲サス利率及ヒ利息ノ生スル日ヲ定ムルモノニ在リテハ全然有效トスル者ト計算ヲ要スルカ故ニ一定シ得ヘキ金額タルニ止マルトシテ無効トスル者ト元本トシテ記載セル金額ハ一定セルヲ以テ利率ハ記載セサルニ等シトシテ元本ノミヲ手形金額ト



スヘシト云フ者ヲ生シ最後ノモノハ「ツウエツクメーシツヒ」ナリ其當否ハ商法ニ稱スル一定金額ノ解釋ニ依リテ定マル割引割増ノ記載ヲ爲シタル場合ニモ議論ハ同一ナリ外國貨幣ヲ以テ記載スルモノニモ類似ノ議論ヲ爲シ得ルモ外國貨幣ハ我國ノ認ムル金銀價格ノ標準ナルヲ以テ余ハ此場合ハ一定ノ金額ヲ記載シタルモノト認定セン

金額ヲ記スルニ當リ反復叮嚀ニ記載スルコトアリ其場合ニ記載ノ額カ相互ニ異ナルトキハ手形ノ主タル部分ニ記載シタル金額ヲ手形金額トス(四四六)如何ナル部分ヲ以テ主タル部分ト見ルヘキカハ手形ノ形狀文字ノ種類等ニヨリテ異ナリテ多クハ慣習ニ依リテ決ス獨逸ニ於テハ數字ト文字ノ間ニ在リテハ文字ヲ探リ何レモ數字ナルカ何レモ文字ナル場合ニハ金額ノ小ナルモノヲ探ルコトトセリ

### 三 支拂人ノ氏名又ハ商號

支拂人トハ振出人ニ依リテ支拂ノ委託ヲ記載セラレタル者ナリ豫メ此委託ヲ承諾スル場合モアレハ委託ヲ申込マレタルノミニテ未タ承諾セサル場合

モアリ又手形ニ支拂人ト記載セラレタルコトスラ知ラサルコトアラン然レトモ手形ノ支拂人タルニハ承諾ノ有無記載ノ知不知等ヲ問ハス隨テ手形ノ支拂人ハ手形債權ト何等實質上ノ關係ヲ有セサルコトアリ

支拂人ノ氏名ヲ記載スルトキハ手形ノ形式ヲ爲スニ足り其記名者カ振出人ノ思惟シタル人ト同一人タラサルモ可ナリ又實在セサルモ可ナリ法律ハ氏名ヲ記載スヘシト云フニ止マリ實在ノ實人ヲ表示セヨト云ハサレハナリ外國人ヲ手形ノ支拂人ト爲スモ可ナルヲ以テ外國人ノ氏名ヲ記載スルモ手形ト爲ルヘシ氏名ノ代ハリニ商號ヲ記載スルモ可ナリ

氏名又ハ商號ヲ記載スルハ可ナレトモ其以外ノ記載ハ不可ナリ藝名雅號通名等ヲ記載スルモ手形ノ形式ヲ爲サス之ヲ理論上明白ナル解釋トシ實際ニ在リテハ或記載ハ氏名ナルカ藝名ナルカ將又雅號ナルカノ疑ヲ生スルコト多カラン手形ニ氏名又ハ商號ノ何レヲ記載スルモ可ナリト云フハ專ラ自然人ニ關シテ云ヘルナリ商號ノ外ニ名稱ヲ有セサル會社ニハ必ス商號ヲ記載スヘク又民事法人ニシテ氏名モ商號モナキ者ハ氏名又ハ商號ト同視スヘキ



法人ノ名稱ヲ記載スヘシ民事法人モ手形ノ支拂人ト爲ルコトヲ得ルナリ  
 四 受取人ノ氏名又ハ商號

受取人モ自己ノ承諾ノ有無若クハ權利ノ有無ニ拘ハラズ手形ニ記載セラレ  
 コトアリ然レトモ手形カ成立スルニハ手形カ受取人ニ交付セラレヲ要スル  
 ヲ以テ必ス受取人タルコトヲ承諾スルコトト爲ルヘシ  
 受取人ハ手形債權ノ最初ノ權利者ナリ而シテ後ニ自ラ之ヲ裏書讓渡シ爾後  
 手形ハ轉帳スルヲ以テ受取人ハ最初ノ裏書人ト爲ルナリ隨テ裏書ノ連續ア  
 ルニハ受取人ハ第一裏書人トシテ表ハレサルヘカラス

受取人ノ表示ハ氏名又ハ商號ヲ以テスルニ限り藝名雅號等ヲ許ササルハ支  
 拂人ニ關シテ述ヘタル所ニ等シク氏名又ハ商號ナキ民事法人ハ其名稱ヲ記  
 載シテ受取人ト爲ラシムルコトモ亦然リ形式ノ點ニ在リテハ受取人ノ氏名  
 ハ實在ノ實人タルヲ要セサルモ記名者ヲ受取人タル手形上ノ權利者トスル  
 ニハ記名者ト實人トハ同一ナラサルヘカラス或氏名ヲ記載シテ受取人トシ  
 其以外ノ者ニ手形ヲ交付スルモ手形ハ成立セヌ

受取人ノ氏名ハ手形ノ形式要件ナリトシ從テ手形ハ記名證券ナルヲ原則ト  
 ス記名證券ナルトキハ記名者ハ手形ノ權利者ト爲リ他人ヲ權利者トスルニ  
 ハ裏書ヲ爲スコトヲ要スルハ明カナリ之ヲ原則トシ一ノ例外及ヒ一ノ變例  
 アリ

例外トハ金額三十圓以上ノ手形ニ限り無記名式ト爲シ得ルコトナリ(四四九)  
 即チ受取人ヲ記載スルコトヲ要セサル手形ヲ認ムルコトナリ之ヲ認メテ手  
 形ノ發行及ヒ流通ヲ容易ナラシム或國ニテハ手形ニ無記名ノモノヲ許スト  
 キハ濫發ノ弊ヲ生ストシテ之ヲ禁シ又或學者ハ無記名ノモノヲ總テノ手形  
 ニ認ムヘシ金額ニ制限ヲ設クルハ不可ナリト論スルモ我商法ハ其中ヲ採リ  
 金額ノ小ナルモノニ之ヲ許ストキハ弊害ヲ生スルモ三十圓以上ノモノニハ  
 然ラストシテ此ノ如クシタリ

變例トハ金額三十圓以上ノ手形ニハ振出人ヲシテ受取人ノ氏名ト共ニ其手  
 形ノ所持人カ支拂ヲ受クルコトヲ得ヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得セシメ此記  
 名持參人手形ニ無記名手形ト同一ノ效力ヲ有セシムルニ在リ(四四九ノ二、四



四九ノ三形式ニ於テ記名ナルモ實質ニ於テ持參人拂ナリ故ニ實際ニ於テハ從來既ニ無記名ノモノト同一ニ取扱ヒ來リ今ヤ改正規定ノ明文ニテ認メラレタルナリ

五 單純ナル支拂ノ委託

支拂委託ノ記載ニ依リテ爲替手形ヲ約束手形ト區別ス支拂委託文句及ヒ支拂約束文句ハ手形ヲ明別スル主要ノ文句ナリ支拂ノ委託ヲ記載スルカ故ニ爲替手形タルコトヲ示スヘキ文字ヲ記載スルニ至ルナリ  
或國ノ法律ニハ支拂委託文句ヲ手形ノ要件中ニ明示セサルモ決シテ不必要トスル主意ニ非スシテ言ヲ俟タスト認メタルナリ委託文句ナクシテ金額年月日人名等ヲ混記スルモ何等ノ意義ヲ爲サス意義ヲ爲スニハ必ス委託文句ヲ以テ之ヲ聯結セサルヘカラスト認メタルニ在リ然レトモ多少ノ疑ヲ生ストセハ之ヲ明文ニ掲クルニ如カス

支拂ノ委託ハ如何ナル方法ニテ記載スルモ可ナリ振出人ト支拂人ノ人的關係ヨリシテ懇願ノ文字ヲ用ユルコトアレハ命令文ヲ用フルコトアルヘシ英

注ニ於テハ爲替手形ハ支拂ノ命令ナリトシ懇願文句ヲ用ユルトキハ爲替手形ヲ成サストスレトモ近來命令ニ可重ノ文ヲ用ユルモ可トスルニ至レリ  
支拂ノ委託ハ單純ナルヲ要ス單純トハ條件又ハ制限ノ附著セサルコトナリ條件附トハ例ハ船舶カ到著スルトキハ一定ノ金額ヲ支拂ハレタシトスルモノニシテ制限附トハ本年差入レタル預金中ヨリ支拂ハレタシトスルカ如シ獨逸ノ手形ニ慣用スル<sup>バイネンシュート</sup>余ノ資産中ヨリト云ヘル文句ハ制限的ノモノト解セラルトキハ其手形ハ無効ナルモ獨人ハ凡テノ手形ハ振出人ノ資産信用等ノ中ヨリ支拂フヘク支拂人ハ振出人ノ資産ヲ保有セサルカ振出人ニ信用ヲ與ヘサルトキハ決シテ手形ヲ支拂フコト無カルヘシトシ此文句ヲ無キニ等シト見テ手形ヲ有效ト解セリ寛大ナル解釋ナリ嚴格ニ解スルトキハ制限ヲ附スルモノトシテ其手形ヲ無効トセサルヘカラス

六 振出ノ年月日

振出ノ年月日トハ手形ヲ振出シタル年月日ナリ或者ハ振出ノ日トハ振出人ノ意思表示ニ過キス振出人ハ手形ヲ作成セント欲シテ或日附ヲ證券ニ記載



スルモノニシテ毫モ事實トノ關係如何ヲ問ハスト云ヘリ此說ニ從フトキハ十日ニ振出シナカラ九日ト記載スルモ可ナルハ勿論明治四十四年ニ振出シナカラ明治十年ト記載スルモ可ナルヘシ果シテ此ノ如クナルトキハ振出日附ハ手形ノ要件トスルヲ要セサルヘク之ニ依リテ毫モ振出人ノ振出當時ノ能力資産ノ狀況等ヲ知ルヲ得サルヘシ故ニ或學者ハ之ヲ理由トシテ此要件ノ廢止ヲ主張セリ又現ニ之ヲ要件トセサル國モアルナリ或學者ハ振出ノ年月日ハ意思表示ニ非スシテ事實ノ記載ナリ少クモ事實ニ基カサルヘカラス然レトモ必スシモ正確ニ之ニ恰合スルヲ要セスト云ヘリ

余ハ此等ノ說ニ反對シ振出ノ年月日ヲ振出シタル年月日ト解シ法律ハ事實ヲ有ノ儘ニ記載スルヲ要求シ虛偽ノ日ヲ記載スヘカラスト云フモノト見ルナリ法律ニ振出日ヲ記載スヘシト云フ以上ハ眞實ノ日ト解スヘキハ當然トシ虛偽ノ日ニテモ可ト解スルニハ十分ノ根據ナカルヘカラス然ルニ其根據ナキヲ以テ眞ノ振出日ヲ記載スヘキモノト云フナリ此說ヲ採ルトキハ振出ニ依リテ振出人ノ能力資産ノ狀況支拂人トノ關係等ヲ知り得ラレ記載ノ效

力頗ル増大ス

振出ノ日附ハ年月日ヲ以テ示ヌヘシ月日ヲ記載シタルノミニテハ足ラヌ月日ノミナルトキハ本年ノ月日ト推定シ得ンカナレトモ商法ハ年ノ記載ナキモノヲ振出ノ年月日トセサルナリ然レトモ一定ノ方式ニテ連續記載スルヲ要セサルヲ以テ振出人ノ頭上ニハ月日ヲ示スノミニテモ他ニ年號ヲ記載シ彼此連結スルコトヲ得ルトキハ振出ノ年月日ト解シテ可ナリ

七 一定ノ満期日

満期日ハ支拂ヲ請求シ得ル日ノ初ナリ支拂ニ關シテ重要ナル日ナリ其外時効ノ起算點ト爲リ拒絕證書作成期間引受人ノ爲ス手形金額供託繼發生ノ時期等ヲ定ムル標準ト爲ル

満期日ノ一定スヘキハ當然ナレトモ満期日ニ關シテ一定ト云ヘルハ金額ニ關シテ一定ト云ヘルヨリモ散漫ニ用キラレ一定ニ非スシテ一定シ得ヘキモノ及ヒ殆ント一定ト云ヒ得サルモノヲモ其中ニ入レタリ隨テ満期日ニ冠スルニ一定ノ文字ヲ以テスルハ不可ナリ又支拂地振出地等ニ一定ノ文字ヲ冠



セストセハ満期日及ヒ金額ニモ之ヲ冠セスシテ可ナリ  
法定ノ満期日ハ左ノ四種ナリ當事者ノ意思ヲ以テ此以外ノモノヲ定ムルコ  
トヲ得ス

- (一) 確定セル日 之ヲ記載シタル手形ヲ確定日附ノ手形ト云フ最モ明カ  
ナルハ一個ノ曆數日ヲ記載スルコトナリ例ハ明治四十四年十一月三日  
トスルカ如シ三日トスル代ハリニ天長節ノ日トスルトキハ如何曰ク確  
定ノ日ト見ルコトヲ得ルカ否カニ依リテ決セラル
- (二) 日附後確定セル期間ヲ經過シタル日 之ヲ記載シタル手形ヲ日附後  
定期拂手形ト云フ確定期間ヲ與ヘ支拂人ヲシテ資金ヲ準備スルニ便ナ  
ラシム此満期日ハ一定ヨリモ寧ロ計算ニ依リテ一定シ得ルモノナリ唯  
一定ヲ不動ノ意味トスレハ此満期日モ亦明カニ一定ノモノナリ
- (三) 一覽ノ日 之ヲ記載シタル手形ヲ一覽拂ノ手形ト云フ一覽ハ支拂人  
カ手形ノ呈示ヲ受ケテ爲スコトナリ而シテ所持人ハ何時ニテモ手形ヲ  
呈示シテ支拂ヲ請求シ得ルヲ以テ此手形ヲ呈示拂手形又ハ請求拂手形

ト稱ス此日モ嚴格ニ稱スル一定ノ日ニ非ス所持人ハ何日ニ手形ヲ呈示  
シテ支拂ヲ請求スルモ可トシ其請求シタル日ハ満期日ト爲レハナリ然  
レトモ満期日ハ一アリアリテニナシ一タヒ請求スレハ其日ハ満期日ト爲リ  
テ最早不動ト爲ルトノ點ヨリ見ルトキハ亦明カニ一定ノモノナリ  
呈示ニ期限ヲ附セサルトキハ手形ハ永久ニ存在スルヲ以テ所持人ヲシ  
テ日附後一年內ニ手形ヲ呈示セシメ之ヲ法定ノ呈示期間トシ振出人カ  
之ヨリ短キ期間ヲ定メタルトキハ其定ニ從フ

(四) 一覽後確定セル期間ヲ經過シタル日 之ヲ記載シタル手形ヲ一覽後  
定期拂手形ト云フ一覽シタル後ニ或期間ヲ有スルヲ以テ支拂人ハ資金  
ヲ準備スル猶豫ヲ得ルナリ此満期日モ亦嚴格ナル一定ノモノニ非ス  
満期日ハ手形ノ要件ナリ手形法ハ手形ノ要件ヲ列擧セル中ニ満期日ヲ入レ  
タリ然レトモ手形法ノ内容ヲ總合シテ説明スルトキハ満期日ノ記載ハ必ス  
シモ手形成立ノ絕對要件ニ非ス満期日ノ實質ハ存在スレハ可ナルノミ何ト  
ナレハ商法ハ振出人カ手形ニ満期日ヲ記載セサリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ



其手形ノ満期日トストシ何等ノ記載ナキモ満期日アリトシテ手形ヲ成立セシムレハナリ(四五)日附ノ欠缺ヨリ生スル無効ヲ防止スル主意トス

八 支拂地

支拂地ハ手形金額ヲ支拂フヘキ地ナリ同時ニ支拂ヲ請求スヘキ地ト爲リ、拒絶證書ヲ作成スヘキ地ト爲リ又戻手形ヲ振出ヌヘキ地ト爲リ常ニ必要ノモノナリ或學者ハ手形ニ支拂地ヲ要件トセサルモ可ナリ而シテ之ヲ記載セサルトキハ一般法ニ從ヒ何レノ地ニ於テモ支拂ヲ請求シ得セシムヘシ満期日ヲ記載セサル場合ニ一覽拂ノ手形ト看做スニ等シクスヘシト云フモ支拂地ト満期日トハ同一ニ論スルヲ得ヌ支拂地ヲ記載スルハ手形上ノ請求ヲ爲ス者請求ヲ受クル者拒絶證書ヲ作成スル者等凡テノ者ニ利益ナレハ訴訟ノ管轄ヲ定ムルニ關シテモ便利ナリ

支拂地ノ記載ハ支拂地トシテ記載スルヲ本則トシ變則トシテ之ヲ記載セサルモ支拂人ノ氏名又ハ商號ニ地ヲ附記スルトキハ之ヲ支拂地トス即チ附記地ヲ認ムルモノニシテ一ハ當事者ノ意思ヲ推測シ又一ハ成ルヘク無効ノ形

形ヲ生セサラシムル主意ナリ尙ホ法律ハ種々ノ便宜ヲ慮カリ此附記地ヲ支拂人ノ營業所又ハ住所ノ所在地ト看做セリ(四五二、四五二ノ二)

爲替手形ノ支拂地ト云ヘル地ハ約束手形ノ振出地ト云ヘル地ト同一ノ意味ヲ有ヌ然レトモ他ノ法令ニ於テ地ト云ヘルモノト必スシモ同意義ニ非ス廣ク地球ノ表面ノ一部分ヲ意味スルニ非スシテ或範圍ノ地域ヲ稱シ之ヨリ廣キモノタルヲ得ヌ又狹キモノタルヲ得サルナリ大審院ハ手形ニ於ケル地ハ獨立セル最小ノ行政區畫即チ市町村ナリトシ其理由トシテ支拂地ノ何タルカハ事實上ノ問題ニ非スシテ法律上ノ問題ナリ事實ノ調査ヲ要セスシテ知ルヨトヲ得ルモノナラサルヘカラス此性質ニ協フモノハ全國通有ノモノニシテ最小ノモノナルヘク之ニ當ルモノハ市町村ヨリ外ニ無シト云ヘリ此理由ニハ每段毎ニ批評スヘキ點アルモ判決ハ既ニ一定シタルヲ以テ最早評論セサルヘシ

振出人ハ支拂地トシテ如何ナル市町村ヲ記載スルモ可ナリ支拂地ノ記載ハ意思表示ナリ唯振出人ハ或地ノ無キコトヲ知リナカラ之ヲ記載スルトキハ



手形ヲ振出ス意思ナキモノト見ラルコトアラシクモ而モ地ノ形式ヲ有スル  
トキハ之ニ署名シタル者ハ手形ニ署名スル意思ヲ以テシタリト解シ得ル範  
圍内ニ於テ手形上ノ責ヲ負フ

手形ノ支拂地カ振出地ト同一ナルトキハ同地拂ノ手形ト云ヒ異地ナルトキ  
ハ隔地拂ノ手形ト云フ又支拂地カ支拂人ノ住所地ト同一ナルトキハ異ナル  
意味ニ於テ同地拂ノ手形ト稱シ異地ナルトキハ他地拂ノ手形ト稱ス昔ハ手  
形ヲ送金ノ具トシタルコト及ヒ手形ヲ濫用シテ高利貸ヲ爲スヲ禁シタルコ  
トヨリシテ手形ハ必ス隔地拂タルヲ要シタリシモ高利貸ヲ禁スルニハ他ニ  
方法アルヘク且手形ハ信用證券トシテ盛ニ流通スヘキモノナリトシ今ハ之  
ヲ要セサルコトトス又曾テ他地拂手形ノ特色ハ手形ニ支拂擔當者ヲ記載シ  
得ルニ在リシモ今ハ同地拂ノモノニモ之ヲ記載シ得ルニ至リシヲ以テ此區  
別モ殆ト無意味ト爲レリ

振出人ハ自己ヲ支拂人ト定ムルコトヲ得四四七之ヲ自己宛手形ト云フ自ラ  
振出シテ自ラ支拂フヲ以テ其實約束手形ニ類ストシ英法ハ所持人ヲシテ自

己宛手形ヲ爲替手形トスルト約束手形トスルトヲ選擇シ得セシム或學者ハ  
二者ハ殆ント同一ナルヲ以テ寧ロ自己宛爲替手形ヲ廢スヘシト云フモ何レ  
ノ國ニ於テモ之ヲ認ムルハ本支店ノ間ニ手形ヲ振出ス場合其他ニモ實用ア  
ルニ由ル自己宛ノモノモ爲替手形ナルヲ以テ支拂又ハ償還請求ノ手續ニ關  
シテ一般ノ規定ニ從ハサルヘカラス

振出人ハ自己ヲ受取人ト定ムルコトヲ得之ヲ自己指圖手形ト云フ自己ノ指  
圖シタル者ヲ手形ノ所持人トスレハナリ支拂人ノ信用ヲ利用スルニ適當ナ  
ル方法トシテ何レノ國モ之ヲ認ム此手形ノ成立時期ハ振出人ヨリ第一ノ被  
裏書人ニ手形ヲ交付シタル時ナリ原則トシテ手形ハ之ヲ受取人ニ交付スル  
ニ因リ成立スト云フモ自己指圖手形ニ在リテハ振出人自ラ受取人ナルヲ以  
テ振出人ヨリ手形ヲ受取人ニ交付スルヲ得ヌ而シテ交付説ノ因テ起ル所ハ  
權利者ノ對立セサルニ義務者アルコトナシトスルニ在ルヲ以テ此場合ニハ  
手形ハ振出人ヨリ或者ニ交付セラレサレハ成立セサルナリ  
振出人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得ルモ自己ヲ受取人及ヒ



支拂人ト定ムルコトヲ得ヌ爲替手形ニハ三個ノ人格ヲ必要トシ別人カ之ヲ充タヌヲ原則トシ例外トシテ或場合ニ振出人ヲシテ其一ヲ兼ヌルコトヲ得セシムルノミ此種ノ例外ハ成ルヘク嚴ニ解スヘキモノトシ二者ヲ兼併シ得セシメヌ立法論トシテ云フモ亦三者ヲ一人ニテ兼併スルハ不可ナリ獨逸ノ學者ハ一人ニテ爲替手形ノ三人格ヲ兼併スル如キ滑稽ナル場合ヲ實想スルヲ得スト云ヘリ類似ノ理由ニ依リテ受取人ハ支拂人ヲ兼ヌルコトヲ得ヌ

### 手形ノ多數當事者

手形ノ支拂人受取人又ハ振出人ハ各一人タルヲ通常トスルモ二人以上アルモ可ナリ而シテ如何ニ之ヲ當事者トスルカニ依リテ權利義務ノ成立若クハ其體樣ニ差ヲ生ヌ

振出人カ集合的ニ署名シタルトキハ其手形ハ有效ニシテ振出人ノ各自カ手形金額ノ全部ニ對シテ責任ヲ負フ手形法ニハ手形ニ署名シタル者ハ其文言ニ從ヒテ責ヲ負フトスルヲ以テ署名者各自全部ノ義務ヲ負擔スルナリ甲ハ余ノ外ニ乙丙モ亦署名シタルヲ以テ余ハ三分ノ一ノ義務ヲ負フノミト主張スルヲ得

ヌ手形法ニ一人ノ振出人ノ外ニ他ノ署名者アルトキハ其者ノ義務ヲ輕減スト云ハサル以上ハ金額ニ關スル義務ヲ負フハ當然ナリ若シ集合的署名ニシテ同一ノ行爲ト見ラルトセハ商行爲ノ總則ニ數人カ商行爲ヲ爲ストキハ連帶シテ責ヲ負フトセル規定ヲ適用ス

振出人カ選擇的ニ署名シタルトキハ手形ヲ無効トス甲カ振出人ト爲ルカ乙カ振出人ト爲ルカノ不定ナルハ手形ノ性質ニ反スレハナリ

支拂人ヲ集合的ニ記載シタル手形ハ有效ナリ此場合ニハ支拂人ノ位地ヲ不可分債務者ノ位地ニ準シテ諸般ノ問題ヲ決スヘシ民法ニハ債權ノ目的ノ不可分ナル場合ニ於ケル債務者ノ位地ヲ規定シテ各債務者ハ總債務者ノ爲メニ履行ヲ爲スコトヲ得ト云ヘリ(民四三〇、四二八)此原則ヲ準用シ支拂人中ノ何人カ支拂フモ手形上ノ支拂トス而シテ總テノ支拂人カ引受ヲ爲ストキハ多數ノ振出人アル場合ト等シク各自手形金額ノ全部ニ對スル債務者ト爲リ其中ノ一人又ハ二人カ引受ヲ爲ストキハ引受ヲ爲シタル者ノミ債務者ト爲ルナリ同一ノ行爲ニテ引受タルトキハ商行爲ノ總則ニ依リテ署名者間ニ連帶ノ關係ヲ生ヌ



支拂人ヲ集合的ニ記載スルトキハ手形所持人ハ先ツ其中ノ何人ニ對シテモ支拂ヲ請求シ得ヘク又償還請求ニ先チテ凡テノ支拂人ニ請求セサルヘカラス振出人ハ凡テノ支拂人ニ支拂ヲ委託シ其中ノ或者ハ支拂ハシ一人ニテ支拂ヲ得ストスルモ集合シテ支拂ハシト信シテ之ヲ記載シタルモノナレハナリ引受ニ關シテモ亦所持人ハ先ツ何人ニ對シテ請求スルモ可ナリ此場合ニ在リテハ一人ノ支拂人ニ引受ヲ拒絕セラレタルトキハ直チニ前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルコトヲ得是レ引受ハ支拂ノ擔保タルニ止マリ引受アレハトテ必スシモ支拂ハ絶對ニ確實ト爲リシニ非ス而シテ所持人ハ他ノ支拂人ヨリ引受ヲ得ルモ自己ノ重キヲ置ケル支拂人ニ依リテ之ヲ拒絕セラレタルトキハ其手形ノ支拂ニ不安ヲ感スルヲ以テナリ手形所持人ヲシテ豫備支拂人以外ノ參加支拂人之ヲ受ケシムルモ參加引受ハ拒ムコトヲ得セシムルト同理ナリ

支拂人ヲ撰擇的ニ記載シタル手形ハ無効ナリ何人ニ對シテ請求スヘキカ不定ナルハ手形ノ性質ニ反スレハナリ

受取人ヲ集合的ニ記載シタルトキハ其手形ハ有效ナリ總テノ受取人カ手形ヲ

共有スルニ等シク合シテ手形金額ノ不可分債權ヲ有ス而シテ民法ノ規定ニ依リ各受取人ハ總受取人ノ爲メニ支拂ヲ請求スルコトヲ得ヘシ(民四二八)或者ハ集合受取人ハ集合シテ一個ノ債權ヲ有スルヲ以テ集合スルニ非サレハ支拂ヲ請求スルヲ得スト云フモ手形法ニ之ヲ必要トセス而シテ民法ニハ多數債權者ノ有スル不可分債權ハ各債權者其履行ヲ請求シ得ル旨ヲ示スヲ以テ其規定ヲ適用スルナリ唯裏書讓渡ニ關シテハ各權利者ハ總權利者ノ爲メニ讓渡スコトヲ得トスル規定ナキヲ以テ讓渡ニハ凡テノ受取人ノ署名ヲ要シ(代理署名ノ場合ハ別ナリ)手形法ノ特別法理タル裏書連續ノ法理ヨリシテモ亦凡テノ者ノ裏書ヲ要ス

受取人ヲ撰擇的ニ記載スルモ有效ナリ受取人甲乙又ハ丙トスルモ可ナリ手形面ニ於テ現實ノ權利者ハ確定セサルモ可ナリ債權者ハ債務者程ニ一定不動タルヲ要セス債權者カ手形金額ヲ請求セントスル場合ニ何人ニ請求スヘキカヲ知り得サル如キハ手形ノ性質ニ反スルモ債權者カ現實ニ請求スル際ニハ其者ハ債權者タルコト一定シ債務者ハ其者ニ支拂ヘハ可ナルヲ以テ撰擇的ノ記載



ヲ有效トスルナリ指圖手形モ畢竟ハ現實ノ手形權利者ヲ受取人トスルカ受取人ノ指圖シタル人トスルカノ選擇的記載ノ一種ナリ

要件以外ノ記載

手形ノ振出人ハ手形ニ豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得豫備支拂人ハ支拂地ニ於ケル者ナルヘシ法文四四八ニ支拂地ニ於ケル豫備支拂人ト云ヘルハ支拂地ニ於テ支拂フヘキ者トモ解セラレ又支拂地ニ住スル者トモ解セラル然レトモ手形ハ支拂地ニ於テ支拂フヘキハ言フ俟タサルヲ以テ此法文ヲ意味アルモノト解スルトキハ記載ノ當時支拂地ニ住スル豫備支拂人ト爲ルヘシ四五四四七ニ參照然ラハ支拂人ハ支拂地ノ住者タルヲ要セサルニ豫備支拂人ニ限リテ何故ニ之ヲ要スルヤノ問題ヲ生シ之ニ對スル十分ノ理由ナシ且此條件ハ多クノ事實問題ヲ生スルヲ以テ支拂地ニ於ケルト云ヘル制限ヲ削除スヘシ豫備支拂人ハ支拂人ノ支拂ハサル場合ニ支拂ノ請求ヲ受クヘキ者ナリ所持人ハ先ツ豫備支拂人ニ請求スルニ非サレハ前者ニ對シテ償還請求ヲ爲スコトヲ得ス  
手形ノ振出人ハ手形ニ支拂擔當者ヲ記載スルコトヲ得手形ハ支拂人之ヲ支拂

アラ當然トスルモ自ラ現實ニ之ヲ支拂ハス代理人ヲシテ支拂ハシメントスルコトアルヘク而シテ其代理人ヲ手形ニ記載シ手形上ノ效力アラシムルヲ可トシ支拂擔當者ヲ認ムルナリ支拂擔當者ハ支拂人ノ代理人ナリ手形ノ所持人ハ手形法ノ規定ヲ待タスシテ支拂人ノ代理人ニ請求シ得ヘク支拂人モ手形法ノ特別規定ヲ待タスシテ代理人ヲシテ支拂ノ請求ヲ受ケシムルコトヲ得ルモ其外ニ手形法ニ於テ特別代理人ヲ認メ手形上ノ效力アラシムルヲ可トシ特ニ之ヲ定ム手形ニ支拂擔當者ノ記載アルトキハ所持人ハ彼ニ請求シタル後ニ非サレハ支拂人ニ請求スルコトヲ得ス

手形ノ振出人ハ支拂地ニ於ケル支拂場所ヲ記載スルコトヲ得(四五四)支拂場所ハ支拂地ノ一局部ニシテ手形ノ要件トスルニハ狭小ニ失シ又之ヲ要件トセサルモ既ニ支拂地ノ何地タリ支拂人ノ何人タルヲ知リテ手形ヲ取得スル者ハ其支拂人ノ營業所又ハ住所ヲ知ルト認メタルナリ然レトモ振出人カ支拂場所ノ不明ナル手形ハ所持人ニ不便ヲ醸シ隨テ其流通ヲ妨クル虞アリト思惟スルカ或ハ支拂人ハ營業所又ハ住所ニ於テ支拂ノ請求ヲ受クルヲ欲セサルヲ知ルト



キハ特ニ一定ノ場所ヲ指示シテ支拂場所ト爲スコトヲ得セシムルナリ之ヲ記載シ得ル者ハ振出人ナリ支拂人モ亦引受ヲ爲スニ當リテ之ヲ記載スルコトヲ得(四七三)何レノ場合ニ於テモ支拂場所ハ支拂地ニ於ケルモノタルヲ要ス支拂場所ノ何タルカハ法文ニ示シ難ク學者ノ定義ヲ以テモ其範圍ヲ示シ難シ支拂地ニ於ケル支拂場所ト云ヘルヨリシテ支拂地ノ中ニ存スルヲ知リ又場所ハ地ヨリモ小ナルヲ知ルノミ地ハ市町村ナルトキハ場所ハ市町村ノ一部分ナルヲ知ルニ止マリ其他ハ各場合ノ認定ニ委ヌ必スシモ建物内タルヲ要セス又陸上タルヲ要セサレトモ支拂ノ請求ヲ爲スヘキ場所タルヨリシテ不動ノモノタルヲ要シ一時碇繋スル船舶ノ如キハ手形ノ支拂場所タルニ家セス支拂場所ヲ記載スル方法ニ種々アリ明確ニ何市何町何番地何家何號室トスルトキハ最モ明白ナレトモ此ノ如ク詳細ナラサルモ可ナリ何町何銀行ニ於テ支拂フトスルモ可ナリ曾テ日本銀行ニ於テ支拂フト記載セルモノヲ解シテ商號ノ記載ナリ支拂擔當者ノ記載ナリ支拂場所ノ記載トスルニハ日本銀行ナル建物ニ於テ支拂フト云ハサルヘカラスト判決シタルコトアリシモ今ヤ改良セラ

レテ此ノ如キ記載モ亦支拂場所ノ記載ト解セラルルニ至レリ支拂場所ヲ記載シタルトキハ其記載ハ手形法上ノ効力ヲ有シ手形行爲ハ利害關係人ノ營業所ニ於テスヘシトセル原則ノ例外ト爲リ總テノ行爲ヲ其場所ニ於テセサルヘカラスト引受ノ請求支拂ノ請求拒絶證書ノ作成等悉ク然リ

## 第二節 裏書

手形ノ裏書トハ手形ノ所持人カ手形ニ署名シテ他人ニ手形上ノ權利ヲ取得セシムル行爲ナリ手形ニ自己ノ氏名ヲ手書シタルノミニテハ事實的行爲ヲ爲シタルニ止マリ未タ裏書ノ効力ヲ生セス効力ヲ生スルハ署名シタル手形ヲ他人ニ交付シタル時ナリ署名スル者ヲ裏書人ト稱シ署名シタル手形ヲ取得スル者ヲ被裏書人ト稱ス裏書ノ種類ニ依リテ被裏書人ノ取得スル權利ハ異ナレリ裏書ノ効力トシテ被裏書人ノ取得スル權利ノ大ナルコト、第三者ニ對抗スル方法ノ簡易ナルコト等ハ民法商法ノ指圖債權ニ共通ナリ手形法ノ規定ヨリ見ルトキハ手形ノ被裏書人ハ裏書人及ヒ其他ノ署名者ヲシテ手形ノ文言ニ從ヒテ



實ヲ負ハシメ偽造手形ニ署名シタル者ニモ實ヲ負ハシメ無能力者カ取消シタルトキト雖モ他ノ署名者ニハ實ヲ負ハシムルコトヲ得  
 裏書ヲ以テ讓渡ストキハ此利益アルニ依リ多クノ有價證券ハ裏書ヲ以テ讓渡スコトヲ得トセラルル其中ニハ之ヲ證券面ニ記載スルヲ要スルモノト記載セサルモ當然ニ裏書讓渡シ得ルモノトアリテ手形ハ後者ニ屬ス即チ爲替手形ハ其記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得四五手形ニ受取人ノ氏名ヲ記載シ其者ニ支拂フヘキ外觀アル場合ニモ裏書ニ依リテ讓渡スコトヲ得セシムルナリ但振出人カ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラヌ故ニ記名式ノ手形中ニ指圖的ノモノ及ヒ指名的(裏書禁止)ノモノヲ生ス

裏書ノ方式(連續)

裏書ノ方式ニ二様アリ記名裏書及ヒ無記名裏書ナリ記名裏書ハ被裏書人ノ氏名ヲ記載シテ爲スモノニシテ無記名裏書ハ之ヲ記載セスシテ爲スモノナリ記名裏書ニ在リテハ裏書ノ年月日ヲモ記載シ形式完全ナルヲ以テ完全裏書ト云フコトアリ形式ヨリ稱スル完全ナリ無記名裏書ハ署名ノミヲ以テ爲スモノナ

リ形式ノ簡易ナルヨリ簡易裏書ト稱ス又署名ハ何レニ爲スモ可ナレトモ通常ハ被裏書人ノ氏名ヲ記載スルニ足ル餘白ヲ存シテ爲スヲ以テ此點ヨリシテ白地裏書ト稱ス

記名裏書ニハ左ノ記載ヲ必要トス(四五七)

一 裏書人ノ署名

記名裏書ニ裏書人ノ署名ヲ要スルハ言ヲ俟タヌ氏名ヲ署スルモ可ナレハ商號ヲ署スルモ可ナリ自ラ被裏書人トシテハ氏名ヲ記載セラレナカラ他人ニ裏書スルニ當リテ商號ヲ署スルモ可ナリト解シ得ラレンモ兩者ノ同一ヲ證明スルコト屢困難ナルノミナラス裏書連續ノ點ヨリシテ有力ノ反對論ヲ生スルヲ以テ寧ロ被裏書人トシテ表示セラレタルモノヲ用ヒテ署名スルヲ安全トス

二 被裏書人ノ氏名又ハ商號

手形ノ振出ニ於テ受取人ヲ記載スルニ當リテ氏名又ハ商號ヲ以テ之ヲ表示セシムルト同主意ナリ被裏書人ノ氏名ヲ記載セルトキハ其以外ノ者カ證券



ヲ取得スルモ手形上ノ權利ヲ取得スルコトナシ之ニ依リテ紛失盜失等ノ場  
合ニ損害ヲ豫防スルコトヲ得

三 裏書ノ年月日

裏書ノ年月日ハ裏書人ノ意思表示ナルカ或ハ裏書シタル年月日ナルカノ問  
題ハ振出ノ年月日ニ關シテ論シタル所ト同一ニ論スヘク余ハ法律ハ僞日ノ  
記載ヲ望マス眞日ノ記載ヲ望メルモノト解ス

裏書ノ年月日ハ僞日タリトモ可トスルトキハ裏書ノ日附ヲ記載セシムル用  
殆ント無キニ至ラン又第二ノ裏書ハ五日ナルニ第一ノ裏書ハ八日ナルモ可  
ナレハ振出ノ日ハ十日ナルニ裏書ノ日ハ五日ナルモ可ナルニ至ラン豈ニ此  
ノ如キ理アラシヤ

以上ノ三個ヲ記名裏書ノ要件トシ其一ヲ欠クトキハ記名裏書ヲ成サス裏書人  
ノ署名ヲ缺クトキハ全然裏書ヲ成サス又被裏書人ノ氏名ヲ缺クトキハ記名裏  
書ヲ成ササルコト明カナリ日附ニ關シテハ之ヲ缺クモ記名裏書ヲ成スヘシ記  
名裏書ノ記名裏書タル所以ハ被裏書人ノ氏名ヲ記載スルニ在リテ日附ハ附屬

的記載ニ過キササルヲ以テナリト云フ者アレトモ法律ニ於テ氏名ト日附ノ間ニ  
輕重ヲ附セサル限リハ日附ヲモ必要ノモノト解スルハ當然ナリ

無記名裏書ハ被裏書人ノ氏名(又ハ商號)ヲ記載セスシテ爲ス裏書ナリ裏書人ノ  
署名ノミヲ以テ之ヲ爲ス(四五七)タヒ無記名裏書ヲ爲シタル後ハ手形ハ引渡  
ノミニ依リテ讓渡シ得ルヲ以テ無記名裏書ハ記名手形ヲ變シテ無記名手形ト  
爲スニ等シキ點アリ手形ヲ讓受ケントスル者カ其得タル手形ヲ成ルヘク容易  
ニ讓渡スヲ欲シ又之ヲ讓渡スニ當リテ署名ヲ爲スヲ欲セサルトキハ此方式ノ  
裏書讓渡ヲ受クヘシ

無記名裏書ヲ爲シ得ル手形ノ金額ニ制限ヲ附セサルヲ以テ三十圓未滿ノ手形  
ヲモ無記名裏書スルコトヲ得ルナリ隨テ三十圓未滿ノ手形ヲ無記名式ニテ發  
行スルコトヲ禁スル規定ニ緩弛ヲ生スル所アルモ初メヨリ無記名手形トシテ  
發行スルト初メハ記名式トシテ發行シタルモノヲ後ニ無記名ニテ裏書スルト  
ハ差アリトシテ之ヲ許スナリ尙無記名手形ハ後ニ如何ニスルモ記名手形トス  
ルヲ得サレトモ記名手形ニシテ無記名裏書ニ依リ取得シタルモノハ後ニ再ヒ



記名裏書ヲ爲スコトヲ得ヘク又所持人ハ自己ヲ其手形ノ被裏書人ト爲スコト  
ヲモ得ルナリ(四六一)

無記名裏書ニ日附ヲ記載スルモ可ナリ法律ニ裏書人ハ署名ノミヲ以テ裏書ヲ  
爲スコトヲ得ト云ヘルハ完全裏書ニハ三個ノ記載ヲ要スルモ或場合ニハ署名  
ノミヲ以テ裏書ヲ爲スコトヲ得トシ裏書ヲ容易ニシタルモノナリ所持人ノ便  
利ヲ擴張シタルモノニシテ之ヲ限定スル主意ニ非ス無記名裏書アル手形ノ所  
持人カ自己ヲ被裏書人ト記載スルトキハ裏書ノ日附ト裏書ノ眞日トハ異ナル  
ニ至ルモ已ムヲ得サルナリ

裏書ハ手形、謄本又ハ補箋ニ之ヲ爲スヘシ手形ノ要件又ハ引受等ハ手形自體ニ  
記載セシムルモ裏書ハ必スシモ手形ニ爲ヌヲ要セス是レ手形ハ信用多キ程多  
クノ人ニ轉帳シ又轉帳ノ數ヲ増ヌ毎ニ手形ノ擔保力ヲ大ナラシムルヲ以テ法  
律自ラモ裏書ノ度數ノ多キヲ欲シ手形自體ノミニテハ不十分ナリト認メタル  
ニ由ル隨テ手形ノ本體ニ裏書ヲ爲シ餘白ナキニ至リテ補箋ニ爲シ其補箋ニモ  
餘白ナキニ至ラハ更ニ他ノ補箋ニ爲ヌモ可ナリ之ヲ普通ノ順序トス然レトモ

必スシモ此順序ヲ追フヲ要セサルヲ以テ先ツ補箋ニ裏書シ次テ手形ニ裏書ス  
ルモ無効ナラス又謄本又ハ補箋ニ爲ヌモ可ナル程ナルヲ以テ手形ノ如何ナル  
部分ニ爲ヌモ可ナリ裏書ニ當ル外國語モ我國語ト等シク裏面ニ書ク意味ヲ有  
シ初メハ裏書ハ手形ノ裏面ニ爲ヌヲ要シタルモ今ハ何レノ國ニテモ之ヲ必要  
トセヌ

裏書ハ連續セサルヘカラス(四六四)裏書ノ連續トハ手形ノ受取人カ第一裏書ノ  
裏書人ト爲リ順次被裏書人カ後ノ裏書ノ裏書人ト爲ルコトヲ云フ受取人ヲ除  
キ後ヨリ溯リテ云フトキハ裏書ノ連續トハ或裏書ニ於ケル裏書人ハ直前裏書  
ニ於ケル被裏書人ナルコトナリ手形ニ裏書ノ連續ヲ必要トシタルハ現在ノ手  
形上ノ權利者ハ如何ニシテ其手形ヲ取得シタリシカヲ手形面ニテ知り得ンカ  
爲メナリ之ニ依リテ手形ノ紛失、盜失、詐取等ヲ防クコトヲ得ヘシ裏書ノ連續ヲ  
缺クテ斷絶ト稱シ裏書カ一タヒ斷絶スルトキハ最早其手形ヲ有效ニ裏書讓渡  
スコトヲ得ヌ故ニ裏書斷絶後ニ幾タヒ裏書ノ外觀ヲ爲ヌモ手形上ノ權利ハ傳  
權スルコトナク手形上ノ權利者ハ斷絶前ニ於ケル最後ノ裏書ノ被裏書人ナリ



唯其被裏書人カ手形ヲ占有セザル場合ニハ權利ノ行使ニ困難ヲ感スルノミ  
裏書ノ連續ハ形式上ノモノナリ裏書偽造ノ場合ニモ形式上ノ連續アリト解シ  
得ルトキハ後ノ被裏書人ヲシテ手形上ノ權利者タラシメ總テノ署名者ヲシテ  
手形上ノ責ヲ負ハシム

多クノ裏書中ニ無記名裏書アルトキハ其次ノ裏書人ハ手形ノ形式上前裏書ノ  
被裏書人ニ非ス隨テ形式ノ連續ヲ缺クモ法律ハ此欠缺ヲ補ヒ次ノ裏書人ハ前  
ノ裏書ニ依リテ手形ヲ取得シタルモノト看做ス所持人ハ自己ノ氏名ヲ白地ニ  
記載シ前ノ裏書人ニ依リテ記名裏書ヲ得タルカ如クスルモ可ナリ無記名裏書  
後手形カ交付ニ因リテ屢轉輾スルトキハ其裏書人ト現在ノ所持人トノ間ニハ  
多大ノ間隔アルモ法律ノ規定ニテ之ヲ接續セシムルナリ(四六一)

無記名裏書ヲ許スニ裏書ノ斷絶ヲ許ササルハ無記名裏書ハ一ノ特別ノ方式ト  
シテ之ヲ許スナリ特別ノ方式ヲ許セハトテ普通裏書ノ不完全ナルモノヲモ許  
スヘシトノ理由ヲ生セス

裏書ハ屢抹削セラルコトアリ裏書人カ或者ヲ被裏書人ト記載シタル後他ノ者

ヲ代フルコトアリ所持人カ支拂ヲ拒絕セラレタル際前者ニ償還請求ヲ爲サヌ  
手形ヲ返還シテ對價ノ返還ヲ受ケ其際裏書ヲ抹削スルコトアリ此ノ如キ場合  
ニハ抹消シタル裏書ハ裏書ノ連續ニ付テハ其記載ナキモノト看做ス

### 裏書ノ效力

裏書ノ效力ニハ權利ノ方面ヨリ見ルヘキモノト義務ノ方面ヨリ見ルヘキモノ  
アリ權利ノ方面ヨリ見ルトキハ手形ノ裏書ハ被裏書人ヲシテ手形上ノ權利ヲ  
取得セシムル行爲ナリ義務ノ方面ヨリ見ルトキハ裏書人ヲシテ償還義務ヲ負  
ハシムル行爲ナリ裏書人ハ之ニ依リ支拂人カ手形金額ヲ支拂ハサルトキハ自  
ラ償還スヘシトノ意思ヲ表示シタルモノトス即チ金額ノ支拂ヲ擔保シタルミ  
ノトシ裏書ハ手形ノ擔保力ヲ増ス效アリト稱ス

裏書人ハ振出人モ然リ毎次ノ手形所持人ニ對シテ償還義務ヲ負フ彼等ハ之ヲ  
輕減セント欲スルトキハ裏書讓渡ヲ禁スル旨ヲ記載スヘシ之ヲ裏書禁止文句  
略シテ禁轉文句ト稱シ法律ニ明許スル所ナリ(四五、四六〇)振出人ハ振出ヲ爲  
スニ當リテ之ヲ記載シ裏書人ハ裏書ヲ爲スニ當リテ之ヲ記載ス何レノ場合ニ



於テモ記載者ハ自己ノ直接取得者ニ對シテ償還義務ヲ負フニ止マリ其以後ノ取得者ニ對シテハ之ヲ負ハヌ

手形ニ禁轉文句ヲ記載スルトキハ記載者ハ直接取得者以外ノ者ニ對シテ手形上ノ實ヲ負ハサルハ振出人ト裏書人ノ間ニ差ナキモ其他ノ點ニ於テ差アリ振出人カ之ヲ記載シタルトキハ手形ハ裏書禁止的ノモノト爲リ到底裏書ヲ以テ讓渡スコトヲ得サルモ裏書人カ之ヲ記載シタルトキハ其裏書人ハ被裏書人ノ後者ニ對シテ責任ヲ負ハサルニ止マリ被裏書人ハ其手形ヲ裏書讓渡スコトヲ得ルナリ此差ノ生スルハ振出人ハ手形ヲ作成スル者ニシテ之ヲ指名式トスルト指圖式又ハ無記名式トスルトハ全ク隨意ナルモ裏書人ハ手形ノ作成者ニ非ヌ他人カ作成シ既ニ存シテ自己ノ有ト爲ラタルモノヲ處分スルニ過キサルヲ以テ之ヲ變質スルコトヲ許ササルニ在リ

裏書人ハ裏書ヲ爲スニ當タリ手形上ノ實ヲ負ハサル旨ヲ記載スルコトヲ得(四五九)免責文句ト稱シ之ヲ記載スルトキハ裏書人ハ手形ノ所持人ニ對シテ何等ノ手形上ノ義務ヲモ負フコトナシ禁轉文句ヲ記載スルモ自己ノ被裏書人ニ

對シテ手形上ノ實ヲ負フモ免責文句ヲ記載スルトキハ一切ノ實ヲ免カル償還義務ヲ負ハサル裏書ナルヲ以テ無擔保ノ裏書ト稱ス若シ總テノ裏書人カ免責文句ヲ入ルトキハ所持人ハ單ニ振出人ニ對シテ償還請求ヲ爲シ得ルニ止マラ受取人ニ等シキ位地ニ在ルヘシ振出人ハ免責文句ヲ入ルルコトヲ得ス法律ニハ裏書人ハ禁轉文句及ヒ免責文句ヲ入レテ其實ノ一部若クハ全部ヲ免カルコトヲ得トセルニ振出人ニ關シテハ禁轉文句ヲ入ルヲ得トスルニ止マルヲ以テ振出人ハ免責文句ヲ入ルヲ得スト解スルナリ立法論トシテ云フモ振出人ハ手形ヲ作成スル者ナリ自ラ手形ヲ作成シナカラ之ニ何等ノ實ヲ負ハストスルハ理ニ於テ當ラヌ又之ヲ許ストキハ手形濫發ノ弊ヲ生セン

(四五八)裏書ヲ爲スニ當タリト云フハ別ニ意味ナキ語ナリ振出人ハ振出ヲ爲スニ當リテ之ヲ記載スルコトヲ得ト云ハサルモ振出ヲ爲スニ當リテ爲スト解スレハナリ裏書人カ豫備支拂人ヲ記載シタルトキハ豫備支拂人ノ支拂ハサル場合ニ償還スヘキ者ト爲リ自己ノ償還義務ノ現實ト爲ルマテニ一段ノ防備ヲ有



スルコトト爲ルヘシ

裏書ハ期間後満期後ニモ之ヲ爲スコトヲ得期間後トハ支拂拒絶證書作成ノ期間ヲ經過シタル後ノコトナリ此期間ハ手形ノ満期日及ヒ其後二日間ニシテ所持人カ手形ノ支拂ヲ請求シ拒絶セラレタル際前者ニ對シテ償還請求ヲ爲スニ必要ナル證書ヲ作成シ得ル期間ナリ此期間ハ有效ナル支拂請求ヲ爲シ得ル日ナルヲ以テ之ヲ經過スルニ非サレハ裏書ノ效力ニ變動ヲ生セス此經過後ヲ満期後ト稱シ満期後ニ於ケル裏書ヲ満期後ノ裏書ト稱スルモ可ナレトモ満期後ト云フトキハ或ハ満期日後ト誤信スル者アルヲ慮カリ余ハ特ニ期間後ノ裏書ト稱シタリ

期間後ノ裏書ノ效力ハ期間前ニ於ケルモノト異ナリテ之ニ因リテ被裏書人ハ裏書人ノ有シタル權利ノミヲ取得ス(四六二)決シテ通常ノ如ク手形上ノ一切ノ權利ヲ取得スルニ非ス手形ニ引受アリテ裏書人カ引受人ニ對シテ手形債權ヲ有スルトキハ被裏書人ハ之ヲ取得スルモ若シ其權利ニ瑕疵アルトキハ被裏書人ノ權利ニモ瑕疵アリトセラレ而シテ引受人ハ裏書人ニ對抗シ得ル抗辯ヲ被

裏書人ニ對抗スルコトヲ得ルナリ又裏書人カ支拂ヲ拒絶セラレテ拒絶證書ヲ作り前者ニ對スル償還請求權ヲ保全セルトキハ被裏書人ハ此權利ヲ取得スルモ支拂カ拒絶セラレタルノミニテ未タ拒絶證書ヲ作成セザルトキハ被裏書人自ラ之ヲ作成セザルヘカラス然ルニ既ニ證書作成ノ期間ヲ經過セルヲ以テ證書ノ作成ヲ免除セラレタル場合ニ非サレハ最早如何トモスルヲ得ス殆ント空券ヲ得タルト等シク爲ラン

期間後ノ裏書人ハ自ラ手形上ノ責ヲ負フコトナシ支拂拒絶證書作成期間ハ全效力ヲ有スル手形上ノ請求ヲ爲シ得ル期間ナリトシ之ヲ經過スルトキハ殆ント手形トシテノ全效力ヲ有セザルモノト見裏書人ヲシテ手形上ノ責任ヲ負ハシメサルナリ之ヲ被裏書人ニ酷トシ或國ニテハ裏書人ヲシテ必ス償還ノ義務ヲ負ハシメ他ノ國ニテハ被裏書人カ他ノ前者ニ對シテ償還請求ヲ爲シ得ル場合ニハ裏書人ニハ手形上ノ責ヲ負ハシメサルモ他ノ前者ニ對シテ之ヲ爲シ得サル場合ニハ裏書人ヲシテ責ヲ負ハシメ被裏書人ヲシテ必ス何人カニ對シテ償還請求權ヲ得セシメタリ



尙裏書ノ効力ノ或モノハ裏書ノ種類ト共ニ説明スヘシ

裏書ノ種類

所持人ハ裏書ニ依リテ爲替手形ノ取立ヲ委任スルコトヲ得(四六三)其裏書ヲ稱シテ取立裏書ト云フ舊規定ニハ買入裏書ヲモ認メタリシモ實用少クシテ疑義ヲ生スルコト多シトシ改正規定ニ於テ削除シタリ一九一〇年ノ統一案ニハ之ヲ入ルルモ余ハ寧ロ削除ニ同意ス

取立裏書ハ支拂ノ請求ヲ委任スル方式ナリ何レノ國ニモ行ハレ又何レノ國ノ手形法ニモ規定セラル其被裏書人ハ手形債權ハ勿論何等實體上獨立ノ權利ヲ得ルニ非スシテ手形所持人ノ權利ヲ行フニ過キサルヲ以テ手形債務者ハ取立裏書ノ裏書人(手形ノ所持人ニ對抗シ得ル凡テノ抗辯ヲ被裏書人ニ對抗スルコトヲ得取立裏書ハ畢竟略式委任狀ヲ以テスル委任ニシテ被裏書人カ此裏書アル手形ヲ占有スルハ第三者ニ對シ自己ニ取立ノ代理權アルヲ證明スルニ過キヌ被裏書人自ラ取立ツルヲ欲セサルトキハ更ニ他ノ者ニ之ヲ取立裏書スルコトヲ得トシ手形交換ノ多クハ此方法ニ依リテ爲スナリ取立ノ委任中ニハ支拂

拒絕ノ場合ニ於ケル拒絕證書ノ作成其他ノ手續ノ委任ヲモ包含ス

取立ノ爲メニ裏書ヲ爲ス際ニハ其目的ヲ手形ニ附記スヘシ之ヲ附記セザルトキハ普通ノ裏書ト爲リテ善意ノ第三者ハ獨立ナル手形上ノ權利ヲ取得シ裏書人ハ其權利ヲ失ヒ且後者ニ對シ償還義務ヲ負フコトト爲ルヘシ取立ノ被裏書人カ取立ヲ爲サスシテ手形ヲ裏書人ニ返還セントスル際ニハ其儘ニ返還スヘシ取立裏書ヲ爲スハ不可ナリ又讓渡裏書ヲ爲シ得サルヲ以テ其儘ニ返還スルヨリ外ナシ此場合ニハ裏書人ハ其裏書ヲ抹削スヘシ

手形ハ之ヲ逆裏書スルコトヲ得裏書ハ未タ手形ニ氏名ノ記載セラレサル者ニ之ヲ爲スヲ通常トスレトモ既ニ其氏名ヲ記載セラレタル支拂人支拂擔當者豫備支拂人又ハ既ニ手形ニ署名シテ手形上ノ義務ヲ負ヘル振出人引受人裏書人等ニ之ヲ爲スモ可ナリ(四五六)手形カ振出人ヨリ出テ裏書人ヲ經テ轉帳シ來レルヲ再ヒ其者ニ廻リテ裏書讓渡スヲ以テ逆裏書又ハ戻裏書ト稱ス初メハ逆裏書トハ既ニ裏書人ト爲レル者ニ裏書スル場合ヲ示スニ限レルヲ後ニ擴張シ引受人ノ如ク手形ニ署名セル者ニ裏書スル場合ニモ用ヒ遂ニハ手形ニ氏名ノ記



載セラレタル者ニ爲ス裏書ヲ悉ク逆裏書ト稱スルニ至レリ  
 手形ノ逆裏書ヲ受ケタル者ハ其手形ヲ更ニ他人ニ裏書譲渡スコトヲ得裏書人  
 引受人ノ如キ署名者カ裏書ニ依リテ手形ヲ取得スルモ手形ハ消滅スルコトナ  
 シトシ混同ノ法理ヲ適用セスシテ其手形ヲ利用スルコトヲ得セシム  
 裏書人ハ手形ヲ譲受ケ手形所持人トシテ支拂ヲ請求シ拒絶セラレタル際逆裏  
 書ノ裏書人其他ノ前者ニ對シテ償還ヲ請求スルコトヲ得此際自己カ先キニ爲  
 シタル裏書以後ノ裏書人カ償還請求權ヲ對抗スルトキハ已ムヲ得サルモ裏書  
 人カ之ヲ對抗セスシテ償還請求ニ應シタルトキハ其償還ハ手形上ノ償還トシ  
 テ有效ナリ此點ニ於テハ引受人モ同一ナリ引受人ハ手形ノ所持人トシテ満期  
 日ニ自己ニ對シテ支拂ヲ請求シ(實際ニハ無益ナリ)支拂ヲ得サル場合ニ前者ニ  
 對シテ償還ヲ請求シ前者カ償還スルトキハ手形上有效ノ償還ト爲ルナリ前者  
 ハ自己ノ償還請求權ヲ對抗シテ償還ノ義務ヲ免カレ得ルニ之ヲ免カレサルコ  
 ト稀ナランモ法律ニ禁スルニハ及ハス其償還ヲ無効トスルヲ要セス引受人又  
 ハ支拂人カ自ラ支拂ハスシテ前者ニ償還ヲ請求セントスル場合ニモ拒絶證書

ヲ作成セサル可ラス法律ハ此場合ニハ證書ヲ要セスト云ハサレハナリ自己カ  
 支拂ハサルコトヲ明カニスル證書ナルヲ以テ宣言證書ト云フ  
 引受人ハ満期日ニモ其後二日內ニモ其以後ニモ手形ヲ譲受ケテ更ニ之ヲ譲渡  
 スコトヲ得或論者ハ満期日ハ支拂ヲ請求シ得ル日ナリ未タ支拂ヲ請求シ得サ  
 ル間ナレハ手形ヲ流通スル餘地アルモ既ニ之ヲ請求シ得ル日ニ至レハ最早之  
 ヲ流通スルヲ得ス混同ノ法理ハ適用セラレテ手形債權ハ消滅スト云ヘトモ商  
 法ハ手形ハ満期日前ニモ満期日後ニモ證書作成期間後ニモ譲渡シ得ルモノト  
 シ又引受人モ手形ヲ譲受ケテ更ニ之ヲ譲渡スコトヲ得トシ而シテ引受人ノ讓  
 渡シ得ル期間ニ制限ヲ附セサルヲ以テ普通ノ所持人ト同一ノ期間内ハ譲渡シ  
 得ルコトト解ス手形ノ支拂ハ満期日後三年間ハ引受人ニ請求シ得ヘク償還ハ  
 一年間前者ニ請求シ得ルモノトセハ満期日後ニ引受人ヨリ手形ヲ譲受クル者  
 ノ權利モ有利ナルモノナリ

手形ノ所持人ハ多數ノ者ニ裏書ヲ爲スコトヲ得恰モ振出人ハ多數ノ受取人ヲ  
 記載シ得ル如シ此場合ニ於ケル被裏書人ハ集合的ノモノナルモ選擇的ノモノ



ナルモ可ナリ集合的ナルトキハ凡テノ被裏書人ニテ一ノ不可分債權ヲ得ルコトト爲リ各自他ノ被裏書人ノ爲メニ手形上ノ權利ヲ行使スルコトヲ得ヘシ彼等カ更ニ手形ヲ裏書セントスルニハ悉ク署名セサルヘカラス而シテ署名者ハ悉ク手形上ノ責ヲ負フ

各別ノ裏書人間ニハ連帶ノ關係ナシ各自獨立ノ行爲ヲ爲シ獨立ノ義務ヲ負フナリ訴訟法ノ規定ニ依リ或權利關係カ合一ニ定マルヘキ場合ニ共同被告トシテ訴ヘラルコトアリトスルモ此ハ訴訟ノ便宜ヨリ來ルモノナリ

終リニ所謂一部裏書ナルモノニ關シテ一言センニ手形ノ所持人ハ手形ノ一部裏書ヲ爲スコトヲ得ス換替スレハ手形金額ヲ分割シテ之ヲ裏書讓渡スヲ得サルナリ支拂ハ一部タリトモ受取ルコトヲ要スルヲ以テ其殘額ハ手形成立ノ際ノ金額ニ比シテ一部ト爲リ手形ノ所持人ハ其殘額債權ヲ讓渡シ得ルヲ以テ時トシテ之ヲ手形ノ一部裏書ノ有效ナル例トスル者アルモ誤マレリ決シテ手形ノ一部ヲ讓渡スニ非ヌ現在ニ存スルモノノ悉皆ヲ讓渡スナリ故ニ正確ニ稱スル一部裏書ナルモノナシ

### 第三節 引受

引受ハ支拂人カ支拂ノ委託ヲ承諾スル手形上ノ意思表示ナリ

支拂人ハ振出人ヨリ豫メ引受ヲ爲スコトヲ委託セラレテ承諾スルコトアリ又支拂義務ノ履行ニ充ツル爲メニ振出人ヨリ爲替資金ノ送付ヲ受クルコトアリ實際ニ在リテハ振出人ハ豫メ支拂人ノ承諾ヲ得ルカ少ナクとも之ヲ記載シタル後支拂人ニ通知シテ事後ノ承諾ヲ求ムルモ手形ノ成立ハ承諾又ハ通知ノ有無ニ影響セラレヌ故ニ支拂人ハ毫モ手形ノ支拂人ト爲リタルコトヲ知ラサルニ所持人ヨリ引受又ハ支拂ヲ請求セラルコトアルヘシ其請求ヲ拒絶スルトキハ何等ノ關係モナクシテ終ハリ請求ニ應シテ引受ヲ爲ストキハ引受人ト爲リテ手形上ノ義務ヲ負フ

支拂人カ振出人ヨリ引受ヲ委託セラレテ之ヲ承諾シナカラ所持人ノ引受請求ヲ拒絶スルモ所持人ニ對シテ責ヲ負フコトナシ所持人ハ支拂人振出人間ノ契約ヲ主張シテ支拂人ニ手形ノ引受ヲ請求スルヲ得ヌ而シテ引受ノ署名ハ強制



シ得サルヲ以テ結局振出人ハ支拂人ニ對シテ契約ノ違反ニ伴フ損害賠償ヲ請求シ得ルニ止マラン

引受ヲ請求スルニハ手形ノ所持人ハ手形ヲ支拂人ノ營業所住所居所ニ於テ支拂人ニ呈示シテ之ヲ請求スヘシ自ラ行カス代理人又ハ使者ヲ遣ハシテ請求スルモ可ナリ引受ハ何時ニテモ之ヲ求ムルコトヲ得四六五手形ノ所持人ト爲リタル後直チニ之ヲ求ムルモ可ナレハ長キ期間後ニ求ムルモ可ナリ満期日又ハ其後ノ二日間ニ請求スルモ尙可ナリ

所持人ハ引受ヲ請求セサルモ可ナリ引受ノ請求權ハ純然タル權利ナルヲ以テ所持人ハ之ヲ行使セスシテ満期日ニ至リ直チニ支拂ヲ請求スルコトヲ得其場合ニハ支拂人ニ支拂ノ義務ナキヲ以テ支拂ヲ拒絕セラレテ自ラ不利益ヲ受クルノミ之ヲ原則トシ或種類ノ手形ニハ引受ノ請求ヲ必要トシ又ハ請求ノ期間ヲ限定シ之ニ從ハサルトキハ手形上ノ權利ノ全部又ハ一部ヲ失ハシム即チ一覽後定期拂ノ手形支拂擔當者ノ記載アル手形等ニ其例ヲ見ルナリ

手形ノ所持人ニ引受請求權アルハ明カナレトモ此請求權ニ對應スル義務ノ何タルカハ稍不明ナリ支拂人ハ此請求ニ應シテ引受クル義務ヲ負ハサルハ言フヲ俟タヌ又支拂人ハ所持人ヨリ手形ノ呈示ヲ受ケ營業所ニ於テ所持人ヲ引見スル義務ヲモ負ハス支拂人ハ振出人ニ依リテ隨意ニ手形ニ氏名ヲ記載セラレタルニ過キサルニ或義務ヲ負フ理ナケレハナリ故ニ所持人ノ引受請求權ニ對スル義務ハ引受拒絕ノ場合ニ前者ノ盡スヘキ擔保義務トスヘシ尙他ニ義務アリトスレハ引受拒絕ノ場合ニ拒絕證書ヲ作製スヘキ公吏ノ義務ナラン若シ此等ノモノヲ義務ト云フヲ得ストセハ所持人ノ引受請求ヲ獨立ナル權利ト云ハスシテ手形上ノ權利ヲ鞏固ナラシムル爲メニ爲スヘキ手續ト云フニ止ムヘシ

### 引受ノ方式

支拂人カ引受ヲ爲ヌ場合ニハ適當ノ方式ニ遵ハサルヘカラス其方式ヲ完全引受及ヒ簡易引受ノ二種ニ區別シ又ハ單純引受及ヒ不單純引受ノ二種ニ區別スルコトヲ得

#### 一 完全引受及ヒ簡易引受(四六八)

完全引受ハ手形ニ引受ノ旨ヲ記載シ支拂人之ニ署名スルコトニ依リテ爲ヌ



引受ナリ形式ノ完全ナル引受ノ意味ニシテ普通引受ト稱スルコトアリ引受ハ手形ニ之ヲ爲スト云ヘルニ引受ニ關シテハ手形、謄本又ハ補箋ニ之ヲ爲スト云ヘルニ引受ニ關シテハ手形ニ之ヲ爲スト云ヒテ謄本及ヒ補箋ヲ排斥スレハナリ引受ハ手形ニ主債務ヲ生セシムル行爲ニシテ重視スキモノナリ故ニ手形ノ本體ニ爲サシムヘク又之ヲ手形ノ本體ニ限ルモ裏書ノ如ク頻繁ニ生セサルヲ以テ何等ノ不便ヲ感セス引受ハ手形ノ如何ナル部分ニ爲スモ可ナリ然レトモ通常ハ表面ニ於テシ而モ支拂人ノ氏名ノ附近ニ於テニ引受ノ旨ノ記載ハ如何ナル文字ヲ以テスルモ可ナリ引受トスルモ承諾トスルモ委託ニ應ストスルモ可ナリ佛法ニテハ「アタセブテ」ト記載スルヲ要スルモ我國ニテハ自由ナリ引受ノ旨ヲ記載シタル外ニ署名ヲ要スルハ支拂人ヲシテ支拂ノ義務ヲ負フ意ヲ嚴格ニ表示セシムル爲メナリ手形義務ハ署名ニ因リテ之ヲ負フトスル原則ヲ貫キタルナリ引受ノ旨ノ記載ハ他人ヲシテ爲サシムルモ印刷ニテ爲スモ可ナルヲ以テ一層義務者ヲシテ署名セシムル必要アリ

完全引受ハ引受ノ旨ノ記載ト署名トニテ成立シ日附ヲ要セス(一覽後定期拂ノ手形ハ例外)故ニ日附ナクトモ引受ヲ成立シ之ヲ記載スルモ手形上ノ效力ヲ生セサルモノトス此規定ハ不可ナリ振出ニハ振出ノ日附ヲ記載セシメ裏書ニハ裏書ノ日附ヲ記載セシムトセハ引受ニモ日附ヲ記載セシムヘシ  
 簡易引受ハ手形ニ署名スルコトニ依リテ爲ス引受ナリ署名ノ外ニ何事ヲモ要セス支拂人カ手形ニ署名シタルハ何ノ爲メナルカ不明ナルトキハ引受ト爲ラサルモ自己ニ支拂ヲ委託セラレタル手形ニ署名スルトキハ其委託ヲ承諾シタリト見ルハ當然トシ多クハ引受ノ爲メノ署名ト認定セラレハシ署名ハ手形ニ爲スヲ要スルモ其所ノ如何ヲ問ハサルヲ以テ手形ノ裏面ニ爲スモ可ト爲リ裏書ノ爲メニスル署名ト區別シ難キ場合ヲ生スルコトアラン獨逸ニハ手形ノ表面ニ爲ストキハ署名ノミニテモ引受ヲ成スモ裏面ニ爲ストキハ引受ノ爲メニスル旨ヲ明カニスルニ非サレハ引受ヲ成サストセリ

二 單純引受及ヒ不單純引受

單純引受ハ手形ヲ呈示セラレタル儘ニ引受タルコトナリ毫モ變更増減セス



シテ手形金額ノ全部ヲ手形ニ定メアル満期日ニ其支拂地ニ於テ支拂フコトヲ承諾スルモノナリ此引受ノ結果ハ之ニ依リテ引受人ハ手形ノ記載ノ儘ニ支拂義務ヲ負フニ在ルヲ以テ特ニ説ク要ナク後ニ引受ノ效力ニ關シテ爲ヌ説明ハ悉ク之ニ依當ヌ單純引受ハ凡テノ利害關係人ニ關シテ效力ヲ有ス不單純引受ハ呈示セラレタル手形ヲ變更増減シテ引受クルコトナリ手形ノ變更増減中ニハ手形ノ本質ヲ害スルモノト否ラサルモノアリ本質ヲ害スルモノハ引受ノ效力ヲ生セヌ例ハ資金カ充實スルトキハ支拂ハント云フカ如シ條件附手形ナキ如ク條件附引受ナシ(反對論アリ)故ニ此ノ如キモノヲ省キ引受トシテ或効力ヲ有スルモノノミヲ説クヘシ

不單純引受ニシテ引受ノ効力ヲ有スルモノヲ分チテ凡テノ利害關係人ヲ拘束スルモノ及ヒ引受人ノミヲ拘束スルニ止マルモノトス

甲 凡テノ利害關係人ヲ拘束スル不單純引受ノ最モ重ナルモノハ手形金額ノ一部引受ナリ之ヲ認メタルハ手形債務ハ成ルヘク速カニ消滅セラルヲ可トシ委託ハ成ルヘク應セララルヲ欲スルカ故ナリ振出人ト支拂人トノ間

ニ交互計算繼續取引等アル際振出人ハ支拂人ニ對シテ債權ヲ有スル額ヨリ多額ノ手形ヲ發行スル場合ニ支拂人ハ自己ノ債務ニ相當スル金額ヲ引受クルコトアリ必ス全額ヲ引受ケサルヘカラストスレハ拒絕スルニ一部ニテモ可トスルトキハ之ニ應スルコトアルヲ以テ之ヲモ可トシテ成ルヘク委託ニ應セシメントスルナリ此引受ハ凡テノ者ニ對抗スルモノトシ引受人ハ之ニ因リテ其引受タル金額ヲ支拂フ義務ヲ負ヒ振出人等ハ其殘額ニ對シテ擔保ヲ供スル義務ヲ負ヒ所持人ハ一部ノ擔保請求權ヲ有スルニ止マル等ノ結果ヲ生ス所持人ハ全部ノ引受ヲ請求シタルニ一部引受ノ結果ヲ生スルヲ以テ引受ハ合意ニ非ス手形行爲ハ合意ニ非ストハ手形學說ニ於ケル單獨論者ノ必ス援用スル所ナルモ正論ニ非ヌ

支拂場所ヲ記載シテ爲ス引受モ此例ナリ(四七三)手形行爲ヲ爲ヌヘキ場所ハ利害關係人ノ營業所トシ營業所ナキトキハ住所又ハ居所トシ振出人カ他ノ場所ヲ記載シタルトキハ其場所トスルモ支拂人カ更ニ支拂場所ヲ記載シタルトキハ之ヲ其手形ノ支拂場所トス營業所ヲ多ク有スル支拂人ハ



特ニ或營業所ヲ以テ之ニ宛テントスルコトアリ又營業所ナキ際住所ニテ  
請求セラルヲ欲セスシテ居所ニ限ラントスルコトアリ其際ニ之ヲ記載ス  
支拂場所ハ支拂地ニ於ケルモノタルヘシ

支拂擔保者ヲ記載シテ爲ス引受モ此例ナリ振出人ハ自ラ支拂擔保者ヲ記  
載スルコトアリ若シ其記載ナキトキハ支拂人ハ引受ヲ爲スニ當リテ之ヲ  
記載スルコトヲ得支拂擔保者ノ存スルハ引受人ノ利益ノミナラス手形ノ  
所持人及ヒ其他ノ利害關係人ノ利益ナルヲ以テ此記載ヲ凡テノ者ニ對抗  
セシムナリ(四七二)支拂人ヲシテ支拂擔保者ヲ記載スル機會ヲ得セシムル  
爲メ所持人ヲシテ手形ヲ支拂人ニ呈示セシムルコトアリ手形ニ呈示スヘ  
キ旨ヲ記載セルニ所持人カ之ヲ呈示セサルカ或ハ呈示スルモ拒絶證書ニ  
テ其呈示ヲ證明セサルトキハ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

乙 引受人ノミヲ拘束スル不單純引受ハ上述以外ノ不單純引受ニシテ其重  
ナルモノハ支拂地又ハ満期日ヲ變更シテ爲スモノナリ此場合ニ於テハ引  
受人ハ其變更シタル地又ハ日ニ於テ支拂ヲ爲ス義務ヲ負フモ引受人以外

ノ者ニ對シテハ引受ノ效力ナキヲ以テ所持人ハ直チニ前者ニ對シテ擔保  
ヲ請求スルコトヲ得ヘク前者ハ之ニ應シテ擔保ヲ供セサルヘカラス此ノ  
如キ不單純引受モ所持人ニハ利益ナリ所持人ハ前者ニ對シテハ引受拒絶  
ノ場合ト等シキ權利ヲ取得シ而シテ引受人ニ對シテハ引受ノ文言ニ從ヒ  
テ手形上ノ責任ヲ負ハシメ得ルヲ以テナリ

引受ノ引受タル效力ヲ生スル時期ハ法定ノ記載ヲ爲シタル手形ヲ所持人ニ交  
付シタル時ナリ此時期ニ關シテハ數說ヲ生スルモ大體ニ於テハ振出ニ關シテ  
交付說ヲ採ル者ハ引受ニ關シテモ交付說ヲ採リ振出ニ關シテ署名說ヲ採ル者  
ハ引受ニ關シテモ署名說ヲ採ルナリ然レトモ稀ニハ振出及ヒ裏書ニハ交付說  
ヲ採リナカラ引受ノミハ例外トシテ交付ヲ要セスト云フ者アリ其理由トスル  
所左ノ如シ

振出裏書及ヒ引受ニハ情況ノ異ナルモノアリ振出ニ在リテハ振出人ハ手形ヲ  
受取人ニ交付スルマテハ何等ノ義務ヲ負ハス義務ナケレハ權利者ナク振出人  
ハ幾枚ノ手形ヲ製造シテ之ヲ破毀スルモ毫モ損害ヲ生セス然レトモ裏書人カ



手形ニ裏書ヲ爲シタル後之ヲ破毀スルトキハ夫レ丈ノ有價證券ヲ失ヒテ自ら損害ヲ蒙ルヘシ即チ二者ノ間ニ異ナル所ナリ引受ノ場合ニ至リテハ更ニ二者ト異ナリテ手形ナル有價證券ハ所持人ノ財産ナリ所持人ハ此證券ニ一層ノ信用ヲ得ント欲シテ支拂人ニ引受ヲ請求シタルナリ支拂人ノ爲スヘキコトハ請求ノ儘ニ之ヲ引受クルカ變更増減シテ引受クルカ或ハ引受ケスシテ其儘ニ手形ヲ還付スルニ在ルノミ引受ノ署名ヲ爲シタル後ニ之ヲ抹消シテ手形ヲ毀損スルヲ得ス故ニ一旦署名スレハ引受ハ成立スト云フニ在リ或理論ヲ貫ク所アルモ余ハ之ヲ探ラスシテ所持人カ引受ノ爲メニ手形ヲ支拂人ニ交付スルトキハ引受人ハ之ヲ引受ケテ還付スルニ非サレハ引受人ト爲ラヌト解ス手形上ノ義務者ト爲ルニハ手形上ノ權利者アルヲ要シ手形上ノ權利者ト爲ルニハ手形ヲ占有スルヲ要スルニ手形ハ支拂人ノ占有ニ存スル間ハ何人モ手形ヲ占有シ居ラサレハナリ故ニ余ハ引受ニ關シテモ交付既ヲ貫クナリ若シ交付ヲ要スル原則ニ例外アリトスレハ所持人カ手形ヲ占有シナカラ支拂人ヲシテ引受ノ署名ヲ爲サシメタル場合ナリ

手形ノ引受ハ手形カ成立シ手形上ノ權利者及ヒ義務者ヲ生シタル後ニ所持人ノ請求ニ應シテ之ヲ爲スヲ通常トスルモ時トシテ手形カ未タ受取人ニ交付セラレサルニ先チ支拂人ニ依リテ引受ノ署名ヲ爲サルコトアリ之ヲ白地ノ引受ト稱シ變例ナルモ有效ナリ手形ニ引受ノ署名アルトキハ其署名ヲ生シタル時ト他ノ要件ノ記載セラレタル時ト前後ヲ問ハヌシテ有效トスルナリ引受ニハ日附ヲ要セサルコトモ此解釋ノ一助ト爲ル白地ノ引受ヲ許ス必要ハ受取人ハ引受ノ署名ナキ手形ヲ欲セサル際支拂人ヲシテ豫メ引受ヲ爲サシムル場合ニ存ス多クノ場合ニハ振出人ノ署名後ニ支拂人ノ引受署名ヲ生スルモ振出人ノ署名ニ先チテ生スルモ可ナリ振出人ノ署名ニ先ツモ可トセハ振出日、満期日等ノ記載ニ先ツモ可ト爲リ極端ノ場合ヲ想像スルトキハ白紙ニ引受ノ署名ヲ爲スモ可ト爲ルモ蓋シ空論ナリ

### 引受ノ效力

引受ノ效力ノ或モノハ引受ノ方式ヲ説明スル際ニ述ヘタルヲ以テ彼此参照スヘシ



手形ノ引受ハ引受人ヲシテ手形ニ記載シタル文言ニ從ヒテ手形金額ヲ支拂フ義務ヲ負ハシメ其結果トシテ所持人ヲシテ前者ニ對スル擔保ノ請求權ヲ失ハシム

引受人カ單純ナル引受ヲ爲シタルトキハ呈示セラレタル手形ノ儘ニ支拂義務ヲ負ヒ不單純ノ引受ヲ爲シタルトキハ其不單純ノ如何ニ從ヒ或ハ手形金額ノ一部ヲ支拂フカ或ハ自己ノ記載シタル支拂地支拂場所等ニ於テ支拂フカ若クハ自己ノ記載シタル日ニ支拂フヘシ如何ナル場合ニ於テモ三年間ハ支拂義務ヲ負ヒ唯拒絕證書作成期間ノ經過後ニ手形金額ヲ供託シテ之ヲ免カルコトヲ得ルノミ(四八五)手形債權ノ消滅後ニモ受ケタル利益ヲ償還スヘキコトハ總則ニ述ヘタリ

引受人ノ手形金額ヲ支拂フヘキ日ハ所持人ヨリ適法ニ請求セラレタル日ニシテ其日ノ初メハ手形ノ満期日ナリ(四七〇)法文ニハ支拂人ハ満期日ニ於テ其引受ケタル金額ヲ支拂フ義務ヲ負フト云ヘルモ自ラ進ンテ支拂フヲ要セス所持人ヨリ請求シ來ルヲ待チテ可ナリ而シテ所持人ハ満期日ニ請求スルカ其翌日

又ハ翌々日ニ請求スルカハ隨意ナルヲ以テ何レノ日ニ請求シ來ルモ引受人ハ其請求ニ應セサルヘカラス供託ヲ爲ササルトキハ満期日ヨリ三年間支拂ノ請求ニ應スヘキモノトス

引受人カ支拂ヲ爲ササルトキハ所持人ハ爲替訴訟又ハ通常訴訟ニ依リテ之ヲ請求スルコトヲ得其際ニハ手形金額満期日以後ノ法定利息及ヒ費用ヲ請求スルコトヲ得ルナリ引受人カ支拂ハサル爲メ所持人カ前者ニ償還ヲ請求シ前者カ償還ヲ爲シタルトキハ更ニ引受人ニ對シテ支拂ヲ請求スルコトヲ得其場合ノ請求金額ハ手形金額満期日以後ノ法定利息及ヒ拒絕證書作成ノ手数料其他ノ費用ナリ恰モ前者ノ支拂フヘキ償還金額ニ等シ(四七一)

### 一覽後定期拂手形

一覽後定期拂手形ニ關シテハ種々ノ特別規定アリ殊ニ引受ノ請求ニ關スルモノニ於テ然リトス

商法ハ引受ノ節ニ於テ先ツ凡テノ手形ニ關シテ所持人ハ何時ニテモ引受ヲ求ムルコトヲ得ト規定シ次テ手形ノ一種タル一覽後定期拂手形ニ關シテノミ細



密且難解ノ規定ヲ爲シタリ故ニ商法ヲ研究スル者ハ往々其難規定ノ單ニ一覽後定期拂手形ニ限ルモノタルヲ忘レ凡テノ手形ニ關スル法理ト混同スルコトアルヲ以テ余ハ一覽後定期拂ノ手形ヲ別ニ説明スルコトトシタリ

一覽後定期拂手形ノ満期日ハ支拂人カ手形ヲ一覽シタル日ヨリ一定期間ノ經過後ナルヲ以テ支拂人カ手形ヲ一覽セサレハ満期日ハ定マラス満期日カ定マラサレハ所持人ハ支拂ヲ請求スルヲ得ス隨テ手形債權ノ時効ハ進行セサルヲ以テ法律ニ呈示期間ヲ定メ所持人ヲシテ其期間内ニ支拂人ニ手形ヲ呈示シテ引受ヲ請求セシム此手形ノ名稱ヨリスレハ手形ヲ一覽セシムルノミニテ足ルモ商法ハ一覽ヲ請求スルニ止メスシテ引受ヲ請求セシメタリ法定ノ呈示期間ハ一年トシ振出人ハ之ヨリ短キ期間ヲ定ムルコトヲ得

支拂人カ所持人ノ請求ニ應シテ完全ニ引受ヲ爲シタルトキハ其引受ノ日附ヨリ一定ノ期間ヲ經過シタル日ヲ手形ノ満期日トシ所持人ハ其日ニ引受人ニ支拂ヲ請求シ引受人カ支拂ハサルトキハ前者ニ對シテ償還請求ヲ爲シ得ルナリ然レトモ前者ニ對シテ償還請求ヲ爲スニハ豫メ呈示ノ拒絕證書ヲ作り置キ之

ニ依リテ呈示ヲ爲シタルコトヲ證明セサルヘカラス引受ヲ請求シテ請求ノ如ク引受ケラレタルコトヲ證明スル證書ヲ拒絕證書ト云フハ不當ナレトモ商法ハ此不當ノ名稱ヲ用ユルナリ此結論ハ第四六六條第二項ヲ意味アル規定ト解シタルカ故ナリ若シ同項ヲ無キニ等シト解スルトキハ完全ナル引受ヲ得タル際ニハ拒絕證書ヲ作成セサルモ可ナルコトト爲ラン

支拂人カ所持人ノ請求ニ應シテ引受ヲ爲スモ引受ノ日附ヲ手形ニ記載セサルトキハ所持人ハ引受人ニ對シテ支拂ヲ請求シ得ルモ満期日ハ引受ヲ得タル日ヨリ計算スルニ非スシテ引受拒絕證書ノ作成日ヨリ計算スルナリ拒絕證書ヲ作成セサルトキハ呈示期間ノ末日ヨリ計算ス但所持人カ拒絕證書ヲ作ラシメサリシトキハ引受人ニ對スル權利ヲ有スルモ前者ニ對スル權利ヲ失フ

支拂人カ引受ヲ拒絕シタル場合ニハ所持人ハ支拂人ニ對シテ何等ノ權利ヲモ有セス前者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲シ満期日ニ至リテ支拂人カ支拂ハサル場合ニ償還請求ヲ爲シ得ルコト一覽後定期拂手形ニ於ケルト他ノ手形ニ於ケルトニ依リ異ナル所ナシ



#### 第四節 擔保ノ請求

手形ノ所持人カ支拂人ニ手形ノ引受ヲ拒絕セラレタルトキハ其手形ニハ第一  
 次ノ義務者ヲ生セサルコトト爲リ自己ニ不安ノ念ヲ生シ他人モ亦斯カル手形  
 ヲ讓受ケサルヲ以テ一ハ所持人ニ安心ヲ與ヘ又一ハ流通ヲ容易ナラシムル爲  
 メ手形ニ擔保ヲ附スルコトトシ所持人ヲシテ前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルコ  
 トヲ得セシム

手形ノ遡及請求ニ關シテハ二權主義及ヒ一權主義アリ

二權主義ハ手形ノ引受カ拒絕セラレタル場合ニ所持人ヲシテ前者ニ對シテ擔  
 保ノ請求ヲ爲スコトヲ得セシメ滿期日ニ支拂ヲ拒絕セラレタル場合ニ前者ニ  
 對シテ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得セシムルモノニシテ我國及ヒ獨逸ハ此主義  
 ヲ採ル其理由トスル所ハ手形ノ引受カ拒絕セラレタルモ支拂ハ拒絕セラレタ  
 ルニ非ヌ支拂人ハ一旦引受ヲ拒絕スルモ後ニ振出人ヨリ委託狀ヲ受ケ或ハ爲  
 替資金ヲ受取リテ支拂フコトアルヘシ故ニ滿期日マテハ手形ニ擔保ヲ附シテ

支拂ヲ鞏固ナラシメ而シテ支拂ヲ請求シ得ル日ニ請求シテ拒絕セラレタル際  
 初メテ償還ヲ請求セシムヘシ此ノ如クスルトキハ前者ニ對シテ酷ナル所ナク  
 又所持人ニ損害ヲ生スル虞ナシ然ルヲ一權主義ノ如ク引受拒絕ノ場合ニ直チ  
 ニ償還ヲ請求シ得セシムルトキハ滿期日ニ先チ支拂ヲ請求シ得ルト等シク爲  
 リテ債務辨濟ノ原則ニ反シ且前者ニ對シテ酷ナリ前者ハ手形カ滿期日ニ支拂  
 ハレサル場合ニ償還ヲ爲ス意ニテ手形ヲ裏書シタルニ之ニ先チテ償還セサル  
 ヘカラサレハナリ殊ニ支拂人ハ滿期日マテニ委託狀又ハ爲替資金ヲ得テ支拂  
 ヲ爲スニ至リ償還請求ヲ爲サスシテ濟ムコトアルヲ以テ直チニ償還請求ヲ爲  
 サシメサルハ一般ノ經濟ニモ利益ナリト云フニ在リ

一權主義ハ手形ノ引受カ拒絕セラレタル場合ニ所持人ヲシテ直チニ前者ニ對  
 シテ償還請求ヲ爲シ得セシムルモノニシテ英米ハ之ニ屬ス其理由トスル所ハ  
 手形ニハ確實ト迅速ヲ尊フヲ以テ所持人ヲシテ引受ヲ拒絕セラレタル手形ヲ  
 空シク所持セシムルハ不可ナリ滿期日ニ至リテ支拂人ハ或ハ支拂フヤモ計ラ  
 レヌトノ如キコトヲ空想シテ滿期日ノ到來ヲ待タシムルハ手形ノ性質ニ適セ



又二權論者ハ満期日前ニ償還請求ヲ爲サシムルハ債務辨濟ノ原則ニ反スト云  
 フモ手形面上支拂ヲ爲スヘキ者カ支拂ハサル意思ヲ表示スルトキハ満期日ノ  
 到來シタルモノト同視スルヲ得ヘシ假ニ満期日前ノ償還請求ハ一般ノ原則ニ  
 異ナレリトスルモ手形ニ於テハ之ヲ異ニスヘキ理由アルナリ又前者ニ對シテ  
 酷ナリト云フモ振出人ハ引受ノ拒絶セララル手形ヲ振出シ裏書人ハ之ヲ裏書  
 シテ所持人ニ迷惑ヲ醸シタル者ナルカ故ニ之ヨリ生スル不利益ヲ忍ハサルヘ  
 カラス尙ホ擔保ヲ供ストスルモ如何ナルモノヲ之ニ充ツヘキカ如何ニ保存ス  
 ヘキカ等ヲ定ムルハ困難ナルノミナラス屢有用ノ財産ヲ空存スル弊ヲ生スト  
 云フニ在リ

此二主義ノ間ニ折衷主義アリ所持人ヲシテ擔保ヲ請求スルカ償還ヲ請求スル  
 カヲ選擇セシメ償還請求ヲ探ルトキハ手形金額ヨリ満期日マテノ利子ヲ控除  
 セシムルモノアリ又前者ヲシテ擔保ヲ供スルカ償還ヲ爲スカヲ選擇セシムル  
 モノアリ何レニモ理由アリテ純理ニ於テハ前掲ノ二主義ヨリモ可ナルモ實際  
 ニ煩ナリ之ヲ要スルニ二權主義及ヒ折衷主義ハ理論ニ於テ優リ一權主義ハ實

用ニ適ス

我國ハ二權主義ヲ採リタリ二權ノ何レモ前者ニ請求スルモノニシテ遡求權ノ  
 下ニ統一セラレ其性質及ヒ權利行使ノ手續ニ於テ相等シキ點多シ其中ニ就キ  
 償還請求權ハ主要ナル權利ニシテ擔保請求權ハ之ヲ鞏固ナラシムル附隨ノモ  
 ノナリ故ニ時ノ順序トシテハ支拂人ハ先ツ引受ヲ拒絶セラレタル場合ニ擔保  
 ヲ請求シ後ニ満期日ニ支拂ヲ拒絶セラレタル場合ニ償還ヲ請求スルモ主要ノ  
 權利ヲ知ラスシテ附隨ノ權利ヲ知ルハ困難ナルヲ以テ詳細ハ償還請求ノ所ニ  
 於テ説明スヘシ實用ノ最モ多キハ償還請求ナルコトモ亦此ノ如クスル理由ナ  
 リ

### 擔保請求ノ方法

擔保請求權ハ手形所持人カ手形ヲ取得スル際ニ取得シタルモノナルモ之ヲ行  
 使スルコトヲ得ル時機ハ支拂人カ引受ヲ拒絶シタル時ナリ引受拒絶ナル條件  
 ノ到來ニ因リテ擔保ヲ請求シ得ルニ至ルト云フヲ得此場合ニハ所持人ハ如何  
 ナル前者ニ對シテ如何ナル順序ニ於テ擔保ヲ請求スルモ可ナリ



所持人ノ擔保請求ノ條件若クハ手續トシテ引受ノ拒絶及ヒ拒絶證書ノ作成ヲ舉ケ之ヲ同列ニ置ク者アルモ寧ロ分チ引受ノ拒絶ハ擔保請求權ヲ行使スヘキ條件ノ到來ナリト云フヘシ

所持人ハ前者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲スニ先チ支拂人ニ引受ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス支拂人カ破産シタル後ニモ尙ホ之ヲ要ス引受ノ請求ハ擔保請求權行使ノ前提條件ナリ手形法ニ要スル形式ナルヲ以テ請求ノ結果如何ヲ顧ミス必ス之ヲ爲ササルヘカラス或學者ハ支拂人カ破産シタルトキハ所持人ハ直チニ前者ニ擔保ヲ請求スルコトヲ得支拂人ハ既ニ破産シタルモノナリ又未タ義務者ト爲ラサルヲ以テ此ノ如キ者ニ引受ヲ請求スル要ナシト云フモ法律ニ之ヲ免除セサル限りハ所持人ハ必要ノ形式ヲ履行セサルヘカラス

所持人カ支拂人ニ引受ヲ拒絶セラレタル際前者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲サント欲スルトキハ引受拒絶證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス(四七五)

引受拒絶證書ハ之ニ依リテ所持人カ適法ニ引受ノ請求ヲ爲シタルモ手形カ支拂人ニ依リテ引受ケラレサリシコトヲ證スル公正證書ナリ所持人カ前者ニ對

シテ擔保ノ請求ヲ爲サントスルニハ必ス之ヲ作ラサルヘカラス此證書ノ作成ノ免除ハ手形法ニ規定セラレヌ(四八九)

引受拒絶證書ノ作成時機ハ法律ニ明規セラレヌ支拂拒絶證書ハ滿期日及ヒ其後二日內ニ作成スヘキモノトセルニ引受拒絶證書ニ關シテハ之ニ等シキ限定ナク又引受拒絶證書ニハ其作成時機ヲ限定スル必要ナシ蓋シ所持人ハ何回ニテモ引受ヲ請求シ得ルヲ以テ一タヒ請求シテ拒絶セラレタル後直チニ證書ヲ作ラヌシテ或期間ヲ經過シタル後再ヒ引受ヲ請求シ拒絶セラレタル場合ニ之ヲ作ルモ可ナレハナリ一タヒ拒絶セラレタル後長日月ヲ經過スルトキハ其儘ニ拒絶證書ヲ作成スルヲ得ス必スヤ相當ノ期間內ニ證書ヲ作成スルコトヲ要スルモ所持人カ擔保ヲ請求スルニハ相當ノ期間內ニ證書ヲ作成スルコトヲ要ス左レト手形ノ之ヲ作成セサレハトテ爲メニ擔保請求權ヲ失フコトナシ擔保ヲ得ントスルトキハ再ヒ引受ヲ請求シテ證書ヲ作ラシムレハ可ナリ即チ引受拒絶證書ノ作成ハ純然タル手續ニシテ權利ノ保全條件ニ非ス償還請求ニ於ケルト大ニ異ナル所ナリ但一覽後定期拂手形ノミニ在リテハ引受拒絶證書ノ作成ハ遑及權ノ保



全條件ナルハ上ニ述ヘタリ(四六七)

前者カ後者ヨリ擔保ノ請求ヲ受ケタルトキハ更ニ自己ノ前者ニ對シテ擔保ヲ  
請求スルコトヲ得前者カ擔保請求權ヲ行使スルコトヲ得ル時機ハ自己カ後者  
ヨリ擔保ノ請求ヲ受ケタル時ナリ而シテ前者カ擔保ヲ請求スル手續トシテ引  
受拒絕證書ヲ作成スルヲ要セス然レトモ自己ノ前者カ自己ニ現實ニ擔保ヲ供  
スル際ニハ自己ヨリ引受拒絕證書ヲ提供セサルヘカラス而モ此證書ハ自己カ  
後者ニ擔保ヲ供スルニ非サレハ得ラレサルヲ以テ自己ノ擔保ヲ受タルハ自己  
ヨリ先ツ後者ニ擔保ヲ供シタル後ト爲ルヘシ

前者ハ後者ヨリ擔保ノ請求ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク引受拒絕證書ト引換ニ  
相當ノ擔保ヲ供スルコトヲ要ス(四七七)所持人カ自己ノ直接前者ヨリ擔保ヲ得  
タルトキハ其擔保ハ所持人ノ利益ニノミ存スルモ所持人カ飛躍シテ或前者ニ  
請求シテ之ヲ得タルトキハ其擔保ハ所持人ノ利益ノミナラス擔保ヲ供シタル  
者後者全員ノ利益ト爲ルナリ而シテ後者ニシテ既ニ自己ノ利益ニ存スル擔保  
ヲ得タリトスレハ再ヒ之ヲ請求セストモ可ナルヘク又前者ヲシテ一個ノ償還

義務ニ關シテ二個以上ノ擔保ヲ供セシムルヲ得サルヲ以テ此場合ノ擔保ハ後  
者全員ノ爲メ且後者全員ニ對シテ供シタルモノト看做ス(四七八)大體ニ於テ可  
ナレトモ或後者ヲシテ擔保ノ不足ヲ感セシムル場合アラシ

擔保ノ實體

前者ノ供スヘキ擔保ハ對人ノモノニテモ物上ノモノニテモ可ナリ所持人カ擔  
保ヲ請求シタル場合ニ前者カ相當ノ保證人又ハ連帶債務者ヲ供スルモ可ナレ  
ハ質權又ハ抵當權ヲ設定スルモ可ナリ所持人カ前者ノ供セントスル保證人ヲ  
不適當トスレハ相當ノ擔保ニ非ストノ理由ニテ排斥スルコトヲ得ルモ擔保ニ  
非スト稱シテ排斥スルヲ得ズ茲ニ相當ノ擔保ト云ヘルハ金額ノ相當ニ限ラス  
シテ擔保ノ種類ノ相當ヲモ含ムナリ又擔保ハ手形金額ヲ掩フヲ以テ足レリト  
セス利息及ヒ費用ノ合算額ヲモ掩ハサルヘカラス果シテ相當ノ額ナルカ否カ  
ハ判官ノ認定ニ委ス塊太利ニ於テハ擔保ノ相當ナルカ否カニ關シテ爭ヲ生シ  
タルトキハ金錢ヲ供託セシムレトモ我國ニ在リテハ擔保義務者ハ擔保ノ當否  
ニ關シテ終局マテ爭フコトヲ得ルナリ手形金額ノ一部ニ付キ引受アリタルト



キハ所持人ハ其殘部ニ應スル擔保ヲ請求シ得ルニ止マル  
 擔保義務者ハ擔保ニ換ヘテ相當ノ金額ヲ供託スルコトヲ得殆ント金銭ヲ擔保  
 ノ目的トスルニ等シキモ擔保ト供託トノ間ニハ手續上ノ差アリ義務者カ金額  
 ヲ供託セントスルトキハ權利者ハ擔保ヲ得ント主張スルヲ得ス擔保ヲ供スル  
 カ金額ヲ供託スルカニ關シテハ義務者ニ選擇權アリテ權利者ハ唯其額ノ相當  
 ナルカ否カヲ爭ヒ得ルノミ  
 裏書人カ後者ニ擔保ヲ供シタル後更ニ自己ノ前者ニ對シテ請求シ得ル擔保額  
 ハ自己ノ供シタル額ヨリモ常ニ大ナリ償還請求ノ層ナルニ從ヒ利息ト費用ヲ  
 増セハナリ

### 擔保ノ消滅

前者カ擔保ヲ供スルハ手形所持人ノ權利ヲ鞏固ナラシムル爲メナリ故ニ其權  
 利カ鞏固ト爲ルカ或ハ全然消滅スルトキハ最早擔保ヲ存在セシムル必要ナク  
 之ヲ存在セシムルハ擔保義務者ニ酷ニシテ一般經濟ニ害アリ故ニ其場合ニハ  
 擔保ヲシテ失效セシメ供託金ハ之ヲ取戻ヌコトヲ得セシム其事由左ノ如シ(四

### 一 後日ニ至リ單純ナル引受アリタルトキ

所持人ハ何時ニテモ又幾度ニテモ引受ヲ請求シ得ルヲ以テ引受カ一旦拒絕  
 セラレ擔保カ供セラレタル後ニモ引受ヲ生スルコトアリ引受ヲ生スルトキ  
 ハ引受ナキヲ根據トシテ設定シタル擔保ヲシテ其效力ヲ失ハシムルハ當然  
 ナリ擔保ノ消滅スルニハ單純引受アルヲ要ス故ニ一部引受及ヒ手形ノ事項  
 ヲ變更増減シテ引受ヲ爲シタル場合ニハ擔保ヲ消滅セシメヌ  
 此事由ニテ擔保カ消滅スルトキハ所持人ハ利息及ヒ費用ニ關シテ不利益ヲ  
 蒙ムルヲ以テ引受人又ハ前者ヲシテ直チニ之ニ當ル金額ヲ支拂ハシムヘシ  
 ト説ク者アリ

### 二 手形金額及ヒ費用ノ支拂アリタルトキ

擔保ハ手形金額ノ支拂ヲ鞏固ニスルモノナルヲ以テ其支拂アリタルトキハ  
 擔保ヲ存スル必要ナシトシテ消滅セシム前ノ場合ト異ナリテ費用ヲモ支拂  
 ハシムルニ利息ニ及ハサルハ非ナリ



三 擔保ヲ供シタル者又ハ其前者カ償還ヲ爲シタルトキ

手形金額及ヒ費用ノ支拂アリタル場合ニモ擔保ヲ消滅セシムトセハ償還ヲ爲シタル場合ニ之ヲ消滅セシムルハ當然ナリ擔保ヲ供シタル者カ償還ヲ爲シタルトキハ擔保ノ附著セル主債權ハ消滅スルヲ以テ擔保ヲ消滅セシムルハ當然トシ又擔保ヲ供シタル者ノ前者カ償還ヲ爲シタル場合ニハ之ヲ消滅セシムルモ何人ニモ不利益ヲ來タササルヲ以テ同シク擔保ヲ消滅セシムルナリ

擔保ヲ供シタル者ノ後者カ償還ヲ爲シタルトキハ更ニ擔保ヲ供シタル者ニ對シテ償還ヲ請求シ得ルヲ以テ擔保ヲ其儘ニ存在セシム擔保ハ所持人ノ請求ニ應シテ供シタルモノナルモ之ヲ供シタル者ノ後者全員ノ利益ニ存シ後者カ之ヲ利用シ得ルモノナレハナリ

四 手形上ノ權利カ時効又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキ

手形上ノ權利カ消滅スルトキハ其事由ノ如何ヲ問ハスシテ擔保ヲ消滅セシムヘキニ殊更ニ時効又ハ手續ノ缺點ニ因リテ消滅シタル場合ニ限りタルハ

非ナリ手形上ノ權利カ支拂又ハ償還ニ因リテ消滅スル場合ニ擔保ノ消滅スルコトハ他ノ規定ヨリ知ラルトスルモ手形上ノ權利ハ免除更改相殺等ニ因リテモ消滅スヘク此場合ニ擔保ノミヲ存セシムル理ナシ若シ此等ノ場合ニ擔保ノ消滅スルハ言フヲ俟タヌ手形上ノ權利ナキニ擔保ノミ存シ得ル理ナシト云ハハ手形上ノ權利カ時効又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタル場合ニモ擔保ノ消滅スルコト言フヲ俟タサラン故ニ本號ヲ削除スルカ或ハ廣ク手形上ノ權利カ消滅シタルトキトスヘシ利益償還ノ規定(四四四)ニ於テ手形上ノ權利ノ消滅原因ヲ時効及ヒ手續ノ欠缺ニ限定シタルトハ趣キヲ異ニス

手形上ノ權利カ時効又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタル場合ニ所持人ハ振出人又ハ引受人ニ對シテ利益償還請求權ヲ有スルモ利益償還請求權ハ手形上ノ權利ニ非サルヲ以テ手形上ノ權利ヲ擔保スル爲メニ生シタル擔保ヲ之ニ利用スルコトヲ得ヌ

五 擔保ヲ供シタル者カ満期日ヨリ一年内ニ償還ノ請求ヲ受ケサルトキ

所持人ノ前者ニ對スル償還請求權ハ支拂拒絕證書作成ノ日ヨリ一年ヲ經過



ヌルトキハ時効ニ因リテ消滅スルニ一年ヲ經過スルモ尙償還ヲ請求シ來ラサルトキハ最早擔保ヲ消滅セシメテ可トシタルナリ然レトモ多クノ裏書人アリテ順次ニ償還ヲ請求スル場合ニ在リテハ一二年ヲ經ルモ擔保ヲ供シタル者ニ償還ヲ請求シ得サルコトアリ故ニ擔保ヲ供シタル前者ニ對スル償還請求權ノ存スル間ハ擔保ヲ存在セシムヘシ若シ便宜迅速ノ爲メニ此不公平ヲモ忍ブトスレハ寧ロ一步ヲ進メ擔保制度ヲ廢シテ一權主義ヲ採ルヘシ

### 破産擔保

手形ノ所持人カ前者ニ對シテ擔保ヲ請求シ得ルハ支拂人カ引受ヲ爲ササル場合ナリ隨テ擔保請求ヲ引受拒絶ト對立セシメ擔保請求ノ當事者ヲ一方ニ在リテ手形ノ所持人其他ノ後者トシ他方ニ在リテ手形ノ振出人其他ノ前者トシ請求ヲ名ケテ邀及請求ト云フナリ然レトモ他ニ擔保ノ性質ニ於テモ其請求ノ手續消滅ノ事由等ニ至リテモ之ニ異ナルモノアリ所謂破産擔保ニシテ手形ノ引受ハ完全ニ爲サレタル場合ニ生スルモノナリ引受人ニ對シテ請求スルモノト前者ニ對シテ請求スルモノトアリ

破産擔保ハ引受人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ供スヘキ擔保ナリ所持人カ之ヲ引受人タル破産者ニ對シテ請求スヘキカ或ハ破産管財人ニ請求スヘキカハ破産法ノ規定ニテ定マルヘク請求ノ手續モ亦破産法ニ依ルナラン商法ノ解釋トシテハ所持人ハ引受人ニ請求スヘシ

所持人カ前者ニ對シテ擔保ヲ請求セントスルニハ引受人カ破産宣告ヲ受ケタル後ニ豫備支拂人ニ引受ヲ請求シタルモ豫備支拂人カ單純引受ヲ爲サザリシコトヲ要ス此條件ノ成就後ニ擔保ヲ請求スル手續ハ邀求擔保ノ場合ト等シク豫備支拂人カ引受ヲ拒絶シタル證書ヲ作ラシムルニ在リ證書ヲ作成スヘキ時機後者ヨリ請求ヲ受ケタル者カ更ニ自己ノ前者ニ對シテ請求ヲ爲シ得ルコト其手續擔保ノ效力等ハ悉ク邀求擔保ニ於ケルト等シ

引受人數人アル場合ニ其中ノ一人カ破産シタルトキハ其一人ニ對シテノミ擔保ヲ請求シ得ルカ他ノ引受人ニモ之ヲ請求シ得ルカ又前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルニハ引受人ノ凡テニ擔保ヲ請求シテ之ヲ得サルコトヲ要スルヤ一人ニ請求シテ得サルモ可ナルヤ等ノ問題ヲ生シ引受人ノ多ク存スル情況ノ如何ニ



依リテ解決ヲ異ニス

九〇六

破産擔保ノ消滅スル事由ハ大體ニ於テ遡求擔保ノ消滅スル事由ト等シク根本ノ法理ニ於テハ全然同一ナリ左ノ如シ

- 一 豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタルトキ
- 二 引受人カ後日ニ至リ相當ノ擔保ヲ供シタルトキ
- 三 手形金額及ヒ費用ノ支拂アリタルトキ
- 四 擔保ヲ供シタル者又ハ其前者カ償還ヲ爲シタルトキ
- 五 手形上ノ權利カ時効又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキ
- 六 擔保ヲ供シタル者カ満期日ヨリ一年內ニ償還請求ヲ受ケサルトキ

### 第五節 支拂

手形上ノ權利ノ最大效力ハ支拂ヲ請求シテ手形金額ヲ得ルニ在リ然レトモ我商法ハ支拂ノ事ニ關シテハ支拂ノ節ニ僅カニ四ヶ條ヲ規定スルニ止マルヲ以テ他ノ章節商法一般民法其他ノ法令ノ規定ヲ參照シテ研究セサルヘカラス

### 支拂ノ請求

手形ノ所持人カ手形金額ノ支拂ヲ請求シ得ル日ハ満期日ナリ満期日ノ性質ヨリ明カナル外法文ヨリシテモ明カナリ(四七〇)満期日ハ手形ノ種類ニ依リテ異ナレリ確定日附ノ手形ニ在リテハ確定日、確定日附後定期拂手形ニ在リテハ確定日ヨリ一定期間ヲ經過シタル日、一覽後定期拂手形ニ在リテハ引受ノ日又ハ呈示期間ノ末日ヨリ一定期間ヲ經過シタル日、一覽拂手形ニ在リテハ請求シタル日ナリ

満期日ハ手形ノ支拂ヲ請求シ得ル日ナルモ唯一ノ日ニ非スシテ請求シ得ル日ノ初メナリ初メノ日ト云フハ次ノ日アルヲ意味シ所持人ハ満期日後二日內ニモ支拂ヲ請求シ得ルナリ即チ三日間ヲ支拂請求期間トシ此期間ニハ休日ヲ算入セス(四八七)此支拂請求期間ハ専ラ前者ヲ觀察シテ生スルモノナリ支拂人カ請求ヲ受ケテ支拂ハント欲セハ支拂フヘク支拂フヲ欲セサルトキハ支拂ハサルヘシ又引受人ハ支拂ノ義務ヲ負ヒ満期日ヨリ三年間ハ支拂ノ請求ニ應セサルヘカラス故ニ支拂人及ヒ引受人ニ關シテハ満期日ヲ支拂請求ノ唯一ノ日ト



スヘキカ否カヲ論スル必要ナシ要ハ前者ニ對スル關係ニ在ルナリ所持人カ手形ノ支拂ヲ拒絶セラレタルトキハ前者ニ對シテ償還請求ヲ爲スコトヲ得トスルモ償還請求ヲ爲スニハ豫メ支拂人ニ對シテ満期日又ハ其後二日內ニ支拂ヲ請求シタルコトヲ要スルナリ若シ満期日ヨリ三日後ニ支拂ヲ請求スルルキハ拒絶セラルモ前者ニ對シテ償還請求ヲ爲スコトヲ得ス満期日及ヒ其後ノ二日ヲ支拂請求期間トシ同時ニ支拂拒絶證書作成期間トス尙ホ此期間ヲ標準トシテ種々ノ規定ヲ爲ス例ハ此期間ノ經過後ニ手形ヲ裏書シタルトキハ被裏書人ヲシテ裏書人ノ有シタル權利ノミヲ取得セシムルコトアリ又引受人ヲシテ此期間經過後ニ手形金額ヲ供託シテ債務ヲ免カルヲ得セシムルコトアリ

所持人カ満期日ニ支拂ヲ請求スル際支拂人ハ直チニ之ニ應セサルトキハ支拂ノ拒絶ト爲ル支拂人(引受人)ニハ支拂ノ延期ヲ請求スル權利ナシ或國ハ支拂人ニ一日ノ猶豫又ハ二日三日ノ恩惠期間ヲ認ムレトモ我國ハ之ヲ認メス故ニ所持人ハ満期日ニ支拂ヲ請求シテ之ヲ得サル場合ニ直チニ引受人ニ對シテ訴ヲ起シ又ハ前者ニ對シテ償還請求ヲ爲スコトナリ所持人カ満期日後二日內ニ適

當ナル支拂請求ヲ爲シ得ルヲ誤解シテ支拂人モ其二日ノ猶豫ヲ得タルモノト思フヘカラス

引受人ハ満期日ニ支拂ヲ資力ナキ場合ニ所持人ノ承諾ヲ經テ支拂日ヲ變更スルコトアリ或ハ其手形ノ交付ヲ求メ之ニ代ヘテ満期日ノ異ナル手形ヲ交付スルコトアリ我國ニテハ約束手形ニ關シテ多クノ實例アルヲ以テ約束手形ヲ例トセン約束手形ノ振出人カ満期日五日トアルヲ十日ト改メタルトキハ振出人ハ之ニ因リテ十日ニ支拂フヘキ義務ヲ負ヒ所持人ハ十日ニ非サレハ振出人ニ對シテ支拂ヲ請求スルコトヲ得サルニ至ルナリ然レトモ前者ハ所持人振出人間ノ合意ニ拘束セラレヌ五日ヲ満期日トシテ償還義務ヲ負フヲ以テ所持人ヨリ十日ニ支拂ヲ請求シテ拒絶セラレタリト云ヒテ償還ヲ請求セラルモ之ニ應スルヲ要セス即チ手形債務ヲ免カルコトト爲ルナリ故ニ所持人ハ五日ニ支拂ヲ請求スル手續ヲ爲シ拒絶證書ヲ作りテ前者ニ對スル償還請求權ヲ保全スヘシ而シテ振出人ニ對シテハ十日ニ支拂ヲ請求シ支拂ヲ得サル場合ニ前者ニ償還請求ヲ爲スヘシ支拂人カ満期日ヲ變更シテ引受ヲ爲シタル場合ト同理ナリ



所持人カ満期日五日ノ手形ヲ交付シテ満期日十日ノ手形ヲ得タルトキハ舊手形ハ消滅シテ新手形ヲ生スルヲ以テ所持人ハ新手形ニ依リテ手形上ノ權利ヲ行使スヘク振出人ハ同シク之ニ依リテ義務ヲ履行スヘク舊權利舊義務ハ全ク消滅ス之ヲ更改ト名クルヤ否ヤハ別問トシ舊手形ノ權利義務ノ消滅スルコト明カナリ而シテ手形カ消滅スルトキハ前者ハ償還義務ヲ免カル

手形ノ所持人カ支拂ヲ請求スヘキ場所ハ支拂人又ハ支拂擔當者ノ營業所トシ營業所ナキトキハ其住所又ハ居所トシ手形ニ支拂場所ヲ記載セルトキハ其場所トシ別ニ場所ヲ記載セサルモ請求ヲ受クル者カ他ノ場所ニ於テ請求セラレコトヲ承諾スルトキハ其場所トスルハ總則ニ於テ説明シタリ(四四二)

所持人カ支拂ヲ請求スルニハ適當ノ日ニ適當ノ場所ニ於テ手形ヲ支拂人ニ呈示シ何時ニテモ之ヲ金銭ト引換フルコトヲ提供セサルヘカラス手形ハ呈示證券ナリ手形上ノ權利ハ手形ノ呈示ニ依リテ行使スルコトヲ得ル權利ナリ手形法ニハ之ヲ明記セサルモ種々ノ規定ヨリシテ其性質ヲ推知スルコトヲ得例ハ

(一)手形ノ支拂ハ手形ト引換ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ要セストシタルヲ以テ

支拂ノ際ニハ手形ノ呈示アルヘク(二)支拂カ拒絕セラレタル場合ニ前者ニ對シテ償還請求ヲ爲サントスルニハ豫メ手形ヲ支拂人ニ呈示シテ支拂ヲ請求スルヲ要スルヲ以テ支拂拒絕ノ際ニモ手形ノ呈示アルヘシ(三)一覽拂手形ノ請求ニ關シテ所持人ハ其日附ヨリ一年內ニ手形ヲ呈示シテ支拂ヲ求ムルコトヲ要ストシ呈示ニ關シテ一覽拂手形ト他ノ手形トヲ區別スヘキ理由ナク(四)引受ハ手形ヲ支拂人ニ呈示シテ之ヲ求ムルコトヲ得トシ呈示ニ關シテ引受ト支拂ヲ區別スヘキ理ナキヲ以テ支拂ノ請求ニモ呈示ヲ要スルヲ知ルナリ(四八三、四八七、四八二、四六五)引受アル指圖式及ヒ無記名式ノ手形ニ在リテハ商行爲ノ總則ニ指圖債權又ハ無記名債權ノ債務者ハ所持人カ其證券ヲ呈示シテ履行ヲ請求シタル時ヨリ遲滞ノ責ニ任ストセル規定ヨリシテ亦手形ノ呈示證券タルヲ證明シ得ヘシ(二七九)約束手形ニ在リテハ振出人ハ常ニ債務者ナルヲ以テ殆ント此規定ノミニ依リテ手形ノ呈示證券ナルコトヲ證明シ得ルナリ

所持人ハ自ラ支拂人ニ對シテ支拂ヲ請求スルハ最モ可ナリ然レトモ代理人ヲシテ支拂人ニ請求セシメ或ハ支拂人ノ代理人ニ請求セシムルモ可ナリ請求ヲ



爲サント欲シテ支拂場所ニ至リシニ支拂人モ其代理人モ居ラサルトキハ請求ニ必要ナル手續ヲ充セハ足レリ記載セル支拂場所カ實在セサルトキ例ハ十一番地トセルニ十一番地ナキトキ或ハ某銀行トセルニ其銀行ハ破産シテ銀行ノ建物ハ滅失セルトキハ無キ場所ニ手形ヲ持參スルハ不能ナリトシ爲シ得ル範圍内ニ於テ呈示ノ手續ヲ試ムレハ足ル

### 支拂ノ方法及ヒ效力

支拂人ハ所持人ノ支拂請求ニ應スルト否トハ隨意ナリ引受人ハ必ス支拂請求ニ應セサルヘカラス此點ニ於テハ二者大ニ異ナレトモ支拂ヲ爲ス方法手續等ハ殆ント同一ナリ簡單ノ爲メニ先ツ支拂人ヲ例トス

支拂人ハ手形金額ノ全部ヲ請求セラレタル場合ニ全部ヲ支拂フハ通常ナルモ其一部ヲ支拂フモ可ナリ引受人カ一部ヲ支拂ハントスルモ所持人ハ之ヲ拒ミテ全部ニ非サレハ受領セスト主張スルコトヲ得ス手形債務ヲシテ成ルヘク速カニ消滅セシムル主意ナリ支拂ハ自國ノ通貨ヲ以テスルコト民法ノ金錢債務ノ辨濟ニ關スル規定ニ從フ

支拂人ハ全部ノ支拂ヲ爲スニ當リテハ手形ト引換ニ之ヲ爲シ且所持人ヲシテ手形ニ其支拂ヲ受ケタル旨ヲ記載シテ署名セシムルコトヲ得一部支拂ノ場合ニハ所持人ヲシテ一部支拂ノ旨ヲ手形ニ記載シ且寫本ヲ作り之ニ署名シテ交付セシムルコトヲ得(四八三、四八四)一タヒ支拂ヲ爲シタル手形ヲ再ヒ濫用スルコトヲ豫防シ又支拂ノ證據ヲ確實ナラシムル主意ナリ全部支拂ノ場合ニハ支拂ヲ爲ス者ハ所持人ヲシテ手形ヲ交付セシムルコトヲ得トセルニ一部支拂ノ場合ニハ所持人ハ手形ニ一部支拂ノ旨ヲ記載シテ之ヲ支拂人ニ交付スルコトヲ要ストスル事ニ關シ喋々スル者アレトモ深キ理由ナシ文字ノ差ニ過キス支拂ノ效力ハ手形上ノ權利ノ消滅ニシテ手形トシテノ存任ノ終息ナリ英法ニテハ特ニ手形ノ消滅原因ヲ規定シテ其中ニ支拂ヲ入レタルモ我國ニテハ旨ヲ俟タストシテ之ヲ明言セヌ

引受人カ適當ノ者ニ支拂ヲ爲シタルトキハ支拂ト爲リテ手形上ノ權利義務ヲ消滅セシムルモ不適當ノ者ニ支拂ヲ爲シタルトキハ之ヲ消滅セシメス隨テ正當ノ所持人ヨリ請求セラルトキハ再ヒ支拂ハサルヘカラス然レトモ常ニ此ノ



如クヌルトキハ引受人ハ精密ニ支拂請求者ノ適當ノ權利者ナルカ否カヲ調査  
 スルヲ要シ實際ニ不便ヲ來ヌヲ以テ之ヲ救済スル爲メ民法ニ一ノ規定ヲ設ケ  
 タリ曰ク指圖債權ノ債務者ハ其證書ノ所持人及ヒ其署名捺印ノ眞偽ヲ調査ス  
 ル權利ヲ有スルモ其義務ヲ負フコトナシ但債務者ニ惡意又ハ重大ナル過失ア  
 ルトキハ其辨濟ハ無効トス又曰ク債權ノ準占有者ニ爲シタル辨濟ハ辨濟者ノ  
 善意ナリシトキニ限り其効力ヲ有スト(民四七〇、四七八)之ヲ手形ニ適用スルト  
 キハ引受人ハ爲替手形ノ債務者ナルヲ以テ指圖手形ノ支拂請求ヲ受ケタル場  
 合ニ手形ノ所持人及ヒ其署名捺印ノ眞偽ヲ調査セスシテ支拂ヲ爲ヌモ有效ノ  
 支拂ト爲ルヘク又或者カ自己ノ爲メニスル意思ヲ以テ他人ノ手形ヲ呈示シテ  
 請求シタル場合ニ支拂ヲモ有效ト爲ルナリ指圖債權ニ關シテスラ然リトセハ  
 無記名手形ノ支拂ノ有效ナルハ一層明カナリ無記名手形ニハ動産ノ即時取得  
 ノ規定ヲモ適用シ得レハナリ然レトモ指名手形ニハ指圖債權又ハ無記名債權  
 ノ規定ヲ適用シ得サルヲ以テ債權ノ準占有ノ規定ヨリ支拂ヲ有效トスルヨリ  
 外ニ逸ナシ因ニ云フ民法ニテ債權ノ準占有者ニ爲シタル善意ノ辨濟ヲ常ニ有

效トスルハ辨濟者ヲ保護スルニ過キテ債權者ヲ害スルコトアリ又指圖債權ノ  
 債務者ノ爲ス辨濟ヲ有效トスル規定ニ比シテ寛大ニ過クル所アリ一步ヲ進メ  
 テ云フトキハ準占有者ニ爲ス辨濟ノ規定アルトキハ殊更ニ指圖債權ノ債務者  
 ノ爲ス辨濟ニ關シテ規定スル必要ナキカ如シ民法論トシテ研究スヘシ  
 支拂人カ支拂フ場合ニハ指圖債權ノ債務者カ辨濟ヲ爲ヌ規定ヲ適用シ得サル  
 ヲ以テ支拂人カ指圖手形ノ不當所持人ニ支拂フモ其支拂ハ無効ナリ之ヲ有效  
 ナラシメント欲シテ種々ノ辨濟ヲ試ミ民法ニ債務者ト云ヘルハ嚴格ナル債務  
 者ニ非ヌシテ凡テノ辨濟者即チ金錢ヲ支拂フ者ナリトカ支拂人モ支拂フ際ニ  
 ハ債務者ト爲ルトカ或ハ支拂人ハ支拂ヲ爲シテ手形ヲ取得スルトキハ其支拂  
 ノ有效無効ニ拘ハラヌ手形ノ返還ヲ請求セラルコトナキヲ以テ前ノ支拂ハ有  
 效ナルニ等シト云フ者アルモ何レモ牽強附會ナリ尙債權ノ準占有者ニ爲シタ  
 ル辨濟ハ有效トストノ規定ヲ準用シテ之ヲ有效ト爲サントスル者アルモ亦誤  
 レリ此場合ニ所持人支拂人間ニ債權ハ成立シ居ラス手形上ノ權利ハ成立スル  
 モ振出人其他ノ前者ノ債務ニ對スル權利ニシテ支拂債務ニ對スルモノニ非ヌ



然ルヲ茲ニ所持人ト稱シテ支拂ヲ請求スル者ハ支拂人ニ對シテ請求スルヲ以テ債權ノ準占有ノ規定ヲ適用シ得サルナリ指圖手形ノ支拂ヲモ無効トセハ指名手形ノ支拂ヲ無効トスルコト一層明カナリ無記名手形ニ在リテハ或ハ動産ノ即時取得ノ規定ヲ適用シテ有效トスルヲ得ルナランカ

手形ノ支拂ヲ成ルヘク迅速ナラシメント欲セハ支拂人ノ支拂ヲ場合ニモ引受人ノ支拂ヲ場合ト同一ニシ廣ク手形ニ支拂ヲ爲ス者ハ其手形ノ所持人ノ眞偽ヲ調査スル義務ナシトスヘキモ一方ヨリ見ルトキハ支拂人ハ必スシモ常ニ引受人ト同視スヘキニ非ス引受人ハ債務者ナレハコソ彼ヲシテ迅速正確ニ其債務ヲ履行セシムヘキ事情アルモ債務者ニ非サル者ニ此ノ如キ保護ヲ與フルヲ要セスト云フヲ得ルナラン立法上ノ可否ハ何レニ在リトスルモ解釋ハ明カナルヲ以テ手形ノ支拂人ニシテ民法ノ保護ヲ受ケントスル者ハ支拂ニ先チテ一旦之ヲ引受ケ以テ手形上ノ債務者ト爲ルヘシ

引受人ノ支拂義務ハ満期日ヨリ三年間繼續スルモ支拂拒絶證書作成期間經過ノ後ハ引受人ハ手形金額ヲ供託シテ此義務ヲ免ルルコトヲ得四八五而シテ滿

期日後三年間支拂ヲ請求セラレサルトキハ債務ハ時効ニ因リテ消滅シ引受人ハ其供託金ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ルナリ

### 支拂ノ拒絶

手形ノ所持人カ支拂ヲ請求セント欲シテ適當ノ手續ヲ盡スモ支拂場所ヲ搜出シ得サルコトアリ支拂人又ハ其代理人ニ面會シ得サルコトアリ面會シテ請求スルモ支拂ヲ拒絶セラレコトアリ何レモ不拂ナルモ其中最モ多キハ積極的ニ支拂ヲ拒絶セラレコトナルヲ以テ支拂拒絶ナル名稱ヲ以テ凡テノ不拂ヲ表示セシメ此場合ニ作成スヘキ證書ヲ支拂拒絶證書ト稱ス世俗支拂拒絶ヲ不渡ト云ヒ此語ハ又引受拒絶ヲ示スニモ用ユルコトアリ

所持人カ支拂人ニ支拂ヲ拒絶セラレタルトキハ強請シ得サルモ引受人ニ拒絶セラレタルトキハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得二種ノ訴訟アリテ簡易迅速ヲ欲セハ爲替訴訟ヲ提起スヘク然ラサルトキハ通常訴訟ニ依ルヘシ何レノ國ニ於テモ手形ノ爲メニハ通常訴訟ニ異ナルモノヲ設ク特ニ手形ノ爲メニノミ之ヲ設クル國モアレハ廣ク證書訴訟トシテ爲替訴訟ヲ其一種トスル國モアリ而シテ



廣ク證書訴訟ヲ規定スル國ニ在リテモ其適用ノ最モ多キハ手形ナリトシ訴訟  
 法學者中ニハ廣キ證書訴訟ヲ改メ手形訴訟トシテ正確且詳細ニ規定スヘシト  
 云フ者ヲ生ス我國ハ爲替訴訟ヲ證書訴訟ノ一例トセリ  
 爲替訴訟ヲ提起スルニ際シテモ當事者ヲ表示スルニハ必ス氏名ヲ用キサルヘ  
 カラス手形ノ振出人受取人支拂人裏書人等ヲ表示スルニハ氏名ト商號トヲ間  
 ハサルモ訴訟ノ當事者ヲ表示スルハ氏名ニ限ルナリ獨逸ニハ商號ヲ以テ之ヲ  
 表示スルコトヲ認ムルモ獨逸ニ於ケル商號ノ規定ハ我國ニ於ケルト異ナリテ  
 商號モ訴訟當事者ヲ表示スルニ適スルモ我國ニ於テハ然ラス商號ヲ以テ之ヲ  
 表示スルトキハ書類ノ送達判決ノ執行等ニ往々不便ヲ感ス  
 訴訟ニハ氏名ヲ以テ當事者ヲ表示スルカ故ニ訴訟ノ當事者トシテノ或者ト手  
 形ニ於ケル當事者トシテノ其者トノ同一ヲ證明スル必要アリ其場合ニハ權利  
 ヲ主張スル者ヨリ之ヲ證明セサルヘカラス手形ニ商號ヲ記載セル者ニ對シテ  
 訴ヲ起サント欲シタルニ其者ノ氏名ヲ知ラサルトキハ如何トモスルヲ得サル  
 ナリ法律ハ相手方ノ氏名ヲ知ラサルカ如キ者ヲ保護セヌ

所持人ハ引受人ニ對シテ強制的請求ヲ爲スヲ欲セサルトキハ直チニ前者ニ對  
 シテ償還請求ヲ爲スヘシ實際ニハ前者アルトキハ先ツ償還請求ヲ試ムルハ通  
 常ナリ

### 一覽拂手形

一覽拂手形ハ手形所持人カ手形ヲ呈示シテ支拂ヲ請求シタル日ニ支拂フヘキ  
 モノナリ満期日ノ豫メ一定セサルモノニシテ手形呈示ノ日ハ満期日ナリ之ヲ  
 一定ノ満期日ト云フハ所持人カ一旦手形ヲ呈示シテ請求シタル日ハ確定不動  
 ノモノト爲リ其日ヲ標準トシテ前者ニ對スル償還請求ノ手續ヲ爲スヘク又時  
 效ハ進行スルヲ意味ス  
 一覽拂手形ノ所持人ハ何時ニテモ支拂ヲ請求スルコトヲ得トシ隨テ支拂人ハ  
 常ニ資金ヲ準備スルヲ要スルヲ以テ此種ノ爲替手形ハ多ク流通セス約束手形  
 ニ在リテモ一覽拂ノモノヲ發行スル者ハ特種ノ資本家ニシテ就中或特權ヲ有  
 スル銀行ナリ其發行ノ情態ニ依リテハ兌換紙幣ト區別シ得サルモノヲ生スル  
 コトアリ



所持人ハ何時ニテモ支拂ヲ請求スルコトヲ得トシ請求シ得ル日ニ期限ヲ附セサルトキハ何年ノ後マテモ手形上ノ權利ヲ存在セシムルコトト爲ルヲ以テ法律ニ其呈示ノ期間ヲ限定シテ一年トシ其期間ヲ經過シタルトキハ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失ハシム所持人カ引受人ニ對シテ何年間權利ヲ有スルカノ問題ハ一覽拂手形ニモ引受ヲ爲シ得ルカ否カノ先決問題ニ關聯シ若シ此手形ニモ引受アリトスレハ引受人ニ對シテハ滿期日ヨリ三年間ハ請求シ得ルナリ振出人ハ一年ヨリ短キ呈示期間ヲ定ムルコトヲ得

一覽拂手形ノ所持人カ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ保全セントスルニハ呈示期間内ニ手形ヲ呈示シテ其支拂ヲ求メ而シテ拒絕證書ヲ以テ其呈示ヲ證明スルコトヲ要ス所持人カ支拂ヲ請求シテ支拂ヲ得ルトキハ證書ヲ作成スル必要ナク證書ヲ作成スルハ支拂ヲ拒絕セラルル場合ニ限ルナリ故ニ此場合ノ證書ハ常ニ支拂拒絕證書ナリ引受ノ場合ト異ナリテ支拂ヲ得タル旨ヲ證明スル證書ヲ作成スル必要ニ接セス

### 第六節 償還ノ請求

償還請求トハ手形ノ所持人カ支拂人(又ハ引受人)ニ支拂ヲ請求シ其支拂ヲ得サル場合ニ前者ニ對シテ一定ノ金額ヲ請求スルコトナリ所持人ノ請求ニ應シテ償還ヲ爲シタル前者ハ更ニ自己ノ前者ニ對シテ償還ヲ請求スルコトヲ得ヘク遂ニ遡リテ振出人ニ請求スルニ至リテ終ハル故ニ振出人ハ最後ノ償還義務者ナリ振出人ハ償還ヲ爲シタル後引受人ニ對シ支拂ヲ請求スルコトヲ得ヘク其額ハ恰モ償還請求金額ニ等シキモ(四七一)償還請求トシテ請求スルニ非ス手形ノ引受人即チ第一次ノ債務者ニ支拂ヲ請求スルモノナルヲ以テ最後ノ償還義務者ハ振出人ナリ手形ノ所持人カ前者ニ對シテ償還請求ヲ爲スモ前者カ之ニ應セサルトキハ訴訟ニ依リテ之ヲ強請スルコトヲ得此場合ニハ引受拒絕ニ際シ前者ヲシテ曾テ供セシメタリシ擔保ヲ利用スルコトヲ得ルモノトシ擔保ノ實用此際ニ顯ハル

所持人カ償還請求ヲ爲スニ當リ如何ナル前者ニ對シテ之ヲ爲スヘキカニ關シ



順序主義及不順序主義アリ

順序主義ハ手形ノ所持人ハ自己ノ裏書人即チ直接前者ニ對シテ償還ヲ請求スヘク直接前者カ償還セサル際ニ其次ノ前者ニ請求スヘク順次裏書ノ順序ヲ追ヒテ遡求スヘシトスルモノナリ其理由トスル所ハ手形ハ順次ニ裏書セラレタルヲ以テ遡求モ亦此順序ヲ追フハ至當ナリ又裏書人ハ自己カ裏書シタル後者ヨリ請求セラルルカ少ナクトモ其後者カ償還セサル際ニ償還スルコトヲ豫期シタルニ突然自己ノ知ラサル者ヨリ償還請求ヲ受タルトキハ不意ノ感アルヘシ又手形ノ裏書人ハ恰モ被裏書人ノ保證人ノ如キ者ニシテ被裏書人ノ償還セサル際ニ償還スヘキ者ナリ尙直接前者ニ請求セシメ前者ヲシテ成ルヘク直接抗辯ヲ對抗シ得セシムルヲ要スト云フニ在リ

不順序主義ハ手形ノ所持人ヲシテ如何ナル前者ニ對シテモ請求スルコトヲ得セシムルモノナリ自己ノ裏書人ニ請求スルカ其者ヲ越ヘテ前ノ裏書人ニ請求スルカ或ハ直チニ振出人ニ請求スルカヲ所持人ノ任意トス此主義ヲ貫徹スルトキハ所持人ハ先ツ先番裏書人ニ請求シ償還セラレサル場合ニ下リテ後番裏

書人ニ請求シ尙償還ヲ得サル際更ニ他ノ先番裏書人ニ請求スルモ可ナルコトト爲ル此ノ如ク自在ナルヲ以テ學者ハ此主義ヲ稱シテ飛躍主義ト云フ又選擇主義ト稱スルコトアリ此主義ハ手形ノ償還ヲ容易迅速ナラシメ以テ手形ノ信用ヲ増スモノナリ所持人ハ自己ノ裏書人ニ資力ナキヲ知ルモ必ス之ニ請求スルヲ要ストスルトキハ無益ノ手數ト費用ヲ要シ償還者ニ在リテモ其費用ヲ償還セサルヘカラサルヲ以テ双方ニ不利益ナリ又或前者ハ將ニ自己ニ請求セラレキヲ豫知シテ財産ヲ隱匿スルコトアレハ或ハ不可抗力ニ因リテ財産ヲ減少スルコトアラン所持人ニシテ速カニ請求セハ償還ヲ得ヘカリシニ順ヲ追ヒシ爲メニ之ヲ得サルコトアルヲ以テ此患ナカラシムル爲メ所持人ヲシテ自己ノ欲スル前者ニ對シテ請求スルコトヲ得セシムルナリ若シ或前者ニシテ面識ナキ者ヨリ突然償還請求ヲ受タルコトヲ欲セサルトキハ手形ニ裏書禁止ノ旨ヲ記載スヘシ

我商法ハ不順序主義ナリ商法ニ支拂人カ支拂ヲ爲ササリシトキハ所持人ハ其前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得ト云ヘル其前者トハ所持人ノ前者ニ



シテ振出人及ヒ凡テノ裏書人ナリ而シテ商法ハ直接前者ニ對スルコトニ限定  
スル場合ニハ之ヲ明言スルニ償還請求ヲ爲スコトニ關シテ限定セサルヲ以テ  
何人ニモ飛躍請求ヲ爲スコトヲ許スモノト解ス(四八六、四八七、四八八)

### 償還請求ノ手續

所持人ハ支拂ヲ拒絕セラレタル場合ニ前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スニハ或  
手續ヲ爲スコトヲ要ス之ヲ保全條件ト名クル者アレハ行使ノ手續ト稱スル者  
アリ見方ニ依リテハ何レモ正當ナリ法律ニハ所持人カ償還請求ヲ爲サント欲  
スルトキハ手形ヲ呈示シ若シ支拂ナキトキハ拒絕證書ヲ作ラシムルコトヲ要  
ス所持人カ此手續ヲ爲サリシトキハ手形上ノ權利ヲ失フトセルヲ以テ(四八  
七)此行爲ヲ爲ササル結果ハ失權ト爲ルヘク此行爲ハ畢竟償還請求權ヲ保全ス  
ルモノナルヲ以テ保全條件ト稱シテ可ナルナリ又所持人カ償還請求權ヲ行使  
シテ償還ヲ得ルニハ此等ノ行爲ヲ爲ササルヘカラサルヲ以テ權利行使ノ手續  
ト爲ルナリ同一物ヲ表裏兩面ヨリ觀察シタルモノトス  
手形ノ呈示 所持人カ前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スニ先チテ支拂ヲ求ムル

爲メ手形ヲ支拂人ニ呈示スルコトヲ要ス手形ノ呈示ハ償還請求權行使ノ前提  
條件ナリ或學者ハ償還請求權行使ノ手續ヲ二個トシ手形ノ呈示及ヒ證書ノ作  
成トシテ手形ノ呈示ヲ證書ノ作成ト同列ニ置クモ手形ノ呈示ト證書ノ作成ト  
ハ其性質ヲ異ニス獨逸ノスタウプ氏ハ償還請求ニハ二個ノ條件ヲ要セス手形  
ノ呈示ハ獨立ノ條件ニ非スシテ證書ニ記載スヘキ一事項ニ過キスト云ヘトモ  
亦誤ナリ手形ノ呈示ハ獨立ノ條件ニシテ而モ尤モ重要ナルモノナリ證書ハ呈  
示ノ結果ヲ記載シタル書類ニ過キス書類ノ生スルニ先チ事實ナカルヘカラス  
證書ノ作成カ免除セララルル場合ニモ手形ノ呈示ヲ要スルニ依リテモ其獨立條  
件タルヲ知ルヘシ

支拂拒絕證書 支拂拒絕證書ハ支拂人カ手形金額ヲ單純ニ支拂ハサルコトヲ  
證明スル公正證書ナリ最多クハ支拂人カ積極的ニ支拂ヲ拒絕シタル場合ニ  
生スルモ積極的拒絕ニ非スシテ例ハ支拂場所ヲ探知シ得サルカ支拂人ニ面會  
シ得サル爲メニ支拂ヲ得サル場合ニ作成スルモノヲモ支拂ノ拒絕證書ト云フ  
意味ニ於テハ不拂證書ナリ此證書ノ作成者證書ノ方式等ハ拒絕證書ノ節ニ於



ヲ説明スルコトトシ茲ニハ作成ノ日ト場所ニ關シテ説ク所アラン  
 拒絶證書ヲ作成スヘキ日ハ満期日又ハ其後二日內ナリ満期日ニ請求シテ支拂  
 ハレサル場合ニ直チニ證書ヲ作成シテ前者ニ償還ヲ請求スルヲ最モ迅速トス  
 ルモ必スシモ斯ク速カニ作成セサルモ可ナリ又證書ハ公證人又ハ執達吏ニ依  
 頼シテ作ラシムルモノナルヲ以テ作成期間ヲ三日トシ而モ此期間ニハ休日ヲ  
 算入セス證書作成期間ハ不變期間ナリ當事者ノ合意ヲ以テモ延長スルヲ得ス  
 證書ノ作成ハ免除シ得ルモ作成ノ期間ハ延長スルコトヲ得ス  
 拒絶證書ヲ作成スヘキ場所ハ手形ノ支拂場所ナリ手形ニ何等ノ記載モナキト  
 キハ支拂人ノ營業所トシ營業所ナキトキハ住所又ハ居所トシ特ニ支拂場所ヲ  
 記載セルトキハ其場所トス時トシテ證書作成ノ場所ハ支拂人ノ營業所住所又  
 ハ居所ニ限り其他ノ場所ニ於テ作成スルコトヲ得ス法律ハ手形ノ支拂ハ別ニ  
 定メタル支拂場所ニ於テスルコトヲ得トスルモ拒絶證書ノ作成ニ關シテハ此  
 ノ如ク云ハサルヲ以テ本則ニ從ヒ支拂人ノ營業所ニ於テセサルヘカラスト論  
 シ或ハ營業所ニ於テスルヲ本則トスルモ支拂場所ヲ記載シタルトキハ支拂場

所ニ於テスルモ可ナリト云フ者アレトモ支拂拒絶證書ハ支拂ヲ拒絶セラレタ  
 ル場所ニ於テ作成スヘキ性質ノモノナリ故ニ支拂場所ノ記載アル以上ハ證書  
 ハ必ス其場所ニ於テ作成スヘク他ノ場所ニ於テ作成シタルモノハ無効ナリ  
 拒絶證書ハ償還請求ヲ爲スニ必要ノ手續トスルモ其作成ヲ免除シタル者ニ對  
 シテハ之ヲ作成セサルモ手形上ノ權利ヲ失フコトナシ(四八九)證書ノ免除ヲ認  
 ムル理由ハ支拂拒絶證書ハ支拂拒絶ノ證據ナリ償還請求ヲ受クル者カ所持人  
 ヲ疑フカ故ニ要スルモノナルヲ以テ之ヲ信スレハ證書ヲ要セサル理ナリ證書  
 ヲ作成スルトキハ費用ヲ要シ前者ハ之ヲ償還セサルヘカラサルヲ以テ成ルヘ  
 ク之ヲ節減セント欲スル事情アルヘク(但免除セラレタルニ作成スルモ前者ハ  
 費用ヲ償還セサルヘカラスト)又拒絶證書ハ必ス公吏ヲシテ作成セシムルヲ以テ  
 自己ノ振出シ若クハ裏書シタル手形ノ支拂拒絶カ此等ノ者ニ知ルルヲ恐レテ  
 其作成ヲ免除スト云フニ在リ

免除ハ如何ナル方法ヲ以テ爲スモ可ナリ或判決ニハ免除ハ必ス手形ニ記載セ  
 サルヘカラスト云フモ我商法ハ手形ニ記載スヘキ事項ハ必ス手形ニ記載スヘ



シトカ或ハ手形ニ記載シタルトキハト云ヘルニ證書ノ免除ニ關シテハ此ノ如キコトヲ云ハス而シテ記載ヲ要セサルニモ理由アルヲ以テ吾人ハ作成ノ免除ハ記載ヲ要セスト云フナリ拒絶證書ノ作成免除ヲ手形ニ記載スルトキハ一般ノ者ヲシテ其手形ハ支拂ハレサルヤモ計リ難シトノ念ヲ生セシメ手形ノ信用ヲ傷クト稱シテ免除ノ廢止ヲ唱フル者モアリ

拒絶證書ノ作成ヲ免除シ得ル者ハ證書ニ依リテ權利ノ對抗ヲ受クル者ナリ償還義務ヲ負ヘル振出人及ヒ裏書人ナリ而シテ免除ノ效力ハ免除ノ當事者間ニ限ルヲ以テ振出人ハ受取人ニ對シテ證書ヲ免除スルモ受取人ヨリ手形ヲ取得シタル者カ振出人ニ對シテ償還ヲ請求スルニハ證書ヲ作成セサルヘカラス振出人ニシテ凡テノ所持人ニ之ヲ免除スルトキハ如何ナル所持人モ證書ヲ作成セシテ振出人ニ償還ヲ請求シ得ルナリ裏書人ノ爲ス免除ニ付キテ云フモ亦然リ免除ノ意思ヲ表示スル重ナル方法ハ免除ヲ手形ニ記載スルニ在リ素ヨリ記載シタル文字ノ解釋ハ判官ノ裁量ニテ決スルモ振出人カ手形ニ證書ヲ免除スト記載スルトキハ通常總テノ者ニ之ヲ免除シタリト認定セラル

證書ヲ作成セサル場合ニハ法律ノ適用ニ關シテ多クノ疑ヲ生スルコトアリ例ハ償還請求ノ通知ハ證書作成ノ日又ハ其後二日內ニ之ヲ發スルヲ要シ又所持人ノ前者ニ對スル償還請求權ハ證書作成ノ日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ストスル法文ヲ(四八七、四四三)文字通り解スルトキハ此等ノ規定ハ證書ヲ作成シタル場合ニノミ適用シ之ヲ作成セサル場合ニハ適用ナク隨テ其場合ニハ償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要セサルカ或ハ發スルヲ要スルモ期限ナキヲ以テ何日後ニ發スルモ可ナルカノ疑ヲ生シ又償還請求權ノ時効ハ證書作成ノ日ヨリ一年トスルヲ以テ之ヲ作成セサルトキハ時効ノ起算點ナク隨テ時効ハ進行セサルカ或ハ普通ノ時効ノ規定ヲ適用スルカノ疑ヲ生スル如シ然レトモ此等ノ場合ニハ意ヲ加ヘテ法ヲ解シ所持人ハ證書ヲ作成シタルトキハ其作成ノ日ヲ標準トシ作成セサルトキハ作成スヘカリシ期間ノ末日ヲ標準トシテ權衡ヲ得セシムヘシ

證書ノ作成ハ免除セラルモ手形ノ呈示ハ免除セラルコトナシ此二者ハ全ク獨立ノ條件ナルヲ以テ一ノ免除アレハトテ當然他ノ免除モアリト云フヘカラス



況ンヤ手形ノ呈示ハ償還請求權ヲ現實ナラシムル前提條件ナルニ於テオヤ故ニ償還請求ニハ拒絕證書ヲ作成スルヲ以テ足り證書ニテ呈示ヲ證スレハ可トスル主義ノ下ニ在リテモ證書ノ免除ハ呈示ノ免除ヲ含ムト云ヒ難ク我商法ノ如ク呈示ト證書ヲ獨立別個ノ條件トスル法律ノ下ニハ一層然リ故ニ證書ノ作成ヲ免除セラレタル場合ニ於テモ所持人ハ手形ヲ呈示シテ支拂ヲ請求セサルカヘラス而シテ支拂拒絕ヲ證明シテ償還請求ヲ爲スヘキモノトス然レトモ法ハ證明責任ノ點ニ於テ所持人ヲ保護シ支拂拒絕證書ノ作成ヲ免除シタル者ニ對シテハ所持人ハ支拂拒絕證書作成ノ期間内ニ支拂ヲ求ムル爲メ手形ヲ呈示シタルモノト推定ス(四八九ノ二)

償還請求ノ通知 所持人カ償還請求ヲ爲サント欲スルトキハ其直接ノ前者ニ對シ拒絕證書作成ノ日又ハ其後二日內ニ償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス(四八七ノ二)償還義務者ヲシテ義務履行ノ準備ヲ爲シ得セシムル爲メナリ又支拂拒絕ノ事情ニ關シテ調査シ拒絕者トノ間ニ或行爲ヲ爲シ得セシムル主意モアラン

償還請求ノ通知ノ效力ニ關シテハ種々ノ主義アリ保全主義ハ所持人カ償還請求權ヲ保全セントスルニハ必ス通知ヲ發スヘク之ヲ發セサルトキハ償還請求權ヲ失フトスルモノナリ英國手形法及ヒ我商法ノ舊規定ハ之ニ屬ス賠償主義ハ通知ヲ發セサルモ請求權ヲ失フコトナシ然レトモ之ヲ發セサリシカ爲メニ前者ニ生シタル損害ヲ賠償スル責ニ任ストスルモノナリ獨逸手形法及ヒ我商法ノ改正規定ハ之ニ屬ス尙此外ニ佛國ノ採用セル訴訟主義モアルナリ我改正規定ハ賠償主義ヲ採リ所持人ヲシテ其直接前者ニ對シテ償還請求ノ通知ヲ發セシメ直接前者ニ非サル前者ニ對シテ之ヲ發スルトキハ其者ノ後者ニ對シテ責ヲ負ヒ如何ナル前者ニ對シテモ發セサルトキハ前者全員ニ對シテ責ヲ負ハシム而シテ成ヘク之ヲ發セシメント欲シテ制裁ヲ重クシ所持人ヲシテ前者ニ對シテ損害賠償ノ責ニ任セシムル外利息及ヒ費用ノ償還ヲ請求スル權利ヲ失ハシム故ニ利息及ヒ費用ノ請求權ノミヲ見ルトキハ通知ハ權利保全ノ條件ナルナリ但通知ハ裏書地ヲ記載セル裏書人ニ對シテ發スヘク之ヲ記載セサリシトキハ其者ノ直接前者ニ對シテ發スルコトヲ要ストシ裏書地ヲ記載セサリシ



裏書人ニ通知ヲ發セサルモ何等ノ責ヲモ負ハシメス(四八八ノ二、四八八ノ三)  
 償還請求ノ手續トシテ前者ニ對シテ請求ノ通知ヲ發スルニ當リ撰擇主義ト直  
 接主義アリ撰擇主義ハ如何ナル前者ニ對シテ之ヲ發スルモ可トスルモノトシ  
 直接主義ハ直接前者ニ對シテ發スルヲ要ストスルモノナリ即チ所持人ハ自己  
 ノ直接前者ニ對シテ通知ヲ發スヘク其前者ハ又自己ノ直接前者ニ對シテ發ス  
 ヘク遂ニ遡リテ受取人ヨリ振出人ニ對シテ發スルニ至リテ終ルナリ通知ヲ發  
 スル者ニ取リテハ便宜ナルモ前者ニ通知ノ達スルコト後ルヘク時トシテハ通  
 知ハ中絶スルニ至ル虞アラン

償還請求ノ通知ハ發スルノミニテ可ナリ又如何ナル方法ニテ之ヲ發スルモ可  
 ナリ自ラ行クモ使者ヲ特派スルモ執達吏ニ委託スルモ郵便電信ヲ以テスルモ  
 可ナリ或國ニ於テハ償還請求ノ通知ハ拒絕證書ヲ添ヘテ爲スヲ要スルヲ以テ  
 勢ヒ通知ノ時機ト方法トニ制限セラル所アルモ我國ハ之ヲ要セサルヲ以テ如  
 何ナル方法ニ依ルモ可ナルナリ然レトモ尤モ多クハ書面ニ依ルヘク殊ニ改正  
 規定ニ於テ所持人カ其前者ニ對シ法定ノ期間内ニ書面ヲ發送シタル事實アル

トキハ其事實ニ付キ通信官署又ハ公衆通信取扱所ノ證アル場合ニ限り其書面  
 ハ之ヲ償還請求ノ通知書ト推定ス(四八八ノ四)トシタルヲ以テ書面ニ依ルハ一  
 層便利ト爲リタリ

償還請求ノ通知ハ之ヲ免除スルコトヲ得ス償還請求ノ手續トシテ證書ノ作成  
 及ヒ請求ノ通知ヲ要スルヲ原則トシ例外トシテ證書ノ作成ヲ免除シ得ルコト  
 ヲ明言セルニ通知ノ免除ヲ明言セサレハナリ又證書ノ作成ヲ免除スヘキ理由  
 アルモ請求ノ通知ヲ免除スヘキ理由ナシ或學者ハ證書ノ作成ヲ免除スルトキ  
 ハ當然請求ノ通知ヲ免除シタルナリ證書ノ作成ヲ免除スルトキハ證書作成  
 ノ日ナキヲ以テ其日又ハ其後二日內ニ爲スヘキ通知ハ何程後ルモ可ト爲リ期  
 限ナキ通知ハ爲ササルニ等シキヲ以テ通知ハ免除セラレタルモノト見ルヘシ  
 ト云フモ通知ハ證書ヲ作成シタルトキハ其日ヲ標準トシテ發スヘキナリ償還請求ノ通知ハ  
 セサルトキハ作成スヘカリシ日ヲ標準トシテ發スヘキナリ償還請求ノ通知ハ  
 拒絕證書ヲ以テ爲サシムル國ニ在リテハ證書ノ免除ハ或ハ通知ノ免除ヲ含ム  
 ト解スルヲ得ンモ通知ノ方法ヲ限定セサル我國法ノ下ニハ之ト同一ニ論スル



ヲ得ヌ我國ニ在リテハ證書ヲ免除シタル場合ニ當然通知ヲ免除セサルノミナ  
ラヌ手形ニ通知ヲ免除スト記載スルモ手形上ノ效力ナシ

### 償還請求ノ金額

手形ノ所持人カ償還ヲ請求シ得ル金額左ノ如シ

- 一 手形金額 若シ一部ノ支拂アリタルトキハ其殘額ナルコト言フヲ俟タヌ
- 二 利息 満期日以後ノ法定利息ナリ

所持人カ前者ニ償還請求ヲ爲サントスルニハ満期日又ハ其後二日內ニ支拂  
ヲ請求シテ之ヲ得サルヲ要シ即チ満期日後ニ支拂人ニ請求スルモ可ナルナ  
リ若シ常ニ満期日ニ請求スルトキハ民法及ヒ商法(二七九)ニ規定スル附遅滯  
ノ原則ト恰合スルモ其後ニ請求スルトキハ一日又ハ二日ノ差ヲ生スヘシ然  
レトモ其差ハ僅少ナリトシ凡テノ場合ニ満期日以後ノ利息ヲ得セシム  
利息ハ法定ノモノトシ即チ六分ナリ

- 三 費用 費用ノ重ナルモノハ拒絕證書作成ノ費用ナリ拒絕證書ニハ支拂拒  
絶證書引受拒絕證書等アリテ何レモ手形ノ支拂ニ關シテ作成スルヲ以テ前

者ヲシテ其作成ノ費用ヲ償還セシム支拂拒絕證書ノ作成ヲ免除シタル前者  
ト雖モ若シ所持人カ之ヲ作成シタルトキハ其費用ヲ償還セサルヘカラス免  
除ハ免除者ヲ拘束スルニ止マリ所持人ヲ拘束セス次テ之ニ入ルモノハ償還  
請求ノ通知ノ費用ナリ又前者ヲシテ擔保ヲ供セシメタル場合ニ於テハ其費  
用ヲモ請求スルコトヲ得然レトモ引受人ヲ訴追シタル爲メニ要シタル費用  
ノ如キハ此中ニ入ラス

償還金額ハ以上ノ三項目ヲ合シタルモノナリ支拂地ト償還義務者ノ營業地(又  
ハ住所地)トカ同地ナルトキハ所持人ハ以上ノ金額ヲ其儘ニ請求シテ毫モ過不  
及ナシ然レトモ此兩地カ異ナルトキハ償還金額ハ支拂地ヨリ營業地ニ宛テ振  
出シタル一覽拂爲替手形ノ相場ニ依リテ之ヲ計算ス(四九一)内國間ニ在リテハ  
適用趣ナキヲ以テ或國ノ法律ハ之ヲ外國手形ニ限リテ適用スルモ我商法ハ實  
用ノ有無ヲ問ハス内外ノ手形ニ適用スルコトトシタリ此規定ノ生スルハ手形  
ハ所持人ヲシテ支拂地ニ於テ手形金額ヲ得セシムヘキモノナルニ償還義務者  
ハ自己ノ住所地ニテ支拂フコトヲ得ルヲ以テ此間ヲ調和セントスルニ在リ之



ニ依リ所持人ヲシテ常ニ手形金額ヲ過不及ナク得セシメ償還義務者ノ負擔ノ増減スルヲ間ハス例ハ支拂地ハ倫敦ニシテ營業地ハ東京ナル場合ニ東京住ノ償還義務者ヲシテ倫敦住ノ所持人ニ千磅ヲ償還セシメントスルニハ所持人ヲシテ償還義務者ニ對シテ日本貨一萬圓ヲ請求セシムルコトアリ九千五百圓ヲ請求セシムルコトアルモ何レノ場合ニ於テモ所持人ノ得ル所ハ千磅ナリ若シ東京住ノ償還義務者カ自ラ倫敦ニ至リテ千磅ヲ支拂フトスレハ所持人ヲシテ常ニ千磅ヲ請求セシメテ可ナルモ日本ニ住居スル者ニ對シテ日本貨ニテ請求セシムルニハ磅ト圓ノ相場ニ應シテ一定ノ金圓ヲ請求セシメサルヘカラス支拂地ニ於テ營業地ニ宛テタル相場ナキトキハ營業地ノ最近地ニ宛テ振出シタル相場ニ依ル支拂地ヨリ營業地ノ最近地ニ宛テタル相場モナキトキハ支拂地ノ最近地ヨリ營業地又ハ其最近地ニ宛テタル相場ニ依ラシムヘシ其相場モナキトキハ前上ノ合算額ヲ其儘ニ請求セシムヘシ何レノ場合ニ於テモ一覽拂手形ノ相場ニ依ラシメタルハ此相場ハ定メ易ク又割引料モ廉ナルカ故ナリ

償還ノ方法

前者カ所持人ヨリ償還請求ヲ受ケタルトキハ一定ノ金額ヲ償還セサルヘカラ又償還ノ際ニハ所持人ヲシテ爲替手形支拂拒絕證書及ヒ償還計算書ヲ引渡サシムルコトヲ得四九五手形ヲ得セシムルハ支拂人ヲシテ支拂ノ場合ニ之ヲ得セシムルト略ホ同一ノ主意ニ出テ支拂拒絕證書ヲ得セシムルハ此證書ハ支拂拒絕ヲ證明スルニ必要ノモノニシテ償還後ニハ手形所持人ノ有ニ存スルヨリモ償還者ノ有ニ存スルヲ適當トスルニ由リ償還計算書ノ必要ハ前者ノ償還スヘキモノハ手形金額ニ止マラスシテ利息及ヒ費用ヲ包含セルヲ以テ明白ニ記載シテ償還者ニ交付セシムルヲ可トスルニ由ル償還者ハ所持人ヲシテ償還計算書ニ償還ヲ受ケタル旨ヲ記載シ且之ニ署名セシムルコトヲ得償還義務者ノ義務履行ノ方法ハ金銀債務者ノ爲ス辨濟ト同一ナルモ或償還方法ニシテ他ノ債務ノ辨濟ニ見サルモノアリ即チ戻手形ノ振出ナリ前者ノ爲ス償還方法ト云フヨリモ後者カ償還ヲ得ル方法トシ償還請求者ノ方面ヨリ觀察スルヲ可トス手形ノ所持人ハ償還ノ請求ヲ爲ス爲メ其前者ヲ支拂人トシテ更ニ爲替手形ヲ振出スコトヲ得四九三而シテ償還義務者カ此手形ヲ支拂ヒタル



トキハ償還義務ヲ履行シタルコト爲ルナリ之ニ依リテ所持人ハ實際ノ償還ヲ得ル場合ニ比シテ早ク金額ヲ得又償還義務者ハ即時ニ償還請求ヲ受ケスシテ償還ノ義務ヲ履行シ得ルコトト爲ルナリ後者タル所持人カ前者ヲ支拂人トシテ振出スモノナルヲ以テ戻手形又ハ逆手形ト云フ

戻手形ヲ振出スニ要スル條件左ノ如シ

一 戻手形ノ振出地ハ本手形ノ支拂地ニシテ其支拂地ハ償還義務者ノ營業地(又ハ住所)タルヘシ

戻手形ノ振出地ハ本手形ノ支拂地タルヲ要スルハ支拂地ニテ支拂ヲ受ケ得ル所持人ヲシテ其地ニ於テ償還ヲ得タルト同一ノ有様ニアラシメン爲メナリ然レトモ振出地ハ爲替手形ノ要件ニ非サルヲ以テ戻手形ニ振出地ヲ記載セサルモ可ナリ戻手形ニ限リテ手形要件一個ヲ増加ストノ規定モナシ隨テ振出地ハ實際ノ振出地ニシテ記載ノ振出地ニ非ス之カ爲メニ事實問題ヲ生スルモ止ムヲ得サルナリ

戻手形ノ支拂地ハ償還義務者ノ營業地ナルヘシ償還義務者ハ自己ノ營業地

ニテ償還スル權利アルヲ以テ其地ヲ支拂地トセサルヘカラス償還義務者ノ承諾アルトキハ此以外ノ地ヲ支拂地ト爲スコトヲ得ルヤ否ヤノ問題ハ戻手形ノ支拂地ヲ償還義務者ノ營業地ト定メタルハ單ニ償還義務者ノ利益ノ爲メナルカ否カニ依リテ定マル

戻手形ノ振出地ト支拂地トハ異地タルヲ要ス法律ニハ此兩地ハ異ナルヲ要スト明言セサルモ戻手形振出ノ主意及ヒ多數條文ノ比較解釋ヨリシテ兩地ノ異地タルヘキコトヲ知ルナリ即チ(一)戻手形ノ規定ハ此兩地ノ異ナル場合ニ償還請求ノ金額ヲ定ムル規定ニ次テ置カレタルハ兩規定ノ相關聯セルコトヲ知ラシメ學者ハ前ノ場合ヲ稱シテ擬似ノ戻手形振出ト云ヒ以テ後ノ眞ノ戻手形振出ニ對照セシムル程ニシテ此兩規定ハ一體ヲ成スモノナリ(二)戻手形ヲ認ムルハ兩地間ニ爲替相場ノ存スル場合ナリ相場ノ存スルニハ異地ナルヲ要ス(三)尙戻手形ヲ振出スコトヲ得セシムルハ所持人ヲシテ必ス償還義務者ノ營業地ニ至リテ請求セシムルヲ不便トスルニ由ルヲ以テ同地ニ在リテハ之ヲ認ムル必要ナシ況ンヤ戻手形ノ振出ハ償還義務者ニ費用割引等



ノ負擔ヲ負ハシムルヲ以テ限ニ許スヘカラスルニ於テオヤ  
二 戻手形ハ一覽拂タルヘシ

一覽拂手形ハ何時ニテモ支拂ヲ請求シ得ルヲ以テ所持人ニ取リテハ便利ナ  
リ又割引料ハ低廉ニシテ償還義務者ノ負擔ヲ輕クシ相場モ一定シ易シ支拂  
人ニ在リテハ請求ヲ受ケ次第之ヲ支拂フヘキ困難アラシモ償還義務者ハ元  
來支拂拒絕後何時ニテモ償還請求ニ應スヘキ者ナルヲ以テ一覽拂手形ノ支  
拂人ト爲リタレハトテ負擔ヲ増シタリト云フヘカラス尙一覽拂以外ノ手形  
ハ戻手形ニ適セサル理由モアリ

三 戻手形ノ金額ハ償還請求金額戻手形振出ノ費用及ヒ割引料ナリ

戻手形ハ償還請求ニ代ヘテ振出シ得ルモノナルヲ以テ償還請求金額ヲ手形  
金額ト爲シ得ルハ言フヲ俟タヌ又所持人ハ之ヲ振出ス權利ヲ有スル者ナル  
ヲ以テ振出ノ費用ヲ前者ニ負擔セシムルハ當然ナリ割引料ニ關シテハ議論  
アレモ所持人カ戻手形ヲ振出スニ當リ受取人ヨリ手形金額ノ對價ヲ悉ク得  
ルモノニ非ス必スヤ相當ノ割引ヲ爲ササルヘカラス然ラハ所持人ヲシテ戻

手形ヲ振出シテ償還金額ヲ得タルト等シキ有様ニアラシメントスルニハ割  
引料ヲモ得セシメサルヘカラス振出ノ費用ヲ廣ク解シテ割引料ハ其中ニ入  
ルト云フモ可ナリ

戻手形ヲ振出スニハ種々ノ方法アリ償還義務者ノ知ラサル際ニ振出スコトア  
リ其承諾ヲ經テ振出スコトアリ或ハ其引受ヲ得タル後ニ振出スコトアリ手形  
ノ形式ニ於テハ毫モ普通ノ手形ト異ナル所ナキヲ以テ引受ノ請求支拂ノ請求  
等ハ凡テ普通ノ手形ニ於ケルト等シ戻手形ノ支拂人ハ支拂ヲ拒絕スルコトア  
ルヘク支拂人カ之ヲ拒絕スルトキハ所持人ハ手形上如何トモスルヲ得ス豫メ  
此ノ如キ場合ニ備フル爲メ振出人カ戻手形ヲ振出ス際受取人ニ其手形ノ戻手  
形ナルコトヲ告ケ若シ支拂人ニシテ支拂ヲ拒絕スルトキハ本手形ニ依リテ償  
還請求ヲ爲スヘシト云ヒテ本手形支拂拒絕證書及ヒ償還計算書ヲ交付スルコ  
トアリ

### 再償還請求

前者カ手形ノ所持人ニ償還ヲ爲シタルトキハ更ニ自己ノ前者ニ對シテ償還請



求ヲ爲スコトヲ得之ヲ再償還請求ト稱シ大體ノ原理ハ所持人ノ償還請求ニ等シ償還者ハ如何ナル前者ニ對シテモ償還請求ヲ爲スコトヲ得ヘク(不順序主義)而シテ其償還請求權ハ自己カ償還ヲ爲シタル日ヨリ一年間ハ何時ニテモ行使スルコトヲ得(四八八)

再償還請求ノ條件手續ハ寛ナリ所持人ニ在リテハ拒絕證書ノ作成ヲ要シ此作成ハ償還請求ノ手續タルト同時ニ權利保全ノ條件ナルモ裏書人カ更ニ自己ノ前者ヲシテ償還ヲ爲サシムルニハ證書ノ作成ヲ要セス唯其直接前者ニ對シ自己カ通知ヲ受ケタル日又ハ其後二日內ニ償還請求ノ通知ヲ發スレハ足ルナリ(四八八)裏書人カ之ヲ發セサルトキハ損害賠償ノ責ニ任シ且利息及ヒ費用ノ償還ヲ請求スル權利ヲ失フ

裏書人カ償還ヲ請求シ得ル金額ハ(一)自己ノ償還シタル金額(二)償還日以後ノ法定利息(三)支出シタル費用ナリ償還ノ度ヲ層ヌルニ從ヒ利息及ヒ費用ヲ増加スルヲ以テ之ヲ防ク爲メ振出人其他ノ前者カ自己ヲ豫備支拂人ト爲シテ自己ニ請求セシメ或ハ參加支拂人ト爲リテ支拂フコトアリ裏書人ト其前者ノ營業地

又ハ住所地カ相異ナルトキハ此金額ハ自己ノ營業地ヨリ前者ノ營業地ニ宛テテ振出シタル一覽拂爲替手形ノ相場ニ依リテ計算ス裏書人ハ前者ヲ支拂人トシテ戻手形ヲ振出スコトヲ得トシ其戻手形ノ振出地ハ自己ノ營業地ニシテ支拂地ハ前者ノ營業地タルヘク形式ハ一覽拂タルヘシ戻手形ヲ振出スニ當リ本手形ト分離シテ振出スコトモアレハ本手形ヲ附隨セシメテ戻手形ノ支拂拒絕ノ場合ニ備ヘシムルコトモアルハ所持人ノ償還請求ノ場合ニ等シ再償還請求ノ戻手形ノ振出地ヲ裏書人ノ營業地トスルトキハ前者ニ損害ヲ蒙ムラシムルヲ以テ本手形ノ支拂地トスヘシトノ立法論ヲ生スルモ現行法ノ解釋トシテハ戻手形ノ振出地ハ裏書人ノ營業地ナリ  
前者カ裏書人ニ償還ヲ爲スニ當リ爲替手形拒絕證書及ヒ償還計算書ヲ取得スルコトヲ得ヘク償還計算書ニハ償還金受領ノ旨ヲ記載セシメ且裏書人ヲシテ之ニ署名セシムルコトヲ得

### 第七節 保證



手形保證ハ手形債務カ署名者ニ依リテ履行セラレサル場合ニ之ヲ履行セント  
 スル手形上ノ行為ナリ其署名者ノ債務ト保證人ノ債務ノ間ニ主從ノ關係アル  
 點ニ於テハ普通ノ保證ト等シキモ手形債權者ニ對シテハ保證人ヲシテ主債務  
 者ト同一ノ責任ヲ負ハシムル點ニ於テ之ト異ナレリ手形保證ハ振出人裏書人  
 引受人等ノ爲メニ生シ其如何ニ依リ振出保證裏書保證引受保證等ノ名アリ  
 手形保證ノ存廢ニ關シテハ相反スル而說アリ之ヲ必要トスル者ハ手形ノ支拂  
 及ヒ償還ハ鞏固ナラサルヘカラス署名シテ手形上ノ責ヲ負フ者ノ種類ヲ増ス  
 程手形ノ信用ヲ増スナリ裏書ヲ爲シタル者ハ責ヲ負フモ裏書人トシテ自己ノ  
 責ヲ負フニ止マリ他人ノ責ヲ負ハス又裏書人ニ對シテ償還ヲ請求スルニハ之  
 ニ要スル手續アリテ直チニ引受人ノ保證人ニ對スルカ如クナル能ハス又裏書  
 人ハ如何ナル後者カ支拂ハサル場合ニモ償還ヲ爲スヘクシテ自己ノ主債務者  
 ヲ選擇シ得サルヲ保證ハ特ニ或者ノ爲メニ之ヲ爲シ其者ト隨意ノ求償契約ヲ  
 爲シ得ル餘地アリ手形保證ヲ規定セサル國ニ於テハ世人カ別紙保證ニ依リテ  
 手形保證ノ實ヲ違セントスルヲ見テモ其必要ヲ知ルヘシ保證ノ記載ハ決シテ

手形ノ信用ヲ害スルコトナシト云ヒ之ヲ廢スヘシト云フ者ハ保證ハ主債務ノ  
 履行ヲ鞏固ナラシムル爲メニ要スルモノニシテ主債務ノ履行カ確實ナルトキ  
 ハ其要ナシ保證ノ記載ハ却テ主債務ノ不履行ヲ豫想セシメ手形ノ信用ヲ減ス  
 又保證ノ制ナクトモ裏書ノ方法ヲ以テ支拂ヲ鞏固ナラシムルヲ得即チ振出人  
 ノ爲メニ保證ヲ爲サントスル者カ自ら受取人ト爲リ對價ヲ支拂フコトナクシ  
 テ手形ヲ振出サシメ振出人ノ計算ニテ之ヲ裏書讓渡スルコトニ依リテ其實ヲ  
 違スルコトヲ得ト云ヘリ獨逸手形法ハ手形ニ署名シタル者ハ手形ノ文言ニ從  
 ヒテ其實ヲ負フトスル原則ニテ足ルトシ英國手形法ハ振出人又ハ引受人ニ非  
 スシテ手形ニ署名シタル者ハ裏書人ノ責ヲ負フトスルニ止マル然レトモ佛國  
 商法ハ爲替手形ノ支拂ハ引受及ヒ裏書ノ有無ニ拘ハラス保證ヲ以テ之ヲ擔保  
 スルコトヲ得トシ我商法ハ保證ノ爲メニ獨立ノ一節ヲ設ケタリ  
 手形保證ハ署名ニ依リテ之ヲ爲ス振出保證ヲ爲スニハ振出人ノ署名ノ近傍ニ  
 署名シ裏書人ノ爲メニスルニハ其近傍ニ署名スルヲ通常トスルモ法律ニ署名  
 ノ場所ヲ限定セサルヲ以テ或者ノ爲メニスル保證ノ署名ナルコトヲ知リ得レ



ハ足ルナリ保證ニハ保證ノ旨ヲ記載スルヲ要セス而シテ裏書ニモ署名ノミニ  
 テ爲ヌモノアルヲ以テ或署名ハ裏書ノ爲メナルカ保證ノ爲メナルカ不明ナル  
 コトアラン判官ノ認定ニ依リテ決シ若シ何レニモ決シ得サルトキハ無キニ等  
 シトス保證ノ署名ハ手形、謄本又ハ補箋ノ何レニ爲ヌモ可ナリ振出保證又ハ引  
 受保證ノミナレハ手形ニ限ルモ可ナレトモ裏書保證ノ存スル爲メ廣ク謄本又  
 ハ補箋ニモ之ヲ爲ヌコトヲ認メタリ然レトモ所謂別紙保證ナルモノハ手形保  
 證ニ非ヌ又口頭ノ手形保證ナキハ言フヲ俟タヌ  
 一個ノ署名ヲ以テ二個以上ノ手形行爲ヲ爲ヌコトヲ得ヌ故ニ裏書人兼保證人  
 ト記載シテ爲シタル署名ハ保證ノ署名ト爲ラス或判決ニ裏書人ノ署名ノ上部  
 ニ裏書人兼保證人トアルトキハ裏書讓渡ヲ爲ヌト同時ニ保證ヲ爲シタルコト  
 明カナリ同時ニ同一人カ種類ヲ異ニスル二個以上ノ手形行爲ヲ爲ヌニ當リテ  
 モ一ノ署名ヲ以テ爲シ得サル理由ナシト云ヘルモ余ハ總テノ手形行爲ハ署名  
 行爲ニシテ一ノ手形行爲ニハ一ノ署名ヲ要スト解ス

保證ノ利害關係人

保證人ト爲リ得ル者ハ何人ニテモ可ナルヲ原則トス支拂人振出人裏書人ニテ  
 モ可ナリ前者ハ所持人ノ請求ニ應シテ償還ヲ爲ヌヘキ者ナルモ所持人カ前者  
 ニ對シテ償還請求ヲ爲ヌニハ法定ノ手續ヲ爲ヌヲ要スルヲ以テ之ヲ欲セス寧  
 ロ引受保證人ノ如キ償還請求ノ手續ヲ爲ヌシテ手形金額ノ支拂ヲ爲ヌ者ヲ  
 欲スルコトアリ又或裏書人ヨリ償還ヲ得サル際更ニ其前者ニ請求セスシテ直  
 チニ其裏書人ノ保證人ニ請求セント欲スルコトアルヲ以テ前者ヲシテ亦他ノ  
 債務者ノ保證人ト爲ルコトヲ得セシムナリ引受人ハ何人ノ爲メニモ保證ヲ爲  
 スヲ得ヌ手形ノ主債務者トシテハ支拂ハヌシテ他ノ資格ニ於テ支拂フコトハ  
 公益ノ許ササル所ナリ

保證ハ何人ノ爲メニモ之ヲ爲シ得ルヲ原則トス保證ノ效果ノ最モ大ナルモノ  
 ハ引受人ノ爲メニ爲ヌ保證ナリ蓋シ引受人ハ手形ノ主債務者ナルヲ以テ何人  
 カ彼ノ爲メニ支拂フトキハ手形ノ目的ヲ達シ最早償還請求ヲ生セサレハナリ  
 故ニ手形ニ保證ノ署名アリテ何人ノ爲メニ爲ヌシタルカ分明ナラサルトキハ引  
 受人ノ爲メニ爲シタルモノト看做ス(四九八)次テ其效果ノ大ナルハ振出人ノ爲



メニ爲セル保證ナリ振出人カ償還スルトキハ遡及請求ヲ終絶セシムレハナリ故ニ未タ引受アラサル手形ニ何人ノ爲メニシタルカ分明ナラサル保證アルトキハ振出人ノ爲メニシタルモノト看做ス

保證人カ最モ有カナル保證ヲ爲サント欲セハ引受人ノ爲メニスヘク引受人ナキトキハ振出人ノ爲メニスヘク振出人ノ爲メニスルヲ欲セサルトキハ受取人ノ爲メニシテ順次ニ裏書人ノ爲メニスヘシ然レトモ決シテ此順序ヲ追フヲ要セサルヲ以テ隨意ニ何人ノ爲メニスルモ可ナリ唯支拂人ノ爲メニ之ヲ爲シ得サルノミ参加支拂ニ在リテハ参加支拂人カ被参加人ヲ示ササリシトキハ支拂人ノ爲メニ爲シタルモノト看做スモ(五一一)保證ニ在リテハ然ラズ保證ハ従クル債務ナルヲ以テ之ヲ爲スニハ債務ノ形ヲ存スルヲ要スルニ支拂人ハ債務者ニ非サレハナリ

### 保證ノ效力

手形保證人ハ其主債務者ト同一ノ責任ヲ負フ故ニ手形債權者ニ對スル關係ニ於テハ保證人ト主債務者トノ區別ナシ普通ノ保證ニ在リテハ保證債務ハ主債

務者カ其債務ヲ履行セサル場合ニ於テ其履行ヲ爲ス義務ニシテ學者ノ所謂従タル債務ナレトモ手形保證ハ之ト異ナリテ苟クモ手形カ其形式ヲ具備スル以上ハ其實質カ無効ニシテ主債務ナキ場合ニモ保證人ヲシテ主債務者ト同一ノ責任ヲ負ハシム(四九七)而シテ手形保證人ニハ通常保證人ノ有スル如キ先訴檢索分別等ノ抗辯ナク一般ノ商行為債務ニ於ケル保證人ノ責任ヨリ一層重大ナリトス條件附又ハ制限附ノ保證ハ無効ナリ

手形ノ所持人ハ先ツ引受人ニ對シテ支拂ヲ請求シ拒絶セラレタル場合ニ保證人ニ請求スルヲ普通ノ順序トスルモ最先ニ保證人ニ請求スルモ可ナリ又引受人ニ支拂ヲ拒絶セラレタル際引受保證人ニ請求セスシテ直チニ前者ニ償還請求ヲ爲スモ可ナリ或者ハ引受保證人ハ主債務者ニ等シキヲ以テ彼ニ請求シタル後ニ非サレハ前者ニ對シテ償還ヲ請求スルコトヲ得スト云ヘトモ保證人ハ所持人ノ利益ニ生シタルモノニシテ彼ニ不便ヲ醸ス爲メニ非サルヲ以テ所持人ハ此利益ヲ拋棄シテ直チニ前者ニ償還請求ヲ爲シ得ルナリ償還請求ニ不順序主義ヲ採ル主意及ヒ或者ニ請求スルニハ先ツ他ノ者ニ請求スルヲ要スル場



合ニハ之ヲ明言スルニ此場合ニ之ヲ言ハサル點ヨリ直チニ前者ニ請求シ得ト  
 解ヌ同一ノ理由ニ依リ引受人カ支拂ハサル場合ニ裏書人ニ請求セスシテ直チ  
 ニ裏書保證人ニ請求スルモ可ナリ又或裏書人カ償還ヲ爲ササル場合ニ其裏書  
 保證人ニ請求セスシテ直チニ其裏書人ノ前者ニ請求スルモ可ナリ  
 法文(四九七)ニハ手形債務ヲ保證スル爲メ署名シタル者ハ其債務カ無効ナルト  
 キト雖モ主債務者ト同一ノ責任ヲ負フト云ヘル其債務ノ無効ハ實質的無効ヲ  
 意味ス手形ノ形式ハ完全ニ具備セルニ或署名ハ偽造ナルカ或要件カ變造ナル  
 爲メ主債務者ハ責ヲ負ハヌ或ハ無能力者カ之ヲ取消シタル爲メニ主債務者ナ  
 キニ至ル場合ニモ保證人ヲシテ責ヲ負ハシムルナリ形式上無効ノ債務ニ付キ  
 テハ如何ニスルモ手形義務ヲ生スルコトナシ  
 保證人カ債務ヲ履行シタルトキハ其保證人ハ(一)所持人カ主債務者ニ對シテ有  
 セシ權利及ヒ(二)主債務者カ其前者ニ對シテ有スヘキ權利ヲ取得ス即チ主債務  
 者ニ對シテハ代位辨濟ノ原理ニ從ヒテ債權ヲ取得シ前者ニ對シテハ償還請求  
 權ヲ取得スルナリ保證ノ振出保證タルカ裏書保證タルカ引受保證タルカ等ニ

ヨリテ保證人ノ取得スル權利ヲ異ニシ引受保證ナルトキハ保證人ハ引受人ニ  
 對スル債權ヲ取得スルニ止マリ償還請求權ヲ取得スルコトナシ振出保證ナル  
 トキハ振出人ニ對スル償還請求權及ヒ引受人ニ對スル支拂請求權ヲ取得スル  
 モ裏書人ニ對スル權利ヲ取得スルコトナシ

### 第八節 參加

手形カ支拂ハレサル處アル場合ニハ非常ノ手段ヲ用キテモ其支拂ハルコトニ  
 努メ支拂人ニ非サル者ノ引受又ハ支拂人引受人ニ非サル者ノ支拂ヲ認ムルコ  
 トアリ此等ノ非常手段ヲ稱シテ參加ト云フ獨法ノ「インテラルヴァンチオン」ニシ  
 テ英佛ノ法語モ之ト大同小異ナリ干渉ノ意ヲ有ス

參加ハ以上ノ理由ニ因リテ生シ重要ナル手形事項ナルヲ以テ手形法ニハ參加  
 ニ關スル多クノ條項アリ又外國學者ノ手形法ヲ説ク者ハ往々詳細ナル説明ヲ  
 爲スコトアリ然レトモ我商法發布以來今日ニ至ルマテ參加ニ關シテ未タ著シ  
 キ問題ヲ生セス學者ノ論難モ寥々タルヲ以テ他ノ必要ノ部分ニ餘白ヲ存スル



爲メ簡單ニ説明スヘシ分チテ參加引受及ヒ參加支拂トス

### 第一款 參加引受

參加引受ハ手形ノ引受カ支拂人ニ依リテ拒絕セラレタル場合ニ爲ス引受ナリ之ニ因リテ參加引受人ニ手形金額支拂ノ義務ヲ負ハシメ所持人ヲシテ擔保請求權ヲ失ハシム所持人カ引受ヲ拒絕セラレタル場合ニ前者ニ對シテ擔保ヲ請求シ得ルモ之ヲ請求スルハ所持人ニ煩ニシテ請求ヲ受クル前者ニ一層煩ナルヲ以テ成ルヘク此ノ如キコトヲ爲サスシテ支拂ノ鞏固ヲ保セシメントシ參加引受ヲ發明シタルナリ參加引受ノ最モ多ク生スル場合ハ支拂人カ引受ヲ拒絕シタル場合ナレトモ引受ケタル後破産シ而モ擔保ヲ供セサル場合ニモ豫備支拂人ノ參加引受ヲ生ス

參加引受ハ手形ニ其旨ヲ記載シ參加引受人署名スルニ依リテ之ヲ爲ス(五〇三)參加引受ノ旨ハ參加引受ナル文字ノ記載ヲ以テ最モ明瞭トスルモ其他ノ文字ニテモ可ナリ或國ニテハ豫備支拂人ノ引受ナルトキハ何等ノ記載ナクトモ參加引受ト解スレトモ我國ニテハ參加引受ニハ其旨ヲ記載スルコトヲ法律上ノ

要件トシタリ保證ハ署名ノミニテ足り引受ニモ署名ノミニテ足ルモノアルモ參加引受ニハ簡易ノモノナシ又參加引受ノ旨ノ記載ト引受人ノ署名トハ必ス手形ニ爲スヲ要シ謄本又ハ補箋ニ爲スコトヲ得ヌ

### 參加引受ノ利害關係人

參加引受ヲ爲ス者ヲ分チテ豫メ手形ニ記載セラレタル者及ヒ引受拒絕ノ後ニ出現スル者トス前者ヲ豫備支拂人ト稱シ(法語)後者ヲ榮譽引受人ト稱ス(學語)豫備支拂人モ引受ノ委託ニ應スヘキ義務ナキニ委託者若クハ手形ノ榮譽ノ爲メ又自己ノ榮譽ノ爲メニ之ヲ引受クル者ナルヲ以テ等シク榮譽引受人ト云フコトヲ得ルモ區別ヲ明カニスル爲メ之ヲ豫備支拂人ト稱シ榮譽引受人ナル文字ヲ狹義ニ用キタリ

一 豫備支拂人 豫備支拂人ハ手形債務者ヨリ參加ヲ爲スヘキ手形上ノ委託ヲ受ケタル者ナリ支拂人ハ無條件ノ委託ヲ受ケテ第一次ノ者ト爲リ豫備支拂人ハ支拂人カ引受ケサル場合ニ參加スル委託ヲ受ケテ第二次ノ者ト爲ルナリ擔保的支拂人ト稱ス之ヲ示スニハ豫備支拂人某ト記載スルヲ最モ明白



トスルモ他ノ方法ニテ示スモ可ナリ外國ニ於テハ豫備支拂人ハ手形上ノ請求ヲ拒絕セラレタル場合ニ必要ナル者ナリトシテ之ヲ示スニ拒絕ノ場合ニ於ケル某又ハ必要ノ場合ニ於ケル某ナル文字ヲ以テスルヲ通常トス

豫備支拂人ヲ記載シ得ル者ハ振出人及ヒ裏書人ナリ法律ニハ之ヲ記載シ得ル者ヲ殊更ニ明示シテ(四四八、四五八)他ノ者ヲ排斥シタリ又振出人裏書人以外ノ者ヲシテ之ヲ記載セシムルヲ要セス振出人カ之ヲ記載スルニハ必ス手形其物ニスヘシ裏書人ハ手形、謄本又ハ補箋ノ何レニ爲スモ可ナリ振出人カ之ヲ記載スルハ手形ヲ振出交付スルマテニ於テシ裏書人カ之ヲ記載スルハ手形ヲ裏書交付スルマテニ於テス

豫備支拂人ト爲リ得ル者ハ何人ニテモ可ナルヲ原則トス未タ手形ニ記載セラレサル者又ハ既ニ記載セラレタル者モ可ナレハ既ニ手形ニ署名シタル者ニテモ可ナリ又振出人裏書人ハ自己ヲ豫備支拂人ト爲スコトヲ得是レ振出人等ハ手形ノ前者ニシテ所持人ニ償還スヘキ者ナルモ所持人ハ必スシモ常ニ直チニ自己ニ對シテ請求シ來ラス他ノ前者ニ對シテ請求シ屢遡及請求ヲ

生シ漸々償還金額ヲ増加スルヲ以テ支拂拒絕ノ場合ニ直チニ自己ニ請求セシメテ之ヲ豫防セントスルナリ理論上ハ支拂人ヲモ豫備支拂人ト爲スコトヲ得何レノ場合ニ於テモ豫備支拂人ハ支拂地ニ於ケル者タルヘシ支拂地ニ於ケル者トハ支拂地ニ住スル者ヲ云フ

豫備支拂人ヲ記載シタル效力ハ手形ノ所持人ヲシテ引受又ハ支拂ノ拒絕ノ場合ニ前者ニ對シテ遡及請求ヲ爲スニ先チテ豫備支拂人ニ引受又ハ支拂ヲ請求セシムルニ在リ豫備支拂人カ之ニ應シテ引受又ハ支拂ヲ爲シタルトキハ參加引受又ハ參加支拂ト爲ル

二 榮譽引受人 榮譽引受人ハ豫備支拂人ニ非スシテ手形ニ參加引受ヲ爲ス者ナリ引受カ拒絕セラレテ所持人カ前者ニ擔保ヲ請求セントスル場合ニ出現ス

榮譽引受人ト爲ル者ハ何人ニテモ可ナルヲ原則トス未タ手形ニ記載セラレサル者又ハ記載セラレタル者モ可ナレハ既ニ手形ニ署名シタル者ニテモ可ナリ署名者ハ自己ノ負擔ノ増大ヲ豫防セント欲シテ參加引受ヲ爲スコトア



ルナリ理論上ハ支拂人モ榮譽引受ヲ爲スコトヲ得レハ豫備支拂人モ豫備支拂人トシテハ參加引受ヲ爲サスシテ榮譽引受トシテ之ヲ爲スコトヲ得何レノ資格ニ於テ參加引受ヲ爲スカニ依リテ參加引受ノ利益ヲ受クル者ノ範圍ヲ異ニシ又引受ヲ爲ス者ノ利害ヲモ異ニスルヲ以テナリ榮譽引受人ト爲ル者ハ支拂地ニ於ケル者タルト否トヲ問ハス

榮譽引受ハ何人ノ爲メニモ之ヲ爲シ得ルヲ原則トス榮譽引受ヲ爲サントスル者カ振出人又ハ或裏書人ヲ被參加人ト爲サントスルトキハ其旨ヲ示スヘシ何人ノ爲メニスルカ不明ナルトキハ振出人ノ爲メニシタルモノト看做ス參加支拂ナルトキハ支拂人ノ爲メニシタルモノト看做スニ參加引受ハ支拂人ノ爲メニシタルモノト看做ササルハ一ハ即時ノ支拂ニシテ一ハ將來ニ義務ヲ負フモノナリ又一ハ前提トシテ義務者アルヲ要セサルニ一ハ之ヲ要ストノ理由ニ出ツルナラン(五〇三、五一二)

手形ノ所持人ハ榮譽引受ヲ拒ムコトヲ得豫備支拂人ハ既ニ手形ニ記載セララル者ナルヲ以テ所持人ハ必ス先ツ豫備支拂人ニ引受ヲ請求スヘク引受ア

ルトキハ之ヲ拒ムヲ得サレトモ其他ノ者ノ引受ハ之ヲ拒ムコトヲ得ルナリ何トナレハ參加引受ヲ得タル時ハ前者ニ對スル擔保請求權ヲ夫ヒ而モ參加引受人ハ無資力ナルコトアレハナリ豫備支拂人カ引受ヲ爲ス場合ニモ此ノ如キコトアラシモ豫備支拂人ハ既ニ手形ニ記載セラレ所持人ハ之ヲ知リテ手形ヲ取得シタル者ナルカ故ニ已ムヲ得サルナリ

豫備支拂人又ハ榮譽引受人ノ何レモ二人以上アリ得ヘシ二人以上ノ豫備支拂人アル場合ニ手形ノ所持人ハ凡テノ豫備支拂人ニ引受ヲ請求スルコトヲ得ヘク又二人以上ノ榮譽引受人アル場合ニ凡テノ引受人ノ引受ヲ承諾スルコトヲ得引受多キヲ利益ト信スルトキハ多クヲ得少ナキヲ便ナリト信スルトキハ一個ニテ満足スヘシ所持人ハ其選擇ニ從ヒ其中一人ヲシテ引受ヲ爲サシムルコトヲ得ルナリ(五〇二)所持人カ多クノ引受ヲ受ケタルトキハ支拂拒絶ノ場合ニ前者ニ償還スルニ先チテ凡テノ參加引受人ニ支拂ヲ請求セサルヘカラス故ニ寧ロ適當ト信スル者ヲ選擇シテ引受ケシムルヲ得策トス

### 參加引受ノ效力



參加引受ハ手形ノ所持人ヲシテ前者ニ對スル擔保請求權ヲ失ハシム(五〇六)所持人ハ自己ノ豫期スル債務者若クハ自己ノ満足スル債務者ヲ得タルトキハ最早擔保ヲ得ルヲ要セス法律ハ所持人ニ二重ノ鞏固ヲ與ヘサルナリ所持人ヲシテ被參加人ニ對スル擔保請求權ヲ失ハシムル理由ハ參加引受ハ被參加人ヲシテ擔保義務ヲ免レシムルヲ目的トスレハナリ被參加人ノ後者ニ對スル擔保請求權ヲ失ハシムルハ若シ之ヲ請求シ得トスルトキハ其後者ハ更ニ被參加人ニ對シテ擔保ヲ請求スルニ至リ左ニ與ヘテ右ニ奪フ結果ヲ生スレハナリ被參加人ノ前者ニ對スル擔保請求權ヲ失ハシムルハ被參加人ヲシテ彼等ニ對シテ擔保ヲ請求シ得セシメン爲メナリ

參加引受ハ所持人及ヒ被參加人ノ後者ヲシテ擔保請求權ヲ失ハシム被參加人ヲシテ擔保請求權ヲ取得セシム被參加人ニ之ヲ與フルハ參加引受人カ被參加人ノ爲メニ支拂ヒタル後ニ被參加人ニ對シテ求償スルヲ以テ被參加人ヲシテ更ニ前者ニ對シテ償還請求ヲ爲サシムル際ニ備ヘシムル爲メナリ被參加人ヲシテ此擔保請求權ヲ行使スルニ便ナラシムル爲メ所持人ヲシテ引受拒絕證書

ニ參加引受アリタル旨ヲ記載シタルモノヲ參加引受人ニ交付セシメ參加引受人ヲシテ更ニ之ヲ被參加人ニ交付セシム而シテ被參加人ハ此拒絕證書ヲ用ヒテ前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルナリ

參加引受ハ參加引受人ヲ手形上ノ債務者トシ支拂人カ支拂ヲ爲ササル場合ニ手形金額ヲ支拂フ義務ヲ負ハシム支拂人カ全部ヲ支拂ハサルトキハ全部ヲ支拂フヘク一部ヲ支拂ヒタルトキハ殘額ヲ支拂フヘシ又費用ヲモ支拂フヲ要ス所持人カ參加引受人ヲシテ此義務ヲ履行セシムルニハ滿期日又ハ其後二日內ニ手形ヲ呈示シテ之ヲ請求セサルヘカラス然ラサルトキハ參加引受人ハ其義務ヲ免カル(五〇五)榮譽引受人タル參加引受人ニ對スルモノトシテハ三日ニテ可ナレトモ豫備支拂人タル參加引受人ニ對スルモノトシテハ短キニ失スル感アリ

參加引受ハ引受ノ一種ナリ或者ハ之ヲ特殊ノ手形行爲ナリ參加引受ヲ保證ノ次ニ置キタルヨリシテモ之ヲ知り得レハ第五〇三條第五〇七條等ノ規定ヨリシテモ亦之ヲ知ルコトヲ得ト云ヘトモ非ナリ參加引受ヲ保證ノ次ニ置キタル



ハ單ニ排列ノ便ヨリ來リ又前記ノ條文ハ參加引受ハ引受ト全ク異ナルモノタルヲ示スヨリモ寧ロ其一種タルコトヲ示スモノナリ法律ニ引受、參加引受ト云ヒ其規定ノ跡ニ於テモ大ニ類スル所アルヲ以テ二者ヲ同種ノモノト見ルヲ得ヘク又參加引受ニハ引受ノ規定ヲ準用セサルトキハ頗ル不足ヲ感スヘシ參加引受ハ引受ノ一種ナリトシ所持人カ參加引受人ニ對シテ滿期日又ハ其後二日內ニ支拂ヲ請求シ置クトキハ其權利ハ三年間存續シ、參加引受人カ破産宣告ヲ受ケタルトキハ所持人ハ前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルコトヲ得ヘク、手形ヨリ生シタル債權カ時効又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキハ所持人ハ參加引受人ニ對シテ利益ノ償還ヲ請求スルコトヲ得ヘシ、一部引受、支拂場所ノ記載不單純引受等ニ關シテモ亦引受ニ關スル規定ヲ準用ス(四八〇、四八一)

**第二款 參加支拂**

參加支拂ハ手形ノ支拂カ支拂人ニ依リテ拒絕セラレタル場合ニ生スル支拂ナリ支拂人以外ノ者ノ爲ス支拂ナリ

**參加支拂ノ利害關係人**

參加支拂ヲ爲ス者ヲ分チテ支拂義務ヲ負フ者及ヒ義務ナキニ支拂フ者トス前者ハ參加引受人ニ對シテ後者ハ榮譽支拂人ナリ其何レニモ豫備支拂人タル者ト然ラサル者トアリ注文ニ豫備支拂人又ハ參加引受人ト云フトキハ參加引受人ノ中ニ豫備支拂人ハ入ラサルモ單ニ參加引受人ト云フトキハ參加引受ヲ爲シタル豫備支拂人モ其中ニ入ルナリ

- 一 參加引受人 參加引受人ハ支拂義務ヲ負フ者ナリ條件附ノ義務ニシテ支拂人カ支拂ハサル場合ニ支拂ヘキモノナリ所持人ハ參加引受人ニ支拂ヲ請求スルニハ支拂拒絕證書ヲ作成シ滿期日又ハ其後二日內ニ支拂ヲ請求スルヲ要シ之ヲ爲ササルトキハ被參加人及ヒ其後者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ(五〇五)然レトモ被參加人ノ前者ニ對スル償還請求權及ヒ引受人ニ對スル支拂請求權ハ之カ爲メニ消滅スルコトナシ

- 二 榮譽支拂人 榮譽支拂人ノ中ニハ豫備支拂人及ヒ其以外ノ者狹義ノ榮譽支拂人アリ豫備支拂人アル場合ニハ所持人ハ先ツ豫備支拂人ニ支拂ヲ請求スヘク請求セサルトキハ豫備支拂人ヲ指定シタル者及ヒ其後者ニ對スル手



形上ノ權利ヲ失フ

榮譽支拂人ト爲リ得ル者ハ何人ニテモ可ナルヲ原則トス振出人裏書人保證人等ニテモ可ナリ理論上ハ支拂人豫備支拂人ニテモ可ナリ又榮譽支拂人ハ何人ノ爲メニスルモ可ナルヲ原則トス豫備支拂人ハ自己ヲ記載シタル者ノ爲メニ支拂ハスシテ他ノ者ノ爲メニ支拂フモ可ナリ豫備支拂人ニシテ既ニ然リトスレハ其他ノ者カ何人ノ爲メニ支拂フモ可ナルハ一層明カナリ唯支拂ノ義務アル引受人又ハ參加引受人ハ自己ノ支拂義務ヲ履行セスシテ他人ノ爲メニ支拂フコトヲ得ヌ公益ニ反スレハナリ榮譽支拂人カ其被參加人ヲ示ササリシトキハ支拂人ノ爲メニシタルモノト看做ス(五一)

所持人ハ榮譽支拂ヲ拒ムコトヲ得ヌ之ヲ拒ムトキハ被參加人及ヒ其後者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ榮譽引受ハ單ニ義務者ヲ生スルニ止マルヲ以テ之ヲ拒ムコトヲ得ルモ支拂ハ手形金額ヲ得ルモノナルヲ以テ何人ヨリ之ヲ得ルモ同一ナレハナリ此主意ヲ貫カント欲セハ榮譽支拂ヲ拒ミタル所持人ヲシテ一切ノ手形上ノ權利ヲ失ハシムヘキナレトモ我國ハ姑息ノ規定ヲ爲

シ單ニ被參加人及ヒ其後者ニ對スル權利ヲ失ハシムルニ止ム

參加引受人又ハ榮譽支拂人カ數人アリテ各々參加支拂ヲ爲サントスルトキハ所持人ヲシテ最モ多數ノ者ヲシテ債務ヲ免カレシムル效力ヲ有スル支拂ヲ受ケシム(五一)○或者カ支拂人ノ爲メニ支拂ハントシ他ノ者カ裏書人ノ爲メニ支拂ハントスルトキハ支拂人ノ爲メニスル支拂ヲ受ケシムル如シ

參加支拂ノ效力

參加支拂ハ手形ノ所持人ヲシテ一切ノ手形上ノ權利ヲ失ハシメ參加支拂人ヲシテ所持人ノ權利ヲ取得セシム其權利ハ(一)引受人ニ對スルモノ(二)被參加人ニ對スルモノ(三)被參加人ノ前者ニ對スルモノナリ(五一)(三)引受人ニ對シテハ手形ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ヘク被參加人又ハ被參加人ノ前者ニ對シテハ償還請求ヲ爲シ得ルナリ被參加人ノ後者ニ對スル權利ヲ取得セシメサルハ之ヲ取得セシムルトキハ參加支拂人ハ此後者ニ償還ヲ請求シ後者ハ遡リテ被參加人ニ請求スルニ至リ左ニ與ヘテ右ニ奪フコトト爲レハナリ  
參加支拂人カ引受人ニ支拂ヲ請求スルニハ爲替手形ヲ呈示スルヲ要シ被參加



人又ハ其前者ニ償還ヲ請求スルニハ手形及ヒ支拂拒絶證書ヲ要ス故ニ所持人ヲシテ參加支拂ノ際ニ之ヲ參加支拂人ニ交付セシム(五一二)  
參加支拂ハ支拂ノ一種ナリ其理由ハ參加引受ヲ引受ノ一種トスルモノニ等シ支拂ノ一種ナルヲ以テ參加支拂ノ規定ニ不足アルトキハ支拂ノ規定ヲ準用スヘシ一部支拂及ヒ支拂ニ關聯スル償還請求ノ規定ニシテ參加支拂ニ準用スヘキモノ多シ

### 第九節 拒絶證書

拒絶證書ハ公吏カ法定ノ方式ニ從ヒテ作成シ手形ニ關スル一定ノ事項ヲ證明スルニ缺クヘカラサル書類ナリ

拒絶證書ヲ作成シ得ル者ハ公證人及ヒ執達吏ナリトシ公證人法ノ解釋ニ依リ或場合ニ裁判所ノ吏員之ヲ作成スルコトヲ得ルノミ此ノ如ク作成者ヲ限定スルハ拒絶證書ハ當事者ノ利害ニ大關係ヲ有スルモノニシテ極メテ正確ナルヲ要スレハナリ或國ハ郵便官吏ヲモ作成者トスルモ我國ニ於テハ之ヲ採ラス

拒絶證書ハ手形ノ所持人ノ請求ニ依リ公證人又ハ執達吏之ヲ作ルナリ公證人又ハ執達吏カ拒絶證書ヲ作リタルトキハ其謄本ニ左ノ事項ヲ記載シ之ヲ其役場ニ備フルコトヲ要ス(五一四、五一七)

- 一 手形金額
  - 二 振出人支拂人及ヒ受取人ノ氏名又ハ商號
  - 三 振出ノ年月日
  - 四 満期日及ヒ支拂地
  - 五 支拂擔當者豫備支拂人又ハ參加引受人アルトキハ其氏名又ハ商號
- 稍公證人等ノ職務章程ヲ定ムルニ類スルモ之ニ依リテ拒絶證書ヲ作成シタル確證ヲ保存セシメ又拒絶證書ノ滅失スル場合ニ備フ拒絶證書カ滅失シタルトキハ利害關係人ハ其謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此謄本ハ原本ト同一ノ效力ヲ有ス

拒絶證書ハ手形所持人ノ請求ニ因リテ之ヲ作ルナリ所持人カ一定ノ手形事項ヲ證明セントスル場合ニ公證人ニ其作成ヲ依頼ス所持人ヲシテ自ら作成セシ



ムルトキハ相手方ニ多クノ反證ヲ許スコトヲ要シ證據ニ關スル争ヲ多クスルヲ以テ公吏ヲシテ作成セシムルナリ吾人ハ簡易ノ爲メ屢所持人ハ拒絕證書ヲ作成スト云フモ正確ニ云フトキハ所持人ハ公證人又ハ執達吏ヲシテ拒絕證書ヲ作成セシムト云ハサルヘカラス商法ニハ町重ニ反覆シテ拒絕證書ハ所持人ノ作ルモノニ非サルヲ知ラシメ又既成ノ拒絕證書ニ或事項ヲ記載スルニ當リテモ所持人ヲシテ自ら記載セシメス必ス公吏ニ記載セシムル意ヲ示セリ例ハ所持人ハ引受拒絕證書ニ參加引受アリタル旨ヲ記載セシメ又支拂拒絕證書ニ參加支拂アリタル旨ヲ記載セシメテ交付スルコトヲ要スト云フカ如シ(四七五、四八七、四六七、五〇四、五一二)

拒絕證書ノ證據力ハ大ナルモ當事者ハ拒絕證書トシテ對抗セラレタルモノニ關シテハ最早何事ヲモ争フヲ得サルモノト誤解スヘカラス當事者ハ此拒絕證書ハ公吏ノ作成シタルモノニ非ストカ作成者ハ公吏ナルモ手續ヲ蹈ミテ作成シタルモノニ非スト主張シ得ルハ勿論トシ法式ニ適フ公正證書ト定マリタル後ニモ其記事ノ内容ヲ争ヒ證書ニハ或請求ヲ爲シタリト記載セルモ其請求ハ

爲サレサリシトカ拒絕者トシテ或氏名ヲ記載セルモ其氏名ハ誤マレリト主張スルコトヲ得

拒絕證書ノ種類

拒絕證書ノ字義ヨリムルトキハ或請求ヲ拒絕シタル證據ノ書類ニシテ拒絕ハ專ラ積極的請求ニ反對スルコトヲ意味ス拒絕證書ヲ作成スル多クノ場合ニ於テハ此字義ノ如ク即チ手形ノ所持人カ其手形ヲ支拂人ニ呈示シテ引受ヲ請求シタルニ支拂人ハ余ハ此手形ヲ引受ケスト云ヘル際引受拒絕證書ヲ作り所持人カ手形ヲ引受人ニ呈示シテ支拂ヲ請求シタルニ引受人ハ余ハ支拂ハスト云ヘル際支拂拒絕證書ヲ作ルナリ拒絕證書ノ名稱ハ此普通ノ狀況ヨリ出テタルモノナリ然レトモ拒絕證書ハ此ノ如キ拒絕ノ事實ノミヲ證明スルニ限ラズシテ所持人カ支拂ヲ請求セント欲シテ支拂人ヲ訪問シタルモ面會スルヲ得サルカ支拂人ヲ訪問セント欲スルモ其營業所不明ナル際ニ作ルモノモ拒絕證書ナリ又毫モ拒絕ノ字義ニ合セサル拒絕證書アリ一覽後定期拂手形ノ所持人カ手形ヲ支拂人ニ呈示シテ引受ヲ請求シ引受ヲ得タル場合ニ作成スル拒絕證書是